2026年度 全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）一覧

主催	講座名	開講キャンパス	開講期間	曜日	時限	コーディネーター	ページ
法	人権って何？築くちから、気づくこころ	駿	春	金	4	江島　晶子	2
	グローバル化と人権	駿	秋	金	4	江島　晶子	4
	「土地と建物の登記に関する講座」	駿	秋	火	4	亀田　浩一郎	6
	紛争の解決・予防の仕組みと実務家の役割	駿	秋	水	4	太田　勝造	9
商	アート・オブ・物流	駿	春	金	4	町田　一兵／菊池　和夫	11
	明治スタートアップ学2026 ～キャリアの選択肢としての起業・スタートアップ概論～	駿	春	水	5	出見世　信之	13
	ファッションは社会を読み解くメディア ～2010年代以降の日本のファッション現在地	駿	秋	木	5	高野　公三子	17
政	環境と政治・経済・社会Ⅰ	駿	春	木	5	大森　正之	20
	環境と政治・経済・社会Ⅱ	駿	秋	木	5	大森　正之	22
	紛争と武器移転の連鎖	駿	秋	火	2	佐原　徹哉	24
	明治大学の歴史Ⅰ	和	春	金	4	冨澤　成實	27
	コントラクトブリッジで身につける論理的思考力	中	春	木	3	柴田　有祐	29
文	大学博物館の現場を実見する	駿	秋	月	2	駒見　和夫	31
	登戸研究所から考える戦争と平和	駿	秋	木	2	山田　朗	33
	シェイクスピアの現代的魅力	和	春	金	5	井上　優	35
	登戸研究所から考える戦争と平和	生	春	木	1	山田　朗	37
	明治大学の歴史Ⅰ	生	春	金	4	高田　幸男	39
理	環境人文学Ⅰ｜ローカルスタンダードとは何か	生	春	水	4	鞍田　崇	41
	環境人文学Ⅱ｜インティマシーとは何か	生	秋	水	4	鞍田　崇	43
	先端医療概論	生	秋	水	5	工藤　寛之	45
	データサイエンス・AI概論 ※メディア授業科目	－	秋	－	－	崎濱　栄治	48
営	明治起業家学　―起業はキャリアの選択肢―	駿	春	火	5	岡田　浩一	51
	連合寄付講座「働くことと労働組合」	駿	春	水	3	山崎　憲	53
	労働講座企画委員会寄付講座 「職場のリアルから働き方を考える講座」	駿	秋	木	3	早川　佐知子	56
国	ダイバーシティ＆インクルージョンと日本社会	中	秋	火	3	山脇　啓造	58
総	データサイエンスAI概論　※メディア授業科目	－	春	－	－	中村　和幸	61

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
人権って何？築くちから、気づくこころ			法学部・江島晶子	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	春学期	金	4

1　授業の概要・到達目標

実際の自分の生活に密接に関連しうる問題として、ジェンダー、宗教、地域社会、多文化共生、移民、生命・医療などをテーマにとりあげ、具体的な問題を通して人権について考えます。一方通行の講義ではなく、質疑応答、ディスカッション、ロールプレイング、リアクションペーパー等を通じて「考えるプロセス」に参加する機会を設けます。それによって、人権について多様な視点から具体的に考える機会を通じて、人権に関する問題を発見する能力、問題に取り組む力を滋養することが到達目標です。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月　10日	ガイダンス （講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	江島晶子
第1回では、講義の概要や成績評価方法等を説明した後、講座全体のイントロダクションを行います。人権について知識がなくても、これまであまり考えたことがなくても、第2回以降の講義にスムーズに入っていけるように、入門的素材を使いながら知的好奇心を揺さぶります。				
2	4月　17日	ジェンダーと人権①	所属・役職	明治大学文学部・教授
			氏　名	平川景子
〈家庭と学校におけるジェンダー〉近年、中高生の制服についてスカートとズボンを選べる学校が増えてきました。しかし小学生の将来就きたい職業では「男の子はスポーツ選手、女の子は店員（花屋・パン屋）」と男女の違い（ジェンダー）があります。子どもたちは（つまり私たちは）、家庭や地域のおとなから、またメディアの中から、気づかないうちにジェンダーを「学んで」いるのではないかということを、考えます。				
3	4月　24日	ジェンダーと人権②	所属・役職	明治大学文学部・教授
			氏　名	平川景子
〈女性が働き続けること、男性が子育てすること〉働く女性が妊娠すると会社でマタニティ・ハラスメント（マタハラ）を受けたり、ワンオペ育児といわれる孤立した子育てに耐えられずに、退職に追い込まれることがあります。一方で、政府が育児休業制度で「男の産休」を促したり、父親が子育てにかかわる地域活動を楽しんだりするという変化も生まれています。男女が共に担う社会とは、具体的にどのようにして創られるのでしょうか。				
4	5月　8日	ジェンダーと人権③	所属・役職	明治大学文学部・教授
			氏　名	平川景子
〈スポーツにおけるジェンダー〉マラソンは女性の生殖機能に影響するなどの理由で長く女子の参加が認められず、1984年のロサンゼルス五輪から正式種目になりました。学校体育でも長く種目や距離で男女が分けられてきましたが、男女別のスポーツについて、例えばトランスジェンダーの人たちからも問い直しがあります。筋力の強さを競い合うスポーツから、生涯にわたって楽しむスポーツへ、視点を変えることで見えてくるものは？				
5	5月　15日	移民と人権①	所属・役職	上智大学総合グローバル学部・教授
			氏　名	田中雅子
メディアには「外国人労働者」や「不法滞在者」といった表現が登場しますが、国際規範では、彼ら・彼女らはどのように呼ばれているのでしょうか。この授業は「人の移動」に関する国際規範の形成の流れを振り返り、日本における「多文化共生」の取り組みは、「移民」や「難民」の人権保障は十分なのかを考えます。日本の外国人施策に関するニュースを検証するための基礎知識を身につけましょう。				
6	5月　22日	移民と人権②	所属・役職	上智大学総合グローバル学部・教授
			氏　名	田中雅子
技能実習生や留学生の一部は、日本に家族を連れてくることが認められていません。「妊娠したら帰国させる」などと妊娠や出産が制限されている人がいます。なぜ、彼女たちは、「子どもを産むか、産まないか、産むとしたらいつ産むか」を自分で決めることが認められていないのでしょうか。日本で暮らす移民女性のリプロダクティブ・ライツ（性と生殖に関する権利）について考えます。				
7	5月　29日	移民と人権③	所属・役職	上智大学総合グローバル学部・教授
			氏　名	田中雅子
「外国にルーツをもつ子ども」の教育というと、言葉の壁をなくすための日本語指導の必要性だけに関心が集まりがちです。しかし、日本で安定して暮らすことができる在留資格がない人もいます。やむを得ない事情で出身国に戻ったときに学校教育を受けるのに十分な母語や継承語を彼らはどこで、誰から、学ぶのでしょうか。日本政府が批准している子どもの権利条約などを手がかりに、日本と出身国を往来する移民の子どもの教育について考えます。				
8	6月　5日	イスラーム教徒たちの人権問題①	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏　名	山岸智子
パレスティナ人（多数派がイスラーム教徒ですがキリスト教徒も含みます）の人権問題として、イスラエルとアラブの紛争をひもといて説明します。基本的にはローカルな事情から理解を促すよう努力しますが、国際政治や時局もみながら、周辺諸国や大国のかかわりについても言及することになるかもしれません。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月　12日	イスラーム教徒たちの人権問題②	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏　名	山岸智子
イスラームとジェンダーというテーマでお話しします。20世紀末から台頭してきた「イスラーム主義」が従来の世界観や伝統的なイスラーム法学と女性の社会参加をどのように折り合わせようとしているかをとりあげ、「男女は異なるもの」を前提に、男女に全く同じ権利を認めるよりも、それぞれの条件にあわせて全体として均衡のとれる公平性をもとめる、と考える例を示し、ジェンダーをめぐる価値観やライフスタイルの違いを、私たちはどのように捉えるべきか、一緒に考えてゆきたいと思います。				
10	6月　19日	イスラーム教徒たちの人権問題③	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏　名	山岸智子
21世紀初頭から「安全」と「テロ」を対置する言論が世界を席巻している中で、「テロ容疑者」となったイスラーム教徒を例に人権の問題を考えます。「爆発物製造」や「ハイジャック計画」として、被告人の人権も考慮しながらきちんと立件すべきものを、「テロリスト」という、明確な定義がない、インパクトだけは大きい枠組みがまかりとおっているために行われる実力行使の是非について、考える機会を提供します。				
11	6月　26日	生命・医療と人権①	所属・役職	北里大学医学部附属医学教育研究開発センター・准教授
			氏　名	齋藤有紀子
からだをめぐる自己決定権について取り上げます。国内外の近年の時事問題について映像鑑賞や意見交換をしながら考えます。				
12	7月　3日	生命・医療と人権②	所属・役職	北里大学医学部附属医学教育研究開発センター・准教授
			氏　名	齋藤有紀子
人生の最終段階における人権について取り上げます。国内外の近年の時事問題について映像鑑賞や意見交換をしながら考えます。				
13	7月　10日	生命・医療と人権③	所属・役職	北里大学医学部附属医学教育研究開発センター・准教授
			氏　名	齋藤有紀子
リプロダクションをめぐる倫理について取り上げます。国内外の近年の時事問題について映像鑑賞や意見交換をしながら考えます。				
14	7月　17日	総括	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	江島晶子
第2回から第13回において検討してきた多様な人権問題を受けて、最終回では、もう一度出発点に立ち返って、「人権」という視点の必要性、実現可能性・有効性を確認します。				

3　履修上の注意

秋学期に設置されている総合講座「グローバル化と人権」は、本講座の関連講座です。これを受講すると、人権に対する知識・理解をさらに発展させることができます。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各回において様々なテーマをいろいろな視点から扱います。これらについて授業の中で考えたり、議論したりすることを通じて、人権を抽象的にではなく、具体的に考えることを目的とするので、自分の疑問を大切にし、自分の疑問に主体的に向き合う姿勢を大切にしてください。

5　教科書

各回の授業の際にレジュメや資料等を配布します。

6　参考書

ヒューマン・ライツ・ナウ『人権で世界を変える30の方法』、申惠丰『国際人権入門』

7　課題に対するフィードバックの方法

Oh-o! Meijiシステム等を利用してフィードバックを実施します。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

レポート（70%）、平常点（30%）
出席回数が5回未満の場合は成績評価の対象としません。

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
グローバル化と人権			法学部・江島晶子	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	金	4

1　授業の概要・到達目標

本講座の目的は、地球レベルで人権について考える機会を通して、グローバル化の進む地球において、問題を発見し、問題に取組む力を養うこと、および、国境を越え自らが地球の構成メンバーであるという国際的視野を身につけることです。人権は、人が人であるがゆえに持っている権利であり、人であれば誰もが享受できる権利だと説明されますが、地球を見回してみると、すさまじい貧困、絶えることのない戦争・内戦、進展する環境破壊等、本当に誰でもが人権を持っているといえるのか疑いたくなる現状があります。学部や文系・理系の枠を越え、実際の自分の生活と国際社会・地球が密接に関連する問題を素材に、人権について多様な視点から具体的に考えます。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月　25日	イントロダクション （講座の概要，成績評価方法等の説明）	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	江島晶子
第1回では、本講義の概要や成績評価の方法を説明した後、本講座全体のイントロダクションを行います。人権という視点から、「グローバル化」が人々の生活に及ぼす影響について概観します。第2回以降の講義にスムーズに入っていけるように、入門的素材を使いながら、自分と世界のつながりを新たな視点から見る糸口を作ることが目的です。				
2	10月　2日	グローバル化と人権①難民	所属・役職	認定NPO法人難民支援協会・事務局長
			氏　名	石川えり
難民を保護する国連機関であるUNHCRの統計によると移動を余儀なくされている状況にある人は1億人を突破し、現在も増え続けています。本講義では迫害をおそれて故郷を逃れ、他の国へ保護を求める人たち「難民」の定義、置かれている状況や課題を理解します。さらに、日本に逃れてきた難民の現状を知ることで、彼らが逃れざるを得なかった出身国の人権状況、そして日本における状況を理解することで人権について考えます。				
3	10月　9日	グローバル化と人権②環境	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏　名	石山徳子
本講義では、1990年代以降に主にアメリカ合衆国で着目されてきた「環境正義」の視点から、環境問題と人権問題の関連について考えます。特に、原子力政策の歴史を振り返り、マンハッタン計画、ウラン開発、核実験の現場や、放射性廃棄物処分施設の建設候補地付近に居住する人びとの経験に関する報告を行います。安全保障や経済開発に関わる国策のもと、環境破壊の前線に置かれた弱者の人権が侵害されてきた実態について紹介します。				
4	10月　16日	グローバル化と人権③自然科学	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	勝田忠広
AI、ロボットなど、人間に対して重大な影響をもたらす新たな科学技術が次々と誕生していますが、私たちはこうした科学技術のことをどれだけ理解しているでしょうか。また、世界では高度な科学技術の便益を受けて快適・安全な生活を享受できる人々がいる一方で、こうした発展にアクセスできない人々もいます。科学技術が人間の社会に及ぼす影響を知ると同時に、それに対してどう向き合うべきか、どのように向き合えるかを考えます。				
5	10月　23日	戦争・内戦と人権①戦争・内戦・民族虐殺はなぜ起きるのか	所属・役職	国際協力機構・国際協力専門員
			氏　名	橋本敬市
冷戦終結後の国家間紛争、内戦、民族虐殺（ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、ルワンダ、コソヴォ、ウクライナ、パレスチナ等）を取り上げながら、紛争の構図、構造要因等を検証します。特に、今日的課題として、ロシアのウクライナ侵攻に着目し、影響圏拡大のための国家戦略、軍事と情報操作を組み合わせた「ハイブリッド戦争」等を紹介し、国際社会の対応の是非を考察します。				
6	11月　6日	戦争・内戦と人権②平和構築	所属・役職	国際協力機構・国際協力専門員
			氏　名	橋本敬市
国際社会は従来、発生した紛争に対し「対症療法」的に対応して来ましたが、ここ20年余、深刻な人権侵害を予め防ぐ手段として、紛争予防の重要性が強調されてきました。特に構造的に紛争要因が存在する国・社会に対して、これらの要因を取り除く努力を支援する様々な試みがなされています。この講義では、紛争影響国に対して日本が実施している民主化支援、特に情報操作を防ぐ手だてとしてのメディア支援を紹介しながら、その有効性を検証します。				
7	11月　13日	戦争・内戦と人権③赤十字国際委員会	所属・役職	赤十字国際委員会・駐日代表
			氏　名	榛澤祥子
赤十字国際委員会（ICRC）は、戦場で生まれた戦争の現場で活動する人道支援組織である。ICRCは２つの使命をもって活動する。一つ目は、公平、中立、独立という「人道原則」の下で援助を提供すること。二つ目は、人道法の普及、強化である。昨今世界が、多国間主義や連携・協力から国防費の増加や紛争への備えへと移行していく中、国際人道法は今、まさに岐路に立たされている。国際人道法は一体何か、紛争という最悪の状況下で戦闘に参加していない人びとの命を如何に救うのかということをウクライナやガザの事例から理解する。				

回	日　程	テーマ	担当者	
8	11月　20日	国際ネットワークと人権①インターネット	所属・役職	インターネット協会・研究員
			氏　名	石徹白未亜
生活を豊かに、便利にしてくれるインターネットですが、一方でインターネットは非常に身近な存在になったため、炎上、誹謗中傷、ネットいじめなど、人権にまつわるトラブルの発生源ともなっています。スマホを持ちたての中学生や、スマホに不慣れな高齢者がスマホに絡んだトラブルに巻き込まれることも少なくありませんし、また、被害者ではなく加害者になってしまうケースも見られます。トラブルの事例から、対処方法や予防策、各事業者、行政の取り組みについて考えていきます。				
9	11月　27日	国際ネットワークと人権②国連・企業	所属・役職	法政大学法学部・教授
			氏　名	金子匡良
現在の企業は、その社会的責任経営（CSR）を重視し、国際機関、NGO、政府、取引先等と連携して、社内、地域社会、国際社会における人権の促進に取り組む事例が増えています。第9回では、国連グローバル・コンパクトを中心に、こうした取組を具体的に取り上げて、人権や平等の実現に果たす企業およびそれを支援する国際機関やNGOの役割について検討します。参考文献：江橋崇(編著)『企業の社会的責任経営―CSRとグローバル・コンパクトの可能性』（法政大学出版局、2009年）				
10	12月　4日	国際ネットワークと人権③NGO・市民社会	所属・役職	国境なき医師団・シニアオフィサー
			氏　名	堀越芳乃
NGO「国境なき医師団」は医療・人道援助活動を実施すると同時に、現地で目の当たりにした人道危機の現実を社会に訴える「証言活動」も行っている。人権侵害や暴力行為を国際社会に訴え、医療だけでは変えられない問題の解決につなげる。国境なき医師団の活動について理解を深め、国際社会において国境なき医師団が担う役割や活動の意義について考える。				
11	12月　11日	自然科学と人権①環境	所属・役職	総合地球学研究所客員教授
			氏　名	工藤泰子
私たちは分かちがたくつながりあっています。意識するにせよしないにせよ私たちが人新世というこの文明社会の中で生きることは、他の人や環境に影響を与え、その影響は連鎖し形や強さを変え、より弱いものに致命的なダメージを与えています。この授業では地球温暖化と熱中症を例にとり、このことについて考えていきます。				
12	12月　18日	自然科学と人権②人類と核	所属・役職	日本大学商学部・教授
			氏　名	小島智恵子
放射性廃棄物から放出される放射線は、人体を脅かすものであり、放射性廃棄物処理の問題は、人権問題の一つであると考えられます。本講義では、世界の放射性廃棄物処理の歴史を概観した上で、世界で最も放射性廃棄物処理が進んでいると言われているフランスとフィンランドの事例を取り上げます。そしてフランスとフィンランドの放射性廃棄物処理場の視察を基に、両国の比較を行い日本への影響を検討します。				
13	1月　8日	自然科学と人権③生物多様性	所属・役職	明治大学大学院理工学研究科・客員教授
			氏　名	三輪哲也
地球上の生物は、その進化の過程で様々な生物を発生させ、その系を安定化させるために生態系の多様性、種の多様性、遺伝的多様性を構築してきました。自然災害などはこれまで破壊や絶滅を生物や生態系に与えてきましたが、グローバル化した 現在社会は、私たちの手によって急速な環境変化と、個々の生物が持つ移動能力を超えた拡散をもたらしています。緩衝力と回復力をはからずにグローバル化していないかを検証し、併せて極限環境に生きる生物のしたたかさを紹介します。				
14	1月　15日	総括	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	江島晶子
最終回では、「グローバル化と人権」という全体テーマについて、これまで取り扱ってきた4つのテーマを振り返りながら、全体のまとめを行います。				

3　履修上の注意

春学期に設置されている総合講座「人権って何？」は、本講座の関連講座です。春学期の講座を受講してから、本講座を受講すると人権に対する知識・理解をさらに発展させることができます。なお、前期の講座を受講していなくても、本講座を受講する上では全く支障はありません。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各回において様々なテーマをいろいろな視点から扱います。これらについて授業の中で考えたり、議論したりすることを通じて、人権を抽象的にではなく、具体的に考えることを目的とするので、自分の疑問を大切にし、自分の疑問に主体的に向き合う姿勢を大切にしてください。

5　教科書

各回の授業の際にレジュメや資料等を配布します。

6　参考書

ヒューマン・ライツ・ナウ『人権で世界を変える30の方法』、申惠丰『国際人権入門』

7　課題に対するフィードバックの方法

Oh-o! Meijiシステム等を利用してフィードバックを実施します。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

レポート（70%）、平常点（30%）
出席回数が5回未満の場合は成績評価の対象としません。

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
「土地と建物の登記に関する講座」	法学部・亀田浩一郎

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	火	4

1　授業の概要・到達目標

国家資格「土地家屋調査士」とは何か？
　わたしたちが何気なく住居を置いている土地には、「所有者」と言われる「土地を持っている人」がいます。では、その土地は、「どこからどこまで」が、どのようにして「その人のものである」と、決めることができるのでしょうか。土地家屋調査士が活躍している分野は、まさに、その点であると言えます。
　土地家屋調査士を定義づける法律・制度の概要の説明を分かりやすく行いながら、土地家屋調査士の仕事とは何か、わたしたちの生活にどのように関わっているのか、という視点から学びます。
★１級建築士・２級建築士や測量士・測量士補等の資格取得者は、土地家屋調査士試験の一部が免除されます。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月　22日	a:イントロダクション b:概論	所属・役職	a:コーディネーター b:東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	a：亀田浩一郎　b：小木曽聡
a:イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明） b:概論 （土地家屋調査士制度の概論（制度の紹介と歴史、土地家屋調査士の業務と日常）、土地家屋調査士法の解説（土地家屋調査士になるために求められるもの）、実取引での登記の概論（土地・建物の登記）				
2	9月　29日	建物の表示に関する登記１～表示に関する登記の概論～	所属・役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	上野 博邦
（表示に関する登記の概論（不動産登記制度、表示登記制度、表題部登記事項の説明、建物の表示に関する登記））				
3	10月　6日	建物の表示に関する登記２～建物とは～	所属・役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	岩切 秀仁
（建物の認定（登記できる建物、所有権の認定、建物の個数）、建物に関する登記の種類（報告的登記と形成的登記）				
4	10月　13日	建物の表示に関する登記３～建物の表示に関する登記について～	所属・役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	力石 洋平
（表題登記～普通建物～（建物表題登記、建物表題部変更登記、建物表題部更正登記、建物分割登記、建物合併登記、合体による建物の表題登記等、建物滅失登記））				
5	10月　20日	建物の表示に関する登記４～区分建物の表示に関する登記について～	所属・役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	宮坂達
（マンションってなに？、区分所有法の変遷とマンションの歴史、表題登記（区分建物表題登記）、区分所有建物の特異性、区分建物の実取引）、敷地権等について（敷地権とは（敷地権ってなに？）、敷地権の種類）				

回	日　程	テーマ	担当者	
6	10月 27日	土地の表示に関する登記１～土地とは～	所属･役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	山口 功
（土地とは（法令による不動産の定義、登記の対象となる土地についての判例））				
7	11月 10日	土地の表示に関する登記２～土地に関する登記の意義～	所属･役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	奥山琢人
（表示に関する登記の意義（不動産登記制度の沿革））				
8	11月 17日	土地の表示に関する登記３～土地に関する登記の種類～	所属･役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	加々見 光
（土地に関する登記の種類（報告的登記と形成的登記、土地の表示に関する登記の目的）				
9	11月 24日	土地の表示に関する登記４～地図作成～	所属･役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	石瀬正毅
（地図について（法務局に備え付ける地図の定義、地図の成り立ちと現状、地図の持つ役割、土地家屋調査士と地図））				
10	12月 1日	測量に関する理論と実務	所属･役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	新 隆博
（土地の測量実務（測量機器と測量方法、位置の求め方、測量誤差について、座標系について）、表示に関する登記と測量（土地：地図、地積測量図、建物：建物所在図、建物図面、各階平面図）、地図・地積測量図の作成に係る測量の規定（地図、地積測量図））				
11	12月 8日	境界論～土地の制度と歴史～	所属･役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	中村咲子
（土地の制度と歴史的沿革（土地の所有権の歴史、近代的所有権の成立、地租改正事業、徴税と権利公示の制度、まとめ）、筆界と所有権界（公法上の境界と私法上の境界、土地の境界、土地の境界と登記制度）、登記実務での筆界認定（筆界認定と登記官、土地家屋調査士の調査・測量、隣接土地所有者による認識確認・立会				
12	12月 15日	境界論～境界紛争の解決手段～	所属･役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	矢嶋宏大
（筆界特定制度（筆界特定制度とは、手続きの流れ、土地家屋調査士の関与）、境界確定訴訟と所有権の範囲の確認訴訟（境界確定訴訟とは、所有権の範囲の確認訴訟とは、登記手続きとの関係）、土地家屋調査士会ＡＤＲ（土地家屋調査士会ＡＤＲとは、認定土地家屋調査士、土地家屋調査士会ＡＤＲと他の制度との関係））				

回	日　程	テーマ	担当者	
13	1月 12日	総括	所属・役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	塩野 麻里
14	1月 19日	a ：試験 b ：講座全体のまとめ等	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	亀田　浩一郎

3　履修上の注意

特になし

4　準備学習（予習・復習等）の内容

授業時にパンフレットを配布しますので，その次の講義までに各自復習を行ってください

5　教科書

特になし。各回の授業で資料等を配布する予定です。

6　参考書

第２回講義の配付資料（日本土地家屋調査士会連合会作成パンフレット「マンガでわかる土地家屋調査士のしごと」、「知って得する、境界標の『知識』」）

7　課題に対するフィードバックの方法

授業中または Oh-o!Meiji を利用してフィードバックを行う。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

期末試験（65%）、平常点（35%）

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
紛争の解決・予防の仕組みと実務家の役割	法学部・太田 勝造

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	水	4

1　授業の概要・到達目標

授業の概要　生活や事業に密接な法律に民法や商法・会社法があり、それらには紛争の解決だけでなく予防の仕組みがあること。裁判と登記について、全体像と使い方を、司法書士実務からの事例をとおして解説する。
到達目標　健全な日常生活のための法制度を知り、それへのアクセスには実務家としての司法書士が大きな役割を果たしていることを知る。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月　30日	イントロダクション	所属・役職	法学部・コーディネーター
			氏　名	太田 勝造
講座の概要、成績評価方法等の説明				
2	10月　7日	身近な法律と役割　その１　民法	所属・役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	柏木佳奈
本講義では、民法が実生活においてどのように使われるのか、代理、売買、相続など身近な事例を用いて検討します。また、司法書士が民法に関連し、日頃どのような業務を行っているのか事例を交えてご紹介するとともに、司法書士が取り扱う「登記」とはどのようなものか学習します。				
3	10月　14日	身近な法律と役割　その２　商法・会社法	所属・役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	柏木佳奈
本講義では、会社（とりわけ、株式会社）が実際に会社法の規定に従って行っている業務（株主総会の運営や株式発行など）について、上場企業と中小企業を比較しつつ事例を交えて学習します。				
4	10月　21日	紛争と解決の仕組み 裁判制度と裁判手続	所属・役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	田口真一郎
本講義では、裁判の手続が実際にどのように進むのかを、具体例を交えて紹介します。民事訴訟だけでなく、家事事件手続や非訟事件手続といった日常生活に関わる裁判も取り上げ、社会で起きるトラブルがどのように解決されるのかを理解します。また、相談対応や書類作成などの司法書士の役割にも触れ、制度を身近に感じていただくことを目指します。				
5	10月　28日	司法書士をとおしたアクセス 簡易裁判所の訴訟 債務整理	所属・役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	田口真一郎
本講義では、まず、民事訴訟の基本的な流れや仕組みを紹介するとともに、司法書士が相談を受けてから問題の解決に至るまでの具体的なプロセスを、実務に即して解説します。また、簡易裁判所の裁判で司法書士が果たす役割や、経済的に困っている債務者の債務整理（破産手続など）がどのように進められるのかについても学習します。				
6	11月　4日	紛争予防の仕組み 不動産登記　その１　制度の概説	所属・役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	青木輝美
本講義では、不動産の情報を公示するための登記制度を紹介します。実際の登記記録を見ていただき、不動産についてどのような情報が公示され、紛争の予防に寄与しているかを学習します。				
7	11月　11日	不動産登記　その２　登記の手続	所属・役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	青木輝美
本講義では、不動産の登記申請手続の流れを具体的に解説します。登記完了後に法務局から発行される書類等についてもお話しします。また、法務局の取り扱う業務についても触れます。				
8	11月　18日	司法書士をとおしたアクセス　その１　不動産の売買	所属・役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	青木輝美
本講義では、不動産の売買の場面における司法書士業務の一連の流れを解説します。講師が体験した代金決済の現場でのエピソードなども交えて、お話しします。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月　25日	司法書士をとおしたアクセス　その２　相続	所属･役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	青木輝美
本講義では、相続の相談を受けた場面における司法書士業務の一連の流れを解説します。また、遺言や相続に関連する家庭裁判所の手続等についてもお話しします。				
10	12月　2日	司法書士をとおしたアクセス　成年後見制度	所属･役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	田口真一郎
本講義では、判断能力が十分でない方を支援するための制度である成年後見制度の基本的な仕組みと目的を、分かりやすく学びます。開始の申立てや、後見人に就任した場合の役割、利用のポイントを具体例を交えて紹介します。また、司法書士が関わる実務の現場や、制度が社会で果たす役割にも触れます。				
11	12月　9日	商業登記　その１　制度の概説	所属･役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	金子雄祐
本講義では、商業登記制度の意義、目的及び機能などについて概説します。商業登記の基本原則や会社法との関係を理解し、企業活動に置ける商業登記の重要性について学びます。また、商業登記記録の構成や、必要な情報を読み取る方法についても解説します。				
12	12月　16日	商業登記　その２　登記の手続	所属･役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	金子雄祐
本講義では、商業登記の手続きの流れを具体例を交えて解説します。実体法である会社法から手続法である商業登記法へのつながりを理解し、具体的な申請方法や実務上の運用について学びます。また、登記所の審査権の範囲や登記懈怠の法的責任など、企業側が注意すべき点についても触れます。				
13	1月　13日	司法書士をとおしたアクセス 会社の設立や役員の変更など	所属･役職	日本司法書士会連合会・司法書士
			氏　名	田口真一郎
本講義では、会社（とりわけ、株式会社）という制度の基本的な仕組みを確認しながら、その設立や運営が具体的にどのように行われるのかを見ていきます。また、会社の情報を公示するための商業登記の制度を紹介し、実際の登記記録を確認しつつ、どのような情報が公示され、どのように機能しているのかについて理解を深めていきます。				
14	1月　20日	総括　国民の権利擁護と実務家司法書士の役割	所属･役職	法学部・コーディネーター
			氏　名	太田 勝造

3　履修上の注意

特に無し

4　準備学習（予習・復習等）の内容

授業の最後にリアクションペーパーを提出していただきます。

5　教科書

無し（授業時に案内する）

6　参考書

無し（授業時に案内する）

7　課題に対するフィードバックの方法

無し（授業時に案内する）

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

試験９０％、平常点（出席点）１０％として評価します。

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
アート・オブ・物流	商学部　町田　一兵/菊池　一夫

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	春学期	金曜日	4限目

1　授業の概要・到達目標

本講義は各業種に経験豊富な物流業務に携わるエキスパートたちを中心に、その実務経験を授業に活かし、毎回異なる業種や視点における物流の仕組み、特徴及び概況を実践的に説明し、本学既存の商業流通関連カリキュラムを学ぶ意欲の促進及び物流産業全体の実像に対する理解の深化をねらいとする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月10日	イントロダクション （講座の概要，成績評価方法等の説明）	所属･役職	コーディネーター
			氏　名	町田　一兵
講座の開講にあたり、交通・物流が産業における重要性を始め、講座の概要及び各講座のスピーカーによることなる産業での切り口のポイントなどの紹介を行い、成績評価方法などを説明する。				
2	4月17日	高付加価値の物流 （Art of Logistics）	所属･役職	千疋屋総本店　代表取締役社長
			氏　名	大島　代次郎
高付加価値貨物に代表される高級フルーツ、その高付加価値を維持するための一連のモノの流れを企業の取り組み事例として紹介し、物流が価値創造するための重要な役割という切り口で物流機能の大切さを説明する。				
3	4月24日	アート・オブ・物流 ハーケンダッツの物流	所属･役職	ハーケンダッツジャパン株式会社
			氏　名	能登　聖一
高い品質のアイスクリームの製造から輸送プロセクまで管理しながら、全国に絶えずに品物を供給する物流システムを作り上げ、かつ常に輸送温度を厳しくチェックし、食品メーカーならではの厳しいサプライ・チェーンの在り方について説明する。				
4	5月8日	複数の流通チャネル（オムニチャネル）に効果的な物流を	所属･役職	コーディネーター
			氏　名	菊池　一夫
消費者の購買方法が多種多様になるなか、流通チャンネルが複雑化となり、アマゾンを始めとするネットプラットフォーム企業が店舗とネットでの販売など、顧客と複数の接点を持つためのモノの流れ、BtoCの最新状況を踏まえて、流通チャネルにおける物流の在り方を説明する。				
5	5月15日	進化するAIと物流（世界的ガリバー企業の取り組み）	所属･役職	株式会社　ダイフク
			氏　名	下田 忠久
物流関連機器の製造販売のトップ企業である傍ら、製造・流通に物流機器の利用による自動化・無人化が進む現状及びAIを組み入れた最新の物流機器の進化を説明する。				
6	5月22日	物流のプラットフォームと中小事業者の活性化	所属･役職	Cbcloud株式会社　代表取締役社長
			氏　名	松本　隆一
ECの急成長のなか、消費者がいる末端まで配達することが急速に増え、大手物流事業者だけでは対応しきれない。自らプラットフォーム会社を立ち上げ、自社のアプリを用いて、個人事業主を含む中小運送事業者をいかに効率的に組織し、サービスレベルを向上させることで新たな市場の担い手になる仕組みを説明する。				
7	5月29日	ファッションと物流（確かな品質を消費者に届く工夫）	所属･役職	㈱ビームスホールディングス ロジスティクス本部 副部長
			氏　名	竹川　誠

<table>
<tr><th>回</th><th>日　程</th><th>テーマ</th><th colspan="2">担当者</th></tr>
<tr><td colspan="5">ファッション関連のアパレルを取り扱う方法は他の消費財の流れに比べ、かなりユニークである。アパレルの保管や仕分けにRFIDが使われており、多頻度小口での対応や輸送先の建物に合わせた車両の導入など、アパレル業界にかかわる物流の仕組みをわかりやすく説明する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">6月5日</td><td rowspan="2">アパレルの物流（ファッションビジネスと物流の位置付け）</td><td>所属･役職</td><td>有限会社　ディマンドワークス
代表</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>齊藤 孝浩</td></tr>
<tr><td colspan="5">アパレルOEM生産、輸出入の仕組みやファッション流通の在庫最適化を図る手法など、ファッション企業のサプライチェーン・ロジスティクスの現状及び店頭・EC販売、在庫管理業務の再構築など、アパレルグローバルサプライチェーンやオペレーションの最新事情を説明する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td rowspan="2">6月12日</td><td rowspan="2">New Reality に対応した日本での物流網の構築</td><td>所属･役職</td><td>ネスレ日本株式会社
SCMサ本部
デマンド　アンド　サプライプランニング部
部長 執行役員</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>尾川　太志</td></tr>
<tr><td colspan="5">グローバル企業として、「共通価値の創造」を実現するため、物流の面において、「モーダルシフト」活動の展開、IoTを活用した集荷車両の効率化など、グループをあけての物流効率化、環境への貢献などの取り組みを紹介する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td rowspan="2">6月19日</td><td rowspan="2">パレット単位で動く国際物流</td><td>所属･役職</td><td>コストコジャパン株式会社</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>相川　庸介</td></tr>
<tr><td colspan="5">商品数を減らし、ケース単位で販売するなどの手法で成功したアメリカの流通事業者が文化背景の異なる日本でどのよう展開し、その背後に支える物流をどのように展開しているを説明する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td rowspan="2">6月26日</td><td rowspan="2">リコール品の流れを含む静脈物流（再生できる社会を目指して）</td><td>所属･役職</td><td>千葉商科大学准教授</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>大下　剛</td></tr>
<tr><td colspan="5">BtoC物流が増える中、返品の流れが極めて大きくなってきた。消費者権益を守る上で当然な措置だが、その効率的な対応が求められる。さらにメーカーから消費者までの従来の物流の流れと逆に、廃棄物流を含む循環物流の整備・構築について説明する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td rowspan="2">7月3日</td><td rowspan="2">災害からの物流ネットワークのレジリエンス</td><td>所属･役職</td><td>防衛大学校　防衛学教育学群
戦略教育室　准教授　２等海佐</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>中澤　信一</td></tr>
<tr><td colspan="5">天災や人災が絶えない日本にとって、物流はライフラインであり、どのような状況でもきちんとその供給を止めない。そのような役割をきちんと果たしていくため、とりわけ有事の対応が極めて重要、国家や自治体が非常時に物流の流れの確保に対する考え方や事例を紹介する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td rowspan="2">7月10日</td><td rowspan="2">美術品の物流（Art of Logistics）</td><td>所属･役職</td><td>日本通運株式会社　美術品事業部　課長</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>大木　康代</td></tr>
<tr><td colspan="5">美術品の輸送は高度な専門知識及び長年の経験を要する。この業界で豊富な経験を持つスピーカーから、職人の世界の物流技術を紹介すると同時に、物流が必要とする卓越した技術を説明する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td rowspan="2">7月17日</td><td rowspan="2">物流の不動産業って（物流産業のユニークビジネス）</td><td>所属･役職</td><td>株式会社シーアールイー
経営企画部 広報・サステナビリティ推進課</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>吉水　麻莉</td></tr>
<tr><td colspan="5">物流にかかわる不動産業は物流産業の急速な発展や物流事業者側の意識変化などで今日では大きな産業になっている。普段の不動産と全く違うイメージでのビジネス展開や今後の需要拡大で業界の大いなる可能性について説明する。</td></tr>
<tr><td colspan="5">3　履修上の注意</td></tr>
<tr><td colspan="5">事前に登壇される講演者が所属する企業のビジネス内容を確認した上、授業に参加することが望ましい。</td></tr>
<tr><td colspan="5">4　準備学習（予習・復習等）の内容</td></tr>
</table>

回	日　程	テーマ	担当者
毎回授業前にOh-o! Meijiシステムにて資料をアップし、講義資料を予習する。 テーマに合わせ、事前に関連新聞記事や関連する業界の概要などを調べる。			
5　教科書			
特に指定しない。			
6　参考書			
同友館「アート・オブ・物流」			
7　課題に対するフィードバックの方法			
毎回授業におけるミニッツペーパーを回収した際、学生からの改善点あるいは建設的な提案や要望に対し、個別的に対応/回答する。			
8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと			
毎回レポートの提出（80%）、期末レポート（20%）を総合して評価する。			
9　その他			

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
明治スタートアップ学2026　～キャリアの選択肢としての起業・スタートアップ概論～	商学部　出見世 信之

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	春学期	水曜	５限

1　授業の概要・到達目標

授業の概要：
本講座は、明治大学出身の現役スタートアップ経営者やベンチャーキャピタリストが集結する「明治大学起業・スタートアップ紫紺会」による、他では味わえない圧倒的リアリティと熱量が詰まった寄付講座です。教科書や理論だけでは決して学べない、「リスクを取ってチャレンジする」起業の最前線を、実際に挑戦し続ける起業家たちが自らの経験をもとに語ります。スタートアップならではのスピード感、成功や失敗のリアル、仲間との出会い――そのすべてを体感し、起業をキャリアの選択肢として本気で考え抜く場がここにあります。なお、紫紺会の会長をはじめ、紫紺会の会員も各回の授業やその後の交流会に参加することを予定しています。
到達目標：
本講座を通じて、受講者一人ひとりが「自分にも挑戦できる」「自分も仲間とともに未来を切り拓ける」という自信とマインドセットを身につけることを目指します。起業に対する意識を根底から変え、実際に行動へ移すきっかけを提供するとともに、志を同じくする仲間とのネットワークを築き、明治大学発の熱い起業コミュニティの中核を担う人材の輩出を目指します。

2　授業内容

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月15日	起業・スタートアップの役割	所属・役職	商学部専任教授/アソビュー㈱代表取締役
			氏　名	出見世 信之/山野智久

本講座は、明治大学の卒業生で、起業・スタートアップ業界で活躍している「明治大学起業・スタートアップ紫紺会」の寄付講座です。
第1回は、なぜ今、社会課題の解決や新しい価値創造の担い手としてスタートアップが注目され、その役割が重要なのかを解説し、本講座全体の概要を説明します。会長の山野智久氏が登壇し、講義を通じてキャリアの選択肢として起業・スタートアップを捉え、「自分にも挑戦できる」というマインドセットを育み、未来を切り拓くための第一歩を踏み出すことを目指します。仲間と共に未来を切り拓くための、実践的な学びのスタートです。

2	4月22日	起業家というキャリア	所属・役職	アソビュー㈱代表取締役/琉球アスティーダスポーツクラブ㈱代表取締役/日本政策金融公庫広報部長/㈱KUROJIKA代表取締役/㈱EPOCH代表取締役
			氏　名	山野智久/早川周作/森本淳志/早川伸夫/石澤秀次郎

キャリアの選択肢として「起業・スタートアップ」を具体的に考える回です。第一線で活躍する明治大学卒業生の経営者（紫紺会会員）が登壇します。彼らが起業に至った経緯、そして経営の現場（実務）で直面した事業転換（ピボット）や逆境をどう乗り越えたか。その実践的な意思決定のプロセスを、リアルな体験談として共有します。スタートアップならではのスピード感、リスク、そして社会に新しい価値を生み出す醍醐味とは何か。多様なキャリアを持つ登壇者の話から、起業家精神（アントレプレナーシップ）の本質と、自らのキャリアを主体的に考えるヒントを得ます。

3	4月29日	スタートアップ・ファイナンス完全攻略	所属・役職	ANRI㈱ジェネラル・パートナー/日本政策金融公庫広報部長/㈱FUNDINNO代表取締役 /㈱XSprout代表取締役
			氏　名	河野純一郎/森本淳志/大浦学/松本泰拓

スタートアップの成長に不可欠な「資金調達」について、その実務の全体像を理解します。Fintech、ベンチャーキャピタル、株式投資型クラウドファンディングなど、異なる立場で資金調達の最前線に立つプロ（実務家）が登壇。彼らが実務で日々実践している、自己資金、借入、出資といった多様な調達手法の特徴、メリット・デメリット、投資家との交渉術まで、最前線のリアルな知識を多角的に学びます。「夢をカタチにするためのお金」をどう集め、どう活用するのか。スタートアップのお金の流れについて、本音ベースで実践的に解説します。

4	5月13日	女性起業家が語る“リアル” ～多様な生き方・働き方をデザインする力～	所属・役職	mederi㈱代表取締役/㈱ハグカム代表取締役/㈱Morning Labo代表取締役/㈱AdMel代表取締役
			氏　名	坂梨亜里咲/道村弥生/中村朝紗子/高橋桃花

第一線で活躍する明治大学卒の女性起業家たちが登壇します。事業を推進する実務の中で、「女性だからこそ直面する壁」や、それを乗り越える中で培った「新しい発想」とは何か。また、起業を通じて「自分らしいキャリア」をどのように切り拓いてきたのか。登壇者のリアルな実務経験と考え方を通じて、起業という選択肢の多様性を学びます。社会の変化とともに広がる「自分で未来を選ぶ」という視点は、皆さんのこれからの生き方・働き方を考えるヒントになるはずです。「起業は特別な人だけのもの」ではなく、誰もがチャレンジできる時代です。多様なキャリアから、大学生の皆さん自身の可能性を見つけるきっかけにしてください。

5	5月20日	学生起業のリアルと大学エコシステム活用術 ～明治から始めるスタートアップへの挑戦	所属・役職	シンゲキ㈱代表取締役/㈱Pictoria代表取締役/Amateras Space㈱代表取締役/㈱Utip代表取締役
			氏　名	菅澤孝平/明渡隼人/蓮見大聖/田中雄貴

「学生起業」をテーマに、実際に学生時代に起業した経営者たちが登壇します。明治大学の起業支援を活用して起業した卒業生、支援体制がない時代に学生起業した先輩、そして大学の起業支援を立ち上げた経験者です。「学生で起業するって実際どうなの？」「大学の支援（エコシステム）はどこまで使える？」といった疑問に、それぞれの視点からリアルな実務経験に基づきアドバイスします。大学という環境を最大限に活用し、仲間と共に一歩を踏み出すための実践的な知恵を学ぶセッションです。学生起業に少しでも興味がある方、明治発の新しい可能性に触れたい方、必見です。

6	5月27日	IPOロードマップ：業界最年少上場への道	所属・役職	㈱yutori代表取締役社長
			氏　名	片石貴展

明治大学の仲間たちとともにアパレル企業「yutori」を立ち上げ、2023年にアパレル業界最年少（当時）で東証グロース市場への上場（IPO）を実現した片石社長（明治大学商学部卒）。大学時代の出会いから起業、そして仲間との協働を経て上場を果たすまでの裏側には、どのような実践的な戦略と成長があったのか。片石社長自身の言葉で、実務家として経験したリアルな軌跡、仲間と夢を追う意義、壁を乗り越えるマインドを語ります。片石社長自身の貴重な実務経験に基づく話は、皆さんのキャリアを考える上で重要なヒントが詰まった貴重な機会になります。

7	6月3日	実践：ゼロから始める起業体験ワークショップ	所属・役職	日本政策金融公庫広報部長/㈱AdMel代表取締役
			氏　名	森本淳志/高橋桃花

講座全体の折り返しとなる本講義では、これまでの実務家たちの講義を踏まえ、学生自身が「起業」をリアルに体感できる実践的なワークショップを行います。身近な課題や興味からビジネスアイデアを創出し、短時間でビジネスモデルを組み立て、最後に代表者がプレゼンテーションまでチャレンジ。実際の起業家が直面する「発想」「チームでの議論」「伝える力」を体験し、フィードバックも受けられます。「起業は特別な人だけのものではない」――自分のアイデアに向き合い、仲間とともに未来を切り拓く最初の一歩になります。また、役に立つ起業イベントの紹介、人的ネットワークの構築方法等、次につながる実践知も得ます。

8	6月10日	食から世界を変える：サステナブルなスタートアップ	所属・役職	ボンディッシュ㈱代表取締役/フーズカカオ㈱代表取締役/㈱千休代表取締役
			氏　名	上形秀一郎/福村瑛/久保田夏美

ITやデジタルとは違うアプローチで、食や素材の分野から新しい価値創造に挑む実務家たちが登壇します。「食」のカカオ豆の透明性（トレーサビリティ）追求、抹茶のサブスクリプション展開、新しい食体験の提供など、登壇者は食の領域で新たなチャレンジを実践しています。「環境と美味しさ」を両立させるため、彼らが実務でどのようにサプライチェーンを構築し、ファンを形成し、原料を調達しているのか、現場でのリアルな挑戦と工夫を共有します。食やライフスタイルを起点に、社会課題の解決や新しい市場の創出に取り組む起業家たちのストーリーから、スタートアップの多様な可能性を感じてください。

9	6月17日	モノの新しい循環をつくる：toCサービスのユニットエコノミクス	所属・役職	レンティオ㈱代表取締役/㈱ハグカム代表取締役/㈱digdig代表取締役
			氏　名	三輪謙二朗/道村弥生/楊承峻

「toC（消費者向け）」サービスを実際に手掛ける実務家たちが登壇します。家電レンタル、フリマ、英会話など、異なるビジネスモデル（シェア、C2C、教育）を事例に、その実践的な成長戦略（グロース戦略）を学びます。
これらのサービスは、「顧客1人あたりの採算性（ユニットエコノミクス）」を実務でどう確保し、事業を成長させているのか。単なるサービス提供にとどまらず、ユーザーの生活スタイルや社会全体のサステナビリティにどのようなインパクトを与えているのか、現場のリアルな経験や課題、今後の展望を語ります。「消費」のあり方が大きく変わる時代に、学生の皆さんが新しいビジネスや社会の可能性を考えるヒントとなるセッションです。

10	6月24日	売れるを仕掛ける：マーケティング起業のリアルと戦略	所属・役職	㈱SkillRing代表取締役/㈱ウィングリット代表取締役/ココアンド㈱代表取締役/㈱AdMel代表取締役
			氏　名	児玉隆洋/味方勇人/側瀬千尋/高橋桃花

デジタル時代の「マーケティング」を武器に、独自のサービスやブランドを立ち上げた起業家（実務家）たちが登壇します。
彼らが実務の現場で、どのようにマーケティング市場を切り拓き、成長を実現してきたのか。その実践的な戦略、リアルな課題、成功と失敗のストーリーを学びます。「どうやって顧客を見つけ、ファンを増やし、ブランドを育てるか」―マーケティング実務の視点から起業を考えたい学生にとって、すぐに活かせる実践的なヒントが詰まったセッションです。

11	7月1日	「働く」をアップデートする：VUCA時代のキャリアビジネス	所属・役職	㈱リブ代表取締役/㈱ウィルオブ・パートナー代表取締役/㈱knewit代表取締役/Nsight㈱代表取締役
			氏　名	松本洋介/清水巧/小川直哉/原田紘大

予測不能なVUCAの時代、そしてAIの台頭とグローバル競争が激化する現代において、「大量採用・終身雇用前提」の旧来型キャリアビジネスは限界を迎えています。本講座には、「キャリアビジネス」の最前線で革新的なサービスを創造し、事業の上場達成や急成長を実現した起業家が登壇し、彼らが「キャリアビジネス × スタートアップ」というテーマで次世代のビジネスフレームワークを実体験に基づき解説します。
少子高齢化によって激変する市場構造を捉え、キャリアビジネスを通じて社会を再設計する挑戦の楽しさと意義深さをお伝えします。特に、事業の企画・実行から、組織の拡大、そして困難な状況における意思決定プロセスなど、現場でしか掴めない経営のリアルと実践的なノウハウを学修することができます。

12	7月8日	日本の魅力を世界へ：ローカルとグローバルをつなぐ挑戦	所属・役職	アソビュー㈱代表取締役/㈱MATCHA代表取締役/㈱コラレアルチザンジャパン代表取締役
			氏　名	山野智久/青木優/山川智嗣

日本の伝統や地域の価値を世界に発信するスタートアップに焦点を当てます。登壇するのは、観光情報や日本の伝統工芸を国内外に発信・展開する起業家です。彼らは、ローカルの魅力を発掘し、グローバル市場に届けるという実務の最前線にいます。「言語の壁を越えて魅力を伝えるコンテンツ制作」や「海外の商習慣と日本の作り手をつなぐ交渉術」など、数々の試行錯誤から得た実践的な知見を持っています。現場でのリアルな経験と課題を直接学修することで、地域発イノベーションの可能性と、その実現に必要な戦略（実践）を体得できます。

13	7月15日	世界を舞台に挑む：グローバル起業のリアルと戦略	所属・役職	DrivemodeCEO/Final AimCEO/GlidelyCEO/㈱UPSIDER取締役副社長
			氏　名	古賀洋吉/朝倉雅文/及川修/水野智規

活躍の舞台を「世界」に定め、アメリカなど海外で起業した起業家たちが登壇します。グローバル市場での事業展開は、国内とは全く異なる実務の連続です。登壇者は、「ゼロからのネットワーク構築」「現地の法規制や商習慣への対応」「多国籍チームのマネジメント」「海外投資家からの資金調達」「今後の日本発スタートアップの可能性」といった、自ら経験した生々しい実務について語ります。彼らが実践の中でどのようにリアルな壁を乗り越え、ビジネスを成長させてきたのか。その実体験に基づく戦略と知見は、「世界に通用するビジネスをつくりたい」「海外で挑戦したい」と考える皆さんにとって、最も実践的な学びとなるでしょう。

14	7月22日	総括：メンタリング交流会	所属・役職	アソビュー㈱代表取締役/㈱UPSIDER取締役副社長/mederi㈱代表取締役/㈱yutori代表取締役社長
			氏　名	山野智久/水野智規/坂梨亜里咲/片石貴展

講義の最終回として、これまでの講義を振り返り、学びや気づきを共有し合う総括のセッションです。本講座の最大の特徴は、第一線で活躍する起業家（＝豊富な実務経験者）との距離の近さです。このセッションでは、再びゲスト講師陣を迎え、皆さんのアイデアやキャリアの悩みに実践的な視点から直接答えるメンタリングを行います。実務経験に裏打ちされた具体的なアドバイスやフィードバック、本講座で得たネットワークや経験を活かし、これからの挑戦に向けて「前へ」一歩を踏み出すきっかけにしてください。

3　履修上の注意

本講座は、起業家のゲスト講師による講演やディスカッションを中心に進行します。積極的な参加姿勢が求められますので、毎回の出席と発言・質疑応答への積極的な参加を心がけてください。
また、ワークショップやメンタリング交流会は、自身のビジネスアイデアを磨く貴重な機会として役立ててください。

4　準備学習（予習・復習等）の内容
各回のテーマに関連する基本的な知識や最新の動向について、事前に調べておくことを推奨します。特に、登壇予定の起業家や企業の事業内容、業界のトレンドなどに目を通しておくと、講義内容への理解が深まります。 ゲスト講師への質問を事前に考えておくと、より実りある学びにつながります。
5　教科書
明治大学起業・スタートアップ紫紺会が作成する資料を毎回提供します。
6　参考書
各回毎に関連する参考書を紹介します。
7　課題に対するフィードバックの方法
Oh-o!Meijiを使ってレポート提出をもって出席確認をします。
8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと
各回の授業後に課される小レポートを総合的に（100%）評価します。レポートは毎回必ず提出してください。全14回中11回以上のレポートの提出がない場合は成績評価の対象外とします。なお、講義期間中に実際に起業した場合や、それに準ずる顕著な挑戦を行った場合には、担当教員との面談・審査を経て評価を加算する場合があります。詳細は初回講義にて説明します。
9　その他
講義によっては、担当者の一人が当日、予定している他の担当者の動画、資料などを紹介することがあります。なお、毎回の講義後は希望者を募って質疑応答ができる交流会を開催します。３０名程度。（任意参加）

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
ファッションは社会を読み解くメディア ～2010年代以降の日本のファッション現在地	商学部・高野公三子

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	木曜日	5限

1　授業の概要・到達目標

ファッションは、経済・文化・歴史・身体・都市・メディアが交差する社会の“読み解き装置”である。
本講座では、ファッションを通して現代社会の構造を多角的に理解することを目的とする。特に、2010年代以降の日本のファッションの変化と現在地に焦点を当て、ラグジュアリービジネスの動向、日本のデザイナーの国際的な活躍、メディア環境の変容、デジタル化とグローバル化による産業構造の変化、商業施設やサプライチェーン、テクノロジーやサステナビリティの課題などを取り上げる。
特徴としては、現場で実践しているプロフェッショナルをゲスト講師として迎え、デザイン、教育、メディア、流通、生産など多様な領域の視点を横断的に学ぶことで、ファッション産業の構造を立体的に理解し、社会と深く結びついたファッションの“現在地”を、自らの専門分野や関心と接続しながら考察する視点を養う。
到達目標
・ファッションを社会現象として捉え、複眼的に分析する視座を身につける
・ファッションをめぐるビジネス・文化・社会の相互関係を理解する
・異なる専門領域の知見を接続し、現代社会の変化を洞察する力を養う

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月24日	イントロダクション － 社会を読み解く“ファッション”という視点	所属･役職	明治大学特任講師
			氏　名	高野公三子

ファッションは、流行や装いとしてだけでなく、人びとの価値観や欲望、都市の空気を映し出すメディアである。初回では、本講座の目的を共有するとともに、ファッションを手がかりに現代社会を読み解く視点を導入する。身近な服装や街の風景を通じて、社会構造や時代の変化をどのように観察し、解釈していくのか、今後の授業の見取り図を示す。

2	10月1日	日本のデザイナーと世界① － 国際舞台で評価される創造力	所属･役職	SOSHI OTSUKIデザイナー
			氏　名	大月壮士

近年、日本のデザイナーはパリやミラノなどの国際舞台で存在感を高めている。本回では、日本のデザイナーがどのような背景や価値観からブランドを立ち上げ、創造性を世界の市場や評価と接続しているのかに注目する。
2025年にLVMHプライズグランプリを受賞し、ZARAとのコラボレーションも実現。2026年1月にはPitti Immagine Uomoにゲストデザイナーとして招聘され、初の海外ランウェイショーを披露した大月氏に、自身のキャリアや国際舞台で評価される日本のファッションの現在地について語ってもらう。

3	10月8日	ファッション教育の新しい潮流 －「ここのがっこう」と「東京ニューエイジ（TOKYO NEW AGE）」の実践	所属･役職	ここのがっこう代表／「リトゥンアフターワーズ」デザイナー
			氏　名	山縣良和

大学や専門学校とは異なる“私塾”的な学びの場から、多数のデザイナーが生まれている。本回では、「ここのがっこう」や「東京ニューエイジ」といった取り組みを事例に、どのような教育環境やコミュニティが若手クリエイターの創造性を育んできたのかを探る。
制度的な教育との違いや、仲間との関係性、実践的な制作環境などに注目しながら、従来の教育モデルでは捉えきれない新しい学びのあり方を検討する。また、こうした教育の変化が日本のファッションシーンの更新や、クリエイティブ産業の構造にどのような影響を与えているのかを考察する。

4	10月15日	ファッションとメディア① － トレンドは誰がつくるのか？	所属･役職	編集者、ブランディング・ディレクター、 ファッション・ライフスタイル誌の元編集長
			氏　名	中島敏子

ファッション誌、ストリートスナップ、テレビ、SNSなど、トレンドをめぐるメディアは時代とともに変化してきた。本回では、編集者、スタイリスト、インフルエンサー、ブランドの広報担当者など、トレンド形成に関わる多様なアクターに目を向ける。情報がどのように選ばれ、編集され、人びとの憧れや欲望と結びつきながら社会へ広がっていくのかを、メディア環境の歴史と現在を往復しながら読み解く。また、メディアがクリエイティブ産業の中で果たす役割について考察する。

回	日　程	テーマ	担当者	
5	10月22日	ファッションとメディア② － AIとデータで読み解くトレンドの行方	所属･役職	株式会社ニューロープ代表取締役社長
			氏　名	酒井聡
AIや画像認識、SNS分析などの技術は、ファッション領域にも急速に導入されている。本回では、膨大なコーディネート画像や投稿データをもとにしたトレンド分析の方法と、その実務における活用事例を紹介する。 あわせて、数値やアルゴリズムによって可視化される動向と、言語化しにくい「空気感」や少数派の創造性との関係にも目を向ける。データと人間の感覚がどのように交差し、これからのクリエイティブ産業にどのような影響を与えていくのかを考察する。				
6	11月5日	ファッションビジネスの最前線① － D2Cブランドの戦略とリアル	所属･役職	株式会社yutori代表取締役社長
			氏　名	片石貴展
オンライン発のD2Cブランドは、従来の広告や店舗中心のモデルとは異なり、SNSやコミュニティを軸に成長してきた。本回では、個人や少人数のチームがブランドを運営する時代において、創造性とビジネスがどのように結びつき、新しいブランドの形がどのように生まれているのかを具体的事例から学ぶ。				
7	11月12日	ファッションと経済 － 2010年代以降のラグジュアリービジネスの変容	所属･役職	株式会社ユナイテッドアローズ上級顧問クリエイティブディレクション担当
			氏　名	栗野宏文
グローバルなラグジュアリービジネスは、日本の消費文化や都市の風景とも深く結びついている。本回では、セレクトショップ文化の展開、インバウンド需要の拡大、世代別消費行動の変化などを手がかりに、2010年代以降の市場構造の変化を整理する。巨大資本によるブランド統合、価格戦略、希少性の演出など、ラグジュアリーブランドがどのように価値を構築し、社会的象徴性を維持しているのかを、実務家の視点を通して立体的に理解する。				
8	11月19日	ファッションビジネスの最前線② － ブランド価値を社会に届ける仕事（PR/セールス）	所属･役職	株式会社サカス代表取締役社長／株式会社T EN10 COO
			氏　名	長坂啓太郎／志賀光
ファッションブランドの魅力や世界観を社会へと伝え、顧客や市場と接続する役割を担うのがPRやセールスである。本回では、展示会やプレス対応、バイヤーとのコミュニケーション、スタイリストへの貸し出しなど、ブランドが社会の中で認知され、流通していくプロセスを具体的に学ぶ。 華やかなイメージの裏側で行われている情報設計、人間関係の構築、戦略的判断に注目し、クリエイションとビジネスをつなぐ実務のリアルを理解する。				
9	11月26日	日本のデザイナーと世界② － 挑戦と評価をめぐる現在地	所属･役職	「AKIKO AOKI」デザイナー
			氏　名	青木明子
国際的に活動する日本のデザイナーは、作品制作だけでなく、経営、コミュニケーション、資金調達など多様な課題に向き合っている。本回では、ブランドの継続に必要なビジネス的視点や、海外のショールーム・小売店との関係構築、評価システムとの向き合い方など、国際展開の実際を具体例から学ぶ。 成功や試行錯誤のプロセスを通して、日本発のファッションがどのように世界と関係を結び、現在どのような位置にあるのかを多角的に考察する。				
10	12月3日	ファッションビジネスの最前線③ － 表現を拡張するショー演出（映像/テクノロジー）	所属･役職	ハイパーモード株式会社 代表取締役社長
			氏　名	平田本吉
ファッションショーは、ブランドの世界観を一度に提示する重要な表現の場である。近年は配信技術や映像演出の発展により、その形式や観客体験が大きく変化している。本回では、照明・音楽・映像・編集などが組み合わさることで、どのようにブランドの物語や価値が構築されているのかを具体的に解説する。 会場にいる観客だけでなく、オンライン配信を通じて世界へ広がる表現の可能性にも目を向け、テクノロジーがクリエイティブ産業にもたらしている変化を考察する。				
11	12月10日	サプライチェーンのリアル － 生産の“現場”から産業を考える	所属･役職	株式会社三角形代表取締役社長／株式会社糸編代表取締役社長
			氏　名	尾崎雄飛／宮浦晋哉
一着の服が完成するまでには、素材開発、織編、染色、縫製、物流など、多くの工程と人びとの手が関わっている。本回では、産地や工場の現状、コスト構造、労働環境、環境負荷といった、表に出にくい側面に焦点を当て、ファッション産業の基盤を支えるサプライチェーンについて理解を深める。 同時に、産地ブランディングや小規模生産、持続可能なものづくりへの新たな取り組みも紹介し、クリエイションと産業構造の関係を多角的に考察する。				
12	12月17日	ファッションの未来 － テクノロジーとサステナビリティが拓く地平	所属･役職	synflax株式会社代表取締役CEO
			氏　名	川崎和也

回	日　程	テーマ	担当者	
気候変動や大量廃棄の問題を背景に、ファッション産業には持続可能な転換が求められている。本回では、リサイクル素材やバイオ素材、3Dモデリング、オンデマンド生産などの技術的取り組みを紹介し、それらが産業構造やクリエイションのあり方にどのような変化をもたらしているのかを検討する。 同時に、環境配慮とビジネスの両立という現実的課題にも目を向け、理想論にとどまらない持続可能なファッションの可能性を多角的に考察する。				
13	1月14日	都市文化とファッション － 才能はどのように社会へ届くのか	所属･役職	元パルコ渋谷店店長
			氏　名	平松有吾
商業施設は、単なる消費の場ではなく、ブランドやクリエイターを社会へ提示し、才能を可視化する舞台でもある。 本回では、渋谷PARCOをはじめとする都市型商業施設の事例を通して、テナント構成、イベント企画、アートとの協働などがどのように文化的価値を生み出しているのかを考察する。 都市、商業、クリエイションが交差する空間としての商業施設に注目し、ファッションが社会と出会う「場」の構造を立体的に捉える。				
14	1月21日	総括 － 「社会を読み解くメディア」としてのファッションを考える	所属･役職	明治大学特任講師
			氏　名	高野公三子
本講座の各テーマやゲスト講義を振り返りながら、ファッションを通して見えてきた現代社会の特徴や構造を整理する。本回では、クリエイション、メディア、ビジネス、生産、都市といった多様な領域がどのように連関しているのかを再確認し、本講座全体を俯瞰する。				

3　履修上の注意

本講座では、ファッションを「社会を読み解くためのメディア」と捉え、都市文化・経済・メディア・身体性といった複数の視点から学びます。講義内容に加え、日常生活における観察や各種資料の調査を行うため、主体的に情報を収集し、気づきや疑問を自分の言葉で整理・考察することが求められます。
また、講義内のディスカッションやリアクションペーパーを通して、発見や考えを言語化する経験を積み重ねてください。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

毎回の講義テーマに関連するニュース記事、ファッションブランドや商業施設の動向、消費・メディア・都市文化に関する基礎的な情報を、日頃から意識的に収集しておくことを推奨します。あわせて、講義内で紹介する登壇講師の著書や関連資料にも目を通してください。講義後は、配布資料やスライドを振り返り、自身の経験や関心領域と結びつけながら内容を整理し、次回の講義や課題に活かしてください。

5　教科書

特定の教科書は使用しません。講義資料（スライド）および必要に応じて配布するテキストを用います。

6　参考書

理解を深めるため、以下の文献を参考として挙げる。
・栗野宏文『モード後の世界』扶桑社
・山縣良和、坂部三樹郎『ファッションは魔法（アイデアインク）』朝日出版
・川崎和也『惑星のためのファッション――持続可能な社会を実現する、衣服と技術のデザイン戦略』BNN
・酒井聡『デザインにセンスはいらない！――知るだけで差がつくデザイン講座（AI-CATCHERクリエイティブ講座）』Kindle版
・平松有吾『渋谷パルコの復活――なぜ危機から再生できたのか？』光文社新書
・「ACROSS」編集室（高野公三子編著）『ストリートファッション1980-2020 定点観測40年の記録』PARCO出版

7　課題に対するフィードバックの方法

リアクションペーパーおよび期末レポート等の課題については、講義内での共有・講評、スライドを用いたまとめ、または大学の学習支援システムを通じたコメント提供を行います。必要に応じて、授業内で優れた考察例や分析例を取り上げ、評価の観点や今後の改善点を示します。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

出席状況・授業参加（ディスカッション含む）を30%、リアクションペーパーおよび小レポートを40%、期末レポートを30%として総合的に評価します。特に、観察内容をもとに自らの思考を構造化し、社会的文脈と接続して考察できているかを重視します。

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
環境と政治・経済・社会Ⅰ	政治経済学部・大森正之

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	春学期	木	5

1　授業の概要・到達目標

地域規模から地球規模にいたる公害・環境問題について、明大の大学教員および他大学の教員による国際的な視野に立った講義以外に、環境問題に取り組んでいる新興企業のビジネス・パーソンから、直接「今そこにある環境問題」とその解決への実践を学ぶ機会を提供する。主に3－4年生からなる環境問題に関心のある受講生にとっては、環境問題と政治･経済･社会の接点の情報に多面的にアクセスするチャンスを広げ、進路選択に大きく役立つとともに、環境配慮的な市民かつ職業人への自己形成の知的な基礎を提供することができる。環境政策のプロシューマー（生産･消費者）になる基礎作りを受講生の到達目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月16日	イントロダクション（講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属･役職	政治経済学部・教授
			氏　名	大森正之

本講座の構成コンセプト、各講座の概要と講師について説明すると共に、受講上の注事項、成績評価の方法について概説する。

2	4月23日	人類への問い「水俣病」：その過去・現在・未来	所属･役職	水俣フォーラム・理事長
			氏　名	実川悠太

「公害の原点」といわれる水俣病事件は、地球規模の環境問題にとってもまた「原点」というべき存在である。その一方で、発生確認より半世紀以上が経過した今日に至ってもこの事件は政治的社会的事件としての終息を見ず、メディアへの露出がつづいている。それでも、環境を媒介として数万を超す沿岸住民の生命と健康をうばったこの事件の基本的事実さえ解明には至っておらず、一般の水俣病認識は実体とかけ離れたものとなっているのである。
　講義では、まずこの事件の発生地域、原因企業、原因物質、被害者などの基本的事実について、研究成果を概説した上で、50年･100年におよぶ事件史を概観。これをもとに日本と世界におけるこの問題の今日の姿を浮かび上がらせる。さらに、21世紀を生きる私たち人類にとっての、「問い」としてこの事件の内実を描くことを試みる。

3	4月30日	放射能汚染の実態把握とその対策：環境番組作りの現場から	所属･役職	NHK仙台拠点放送局シニア・ディレクター
			氏　名	藤川正浩

世界最悪レベルの放射能汚染を引き起こした東京電力福島第一原子力発電所の事故。いつ、どれだけの量の放射性物質が放出され、飲料水や食料はどれぐらい汚染されたのか。そして住民はどれぐらい被ばくしてしまったのか。事故から８年が経過したいまも、解明に向けた調査・研究が進められている。その過程で見えてきたのは、自然界のシステムの複雑さと放射性物質の動態を捉えることの難しさ、そして日本の放射能汚染事故対策の手薄さだった。事故で放出された放射性物質による社会的影響は現在も続いている。映像も交えて解説する。

4	5月7日	アメリカの環境正義	所属･役職	政治経済学部・教授
			氏　名	石山徳子

本講義は、アメリカ合衆国で発展を続ける環境正義運動について、その思想と歴史を紹介する。環境正義とは、人種、階級、国籍、ジェンダーなどを理由に弱い立場にある人々が、生活、労働、学習の場で、より大きなリスクを負担してきた不平等や差別を是正し、みなが安全に暮らせる環境と、それを可能にする社会を追求する概念である。この運動の担い手は、国内の問題だけでなく、多国籍企業による石油開発や森林伐採を引き起こす環境破壊と向き合う途上国の人々、兵器の実験場や軍事施設の付近や、戦場に生きることを強いられる様々な国の市民たちにも目を向けてきた。民族や国を超えて広がる連帯を紹介し、環境問題を考えるための一つの視座を提供したい。

5	5月14日	欧州の農業環境問題―歴史と現状－	所属･役職	農学部・教授
			氏　名	市田知子

欧州、特にドイツを中心とした農業環境問題について概説する.畜産廃棄物問題、グリフォサートなどの農薬の規制、動物福祉、有機農業の普及や環境保全型農業への補助金制度などに言及する。

6	5月21日	ワンヘルスの概念から感染症と環境を考える	所属･役職	東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
			氏　名	芳賀　猛

ワンヘルス（One Health）とは、３つの健康、すなわち人・動物・環境 の健康な状態は相互に密接な関係があり、真の健康とは、それらを総合的に良い状態にすること、という概念である。新型コロナウイルス感染症は人に甚大な被害をもたらしているが、その病原体は動物由来と言われる。今世紀、人口・食料・感染症は、人類共通の課題として、地球規模で学際的なアプローチが求められている。ワンヘルスの概念を念頭に、人間活動が環境や生態系に与える影響や人と動物との関係を、感染症の視点から振り返り、将来を展望したい。

7	5月28日	顔の見える電力と気候変動・サステナビリティ	所属･役職	㈱再生可能エネルギー推進機構代表取締役社長
			氏　名	三宅成也

電力業界は2016年の電力完全自由化と共に、企業や消費者が電気を選ぶ時代になりつつある。みんな電力は、生産者の「顔の見える電力」という新しい電力サービスを展開している。また、気候変動対策の重要性が高まる中で、企業が事業活動で消費する電力を全て再生可能エネルギーにシフトする「RE100」というイニシアティブが拡大している。講義では、企業や消費者が電気を選ぶことによりどのように社会に影響をもたらすのか実際の電力ビジネスの観点から考察する。

8	6月4日	モンゴルにおける環境問題と対策	所属･役職	商学部・教授
			氏　名	森永由紀

モンゴル高原では寒冷で乾燥した気候下で遊牧が３千年にわたって営まれてきた。1990年台初頭の資本主義体制への移行により、大きな変化が起こり、環境問題もその影響を強く受けている。　近年の主要な環境問題、①都市への人口集中のよる大気汚染・廃棄物問題②環境対策が不十分な中での経済成長による産業公害、③基幹産業である遊牧にとって重要な資源である草原の荒廃・頻発する干ばつ・ゾド（家畜が大量死する寒雪害）が混在している。講義では、自然環境の概略を述べ、現場をスライドと観測データを示して解説し対策について考察する。

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月11日	静脈産業の歴史と資源循環の未来	所属･役職	㈱JEMS経営戦略室
			氏　名	深山慎二

「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の経済社会から、環境への負荷の少ない「循環型社会」へ。近年、日本のみならず世界全体で環境規制強化の動きがあり、環境市場は今後も大きく成長を続けていくと予測されます。その環境市場約100兆円の内、約4割を占めるのが「廃棄物処理・資源有効利用」領域であり、今この領域で大転換が進みつつあります。
講義では、静脈産業の発展の歴史と、そこに存在する法規制についてわかりやすく説明します。また、廃プラスチック規制等、現在世界レベルで進む「廃棄物処理」から「資源循環」への転換の流れを、SDGs/ESGなどの社会背景を踏まえ解説します。併せて、「環境×IT」をキーワードに環境問題に挑むエジソンの最新の取組事例を紹介します。

10	6月18日	アメリカの自然思想：ソローとミューア	所属･役職	政治経済学部。教授
			氏　名	柴﨑文一

ヨーロッパに原生林が失われていった一方で、アメリカには広大な自然環境が残されていた。新大陸の大自然と対峙した文学者や思想家は、その「自然」をどう捉えようとしたのだろうか。本時の講義では、フロントカントリー（里山的自然）とバックカントリー（野生の世界）という一対の自然観をもとに、『森の生活』を著したソローと「国立公園」の制定に尽力したミューアの足跡を辿って行く。アメリカの自然思想を語る時、エマソンの果たした役割が大きく取り上げられることが多いが、その認識が誤りであることを明示する。

11	6月25日	中国における環境問題と対策	所属･役職	国立環境研究所　上級主幹研究員
			氏　名	一ノ瀬俊明

急速な経済成長に伴い、エネルギー問題、大気汚染及び水質汚染を始め、中国における様々な環境問題が深刻化しており、環境対策に関する中国の取組姿勢が注目されている。これまで産業先進国が経験してきた”資源開発―経済発展―環境破壊”というパターンと異なり、中国では経済成長と環境破壊が同時に進んでいる。さらに、産業構造や経済状況などは、地域間に大きな格差があるため、環境問題の解決がより一層複雑化している。
講義では、経済開発を起因とする汚染問題、土地利用問題、エネルギー問題の現状を実際のデータに基づき説明すると同時に、中国にとって今後の環境対策のあり方について解説する。特に、膨大な人口を抱えている中国では、如何にして経済成長と環境保全を両立させるか、その可能なアプローチは何か、具体的に考察する。

12	7月2日	韓国・台湾における環境問題と環境運動	所属･役職	明治大学名誉教授（文学部元教授）
			氏　名	寺田良一

日本、韓国、台湾は、欧米の先進工業国をモデルとして急速な工業化をめざした。国家による強権的な工業化の推進、その副産物としての環境問題（深刻な産業公害）とその被害者運動、社会の民主化と並行した環境運動の成長など、多くの共通点を持っている。韓国･台湾は、1980年代末以降の民主化の進展の中でそれらの環境問題が一斉に問題化した。それらを背景として、環境運動の成長が、民主化や市民社会の成熟を促した側面も特徴的である。講義の中では、被害構造、環境正義(公正)、問題構築といった環境社会学の観点を交えて説明していきたい。

13	7月9日	気候変動の激化と流域治水	所属･役職	愛国学園大学　人間文化学部教授
			氏　名	梶原健嗣

気候変動の影響がもっとも明瞭に，また実感できる形で現れるのが，水問題だといわれる。今回はそのうち，「多い方への極端振れ」，つまり豪雨・洪水について考える。気候変動が深刻になるなかで，２０２１年，流域治水関連法が成立した。講義では同法を１つの素材にして，気候変動時代の水害対策を考えるきっかけとしたい。

14	7月16日	総括と試験について	所属･役職	政治経済学部・教授
			氏　名	大森正之

全13回の講義を振り返り全体を総括する。筆記試験について説明する。

3　履修上の注意

最低限、７割５分の出席と参加を必要とする。そのため、各回、TAが出席表とリアクションペーパを配布回収する。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各講師・企業・団体の環境問題への取り組みについてあらかじめウェブサイトなどで情報を収集しておく。各講義時に講師が案内した資料や論文などについて、参照し復習する。

5　教科書

なし

6　参考書

適宜、授業中に案内する。

7　課題に対するフィードバックの方法

各回のリアクションペーパーについて、次回以降の講義の前後にフィードバックを行う。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

期末試験の成績で主に評価する。各講義の後半での質疑内容、終了時に提出してもらうリアクションペーパを試験の成績に加味する。7割5分以下の出席率の受講者は、大幅な減点、単位未認定の対象となる。

9　その他

参考文献：宮永健太郎（2023）『持続可能な発展の話：「みんなのもの」の経済学」』岩波新書
白井さゆり（2024）『環境とビジネス：世界で進む「環境経営」を知ろう」』岩波新書

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
環境と政治・経済・社会Ⅱ	政治経済学部・大森正之

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	木	5

1　授業の概要・到達目標

公害環境問題は、教科書や様々な文献で学習できるが、教員による講義以外に、環境問題に取り組んでいる多様な実務家、例えば弁護士、行政マン、そして特に、企業の「社会環境(CSR;ESG)部」などに所属するビジネス・パーソンから、直接「今ここにある環境問題」とその解決への実践を学ぶ機会は少ない。そこで、この講座は、環境問題の実務家による12講座を準備する。ビジネス・パーソンが所属する分野は、金融、製造、輸送、小売り、電気ガス、人材派遣など横断的に構成する。主に3－4年生からなる環境問題に関心のある受講生にとって、特に本講座群は、進路選択に大きく役立つものと思われる。そして環境ビジネスの分野における専門家を志向する受講生の育成を到達目標としたい。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月24日	イントロダクション（講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属・役職	政治経済学部・教授
			氏　名	大森正之

我が国の環境問題は「公害」問題として現れた。戦後の高度経済成長政策にともなう環境汚染は、水俣病・イタイタイ病、四日市ぜんそく等の大規模公害事件を各地で引き起こした。そして2011年3月11日、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所のメルトダウン事故により放射能による究極の環境汚染事故が発生した。放射能汚染による住民の大量避難、社会的・経済的困難、避難を苦にした自死など深刻な問題が発生している。今後、被曝に伴う健康被害も考えられる状況で、かつての四大公害裁判等の教訓をもとに原発事故の解決における法曹の役割を考える。

2	10月1日	環境問題と法曹：過去・現在・未来（福島原発事故の今）	所属・役職	弁護士
			氏　名	保田行雄

我が国の環境問題は「公害」問題として現れた。戦後の高度経済成長政策にともなう環境汚染は、水俣病・イタイタイ病、四日市ぜんそく等の大規模公害事件を各地で引き起こした。そして2011年3月11日、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所のメルトダウン事故により放射能による究極の環境汚染事故が発生した。放射能汚染による住民の大量避難、社会的・経済的困難、避難を苦にした自死など深刻な問題が発生している。今後、被曝に伴う健康被害も考えられる状況で、かつての四大公害裁判等の教訓をもとに原発事故の解決における法曹の役割を考える。

3	10月8日	日本の基幹産業における持続可能な社会への貢献	所属・役職	日本製鉄株式会社　環境政策企画部
			氏　名	小杉健

鉄は私たちの暮らしや、社会を支えています。日本製鉄は、鉄づくりを通して、広く社会の基盤を支えるという重要な役割を担っています。また、素材としての鉄の優位性を活かし、今後も世界で伸びゆく鉄の需要に応えながら、良好な地域生活環境の維持向上、廃棄物削減・リサイクルの促進、地球温暖化問題、さらには生物多様性の維持など、地域から地球規模に至るさまざまな環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献しています。本講座では、鉄の魅力、鉄鋼業の役割、そしてこの日本製鉄の環境経営について紹介します。

4	10月15日	地球温暖化対策の進展：国際、国内の取組	所属・役職	元・環境省大臣審議官
			氏　名	小川晃範

地球温暖化問題は最大の環境問題とされているが、対策の合意、実施に多大な困難がある。これは、温暖化は化石燃料の利用が主要な原因であり、その対策にはエネルギー構造の見直しなどの大規模な取組が必要であるため、経済への影響、国際的な公平性などが問題となるためである。本講義では、気候変動枠組条約からパリ協定に至る国際的約束の進展、我が国における対策の進展について、主として環境省の観点から概観する。

5	10月22日	地球をよくする金融、そのビジネスと貢献	所属・役職	バーチューデザイン代表理事
			氏　名	吉高まり

１．　環境金融ビジネスとは？　２．　環境金融からＥＳＧ投資へ　３．　ＥＳＧ投資と気候変動環境金融の背景とビジネス、及び昨今のESG投資の動向とそれに関わる気候変動について解説する。

6	11月5日	日本の環境ビジネス市場と雇用の動向	所属・役職	EcoJob　代表取締役
			氏　名	根岸弥之

環境ビジネスの定義や分類は国によって少し異なるが、日本の環境省定義での環境ビジネス市場と雇用規模の最新推計（2016年度）では、各104 兆円、260 万人超と過去最大で、今後も拡大傾向と言う。ただこの推計は広義の環境ビジネスの定義が基で、建築リフォームや電子機器リースまで算入、狭義な環境ビジネスの定義での市場雇用推計や環境事業者の実情とは異なる所もある。この講義では、環境ビジネスの定義と分類の基本から、日本の環境ビジネス各分野の市場及び雇用の動向、また政策に翻弄される再生可能エネルギー業界の現状等をお伝えする。

7	11月12日	リコーグループの脱炭素社会に向けての企業の行動	所属・役職	合同会社SECA 代表
			氏　名	則武祐二

２０１６年のパリ協定発効以後、気候変動対策は大きく変化した。目指す社会も低炭素社会から脱炭素社会へと変化し、政府だけでなく、自治体、投資家の行動も大きく変わった。リコーは２００３年から環境経営を掲げて行動してきたが、企業は自らの環境負荷低減だけではなく、事業構造の変革も含めて社会課題解決に向けて行動することが必要になっている。世界から見て、日本の企業の現状も踏まえて考えていく必要があると考える。

8	11月19日	運び方改革による環境負荷低減とCSRの取組み	所属・役職	佐川急便㈱CSR推進部CSR推進課
			氏　名	竹下博士

1997年に開催された気候変動枠組条約締約国会議（COP3）をきっかけに環境経営をスタートさせた佐川急便が、これまで取り組んできた物流改革による環境負荷軽減やCSR活動を紹介します。学識経験者・行政・企業による連携はこれまでも行われてきました。しかし、抜本的な環境対策のためには、消費者との連携がより重要となります。物流事業者と企業・行政の連携だけでは物流分野の環境保全対策は不十分であること、消費者の関心なくしては対策が進まないことを認識させ、消費者がどのようなことができるのか、併せて考察してもらいます。

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月26日	エネルギー、環境問題と自動車産業の在り方：Hondaの事例	所属・役職	元・本田技研工業環境企画部長
			氏　名	篠原道雄
自動車業界の環境取り組みは、大気汚染と排ガス対策に端を発しているが、当時と今の問題は本質的に異なる。当時は大気汚染という地域性の高いものが問題になっていた。現在の環境問題は、co2排出量の爆発的増加による気候変動という全球的な問題を解決に導くという大きな課題である。本講座では自動車産業の環境対策と未来について、本田技研工業の事例を中心に①自動車の持続可能な発展のための課題②co2排出量の大幅削減を実現するには③次世代自動車戦略の軸となる電動化改革④自足可能なモビリティーを目指して、という課題に言及する。				
10	12月3日	ファミリーマートの環境マネジメントシステム	所属・役職	㈱ファミリーマート環境推進グループ
			氏　名	高橋哲
ファミリーマートは国内のコンビニエンスストア業界では最も古く、1973年9月に開店した実験店からスタートしました。その後日本全国、さらには海外へと歩みを進め、常にお客さまの暮らしを支える身近な存在として、「便利さ」の提供を求めて事業革新を続けてきました。生活が便利になることは、一方で環境へ影響を与えることも事実です。「便利さ」と「環境配慮」を両立させる為にこれまで取り組んできた「環境マネジメントシステム」をご紹介し、皆さんが今後社会人として生活する上でのヒントとして、少しでもお役に立てればと思います。				
11	12月10日	建設会社の環境活動	所属・役職	インフロニア・ホールディングス㈱ 経営戦略部サステナビリティ推進室
			氏　名	林　昌明
インフロニア・ホールディングス㈱（前田建設工業）は経営計画にCSV経営No.1を掲げ、社会的環境課題である「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」を構築するため、社会とともに持続可能な発展をめざしています。ZEB（ネット・ゼロエネルギービル）の建設、建設副産物のリサイクル、国産材の利用を通じた森林の保全、インフラの運営や再生可能エネルギー事業への参画事例と併せ、官民をあげて取り組んでいる建設業界の環境活動について紹介します。				
12	12月17日	日本のエネルギー(電力)と環境問題	所属・役職	東京電力ホールディングス株式会社（環境担当部長）
			氏　名	髙橋　浩之
私たちの日本という島国における、電力というエネルギー供給のあり方について、現在から未来まで皆さんと一緒に考えていくために必要な事項を紹介します。　化石燃料使用による、資源・地球温暖化問題、自然エネルギーの長所短所、マイクログリッドと系統安定化技術、原子力発電をどうしていくべきか、電力システム改革などなど我々の未来を考える機会にしたいと考えます。				
13	1月14日	国内外の環境エネルギー情勢と天然ガス	所属・役職	日本ガス協会　企画・政策ユニット　国際グループ
			氏　名	吉田聡
液化天然ガス(LNG)が日本に輸入されて2019年で半世紀となる。今やLNGは世界の基幹エネルギーとなった。この半世紀、国内外のエネルギー、環境事情は大きく変貌している。特に昨今の気候変動問題は人類に課せられた大きな課題である。クリーンなエネルギーとして導入が進められてきた天然ガスが次の半世紀に向け てどのような役割を果たしていくのか、また、日本の持つ環境エネルギー技術が、 世界のエネルギー需要の太宗の伸びが見込まれるアジア地域においてどのように貢献できるかについてお話をさせていただく。				
14	1月21日	総括と試験について	所属・役職	政治経済学部・教授
			氏　名	大森正之
全13回の講義を振り返り全体を総括する。筆記試験について説明する。				

3　履修上の注意

最低限、７割５分の出席と参加を必要とする。そのため、各回、TAが出席表とリアクションペーパを配布回収する。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各講師・企業・団体の環境問題への取り組みについてあらかじめウェブサイトなどで情報を収集しておく。各講義時に講師が案内した資料や論文などについて、参照し復習する。

5　教科書

なし

6　参考書

適宜、授業中に案内する。

7　課題に対するフィードバックの方法

各回のリアクションペーパーについて、次回以降の講義の前後にフィードバックを行う。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

期末試験の成績で主に評価する。各講義の後半での質疑内容、終了時に提出してもらうリアクションペーパを試験の成績に加味する。7割5分以下の出席率の受講者は、大幅な減点、単位未認定の対象となる。

9　その他

参考文献：宮永健太郎（2023）『持続可能な発展の話：「みんなのもの」の経済学」』岩波新書
白井さゆり（2024）『環境とビジネス：世界で進む「環境経営」を知ろう」』岩波新書

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
紛争と武器移転の連鎖	政治経済学部・佐原徹哉

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	火	2

1　授業の概要・到達目標

第二次世界大戦以降、武器取引は急速に拡大し複雑化し、現在、世界の武器貿易は冷戦後最大規模に達している。こうした武器移転の連鎖によって戦争が起こりやすくなっていることは、世界的な軍事費の増大と地域紛争の増加が連動していることから確認できる。軍事費を増やすことで安全保障が脅かされるという一見すると矛盾した現象を理解するには、現代の軍事産業の特徴、その背景にある地政学的な変化、国際的な武器移転の仕組み、地域紛争の発生メカニズムを知らねばならない。本講義は、近代日本が関わった戦争の歴史を踏まえて、比較紛争学、経済援助と軍事援助の関係、現代的な総力戦と軍需生産動員、戦争の最前線に置かれた沖縄とアフリカの現状、核管理の問題、アジアの地政学的変化、兵器国産化と軍民転換という多角的視点から現代的問題を考える力を養うことを目的とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月23日	イントロダクション	所属･役職	政治経済学部・教授
			氏　名	佐原徹哉

講座の概要、成績評価方法等の説明。ウクライナ戦争とガザ戦争を例に、現代の戦争では戦闘機や戦車といった高価で殺傷能力の高い兵器に代わって、市販のドローンを改造した兵器や携行型の兵器が主流となっている。これと並行して、ドローン操作に習熟した人員や人工衛星やインターネットを通じて収集した情報を解析する専門家が、軍事訓練を受けた兵士に代わって戦場の主役になりつつある。こうした現状が、我々の安全をどのように脅かすのかを説明する。

2	9月30日	現代の戦争の特徴と傾向	所属･役職	政治経済学部・教授
			氏　名	佐原徹哉

統計データを基に現代の紛争の傾向と特徴を説明する。世界的に軍事費が増大しているが、それに比例して紛争も増加している。このことは、国防費を増やせば安全が保証されると言う従来の国家安全保障の思想が時代遅れであることを意味している。また、紛争の増加によって難民も増加しているが、それが周辺国の状況を悪化させ、新たな紛争を引き起こすという負の連鎖も見られる。紛争が紛争を生み、軍拡が戦争を激化させるという悪矛盾を断つにはどうすればいいのかを説明する。

3	10月7日	日中戦争と戦時動員体制	所属･役職	研究・知財戦略機構・客員研究員
			氏　名	纐纈厚

１５年間に及んだ日中戦争は、両国の文字通りの総力戦として戦われた戦争であった。第一次世界大戦までの戦争形態は「内閣戦争」(cabinet war)と言われたように、基本的には正規軍同士の戦いであった。ところが第一次世界大戦では、潜水艦・戦車・航空機など近代兵器が登場し、戦場域はそれまでの地上と海上だけでなく、空中と海中が新たな戦場域となった。近代兵器の登場と戦場域の拡大は、必然的に従来の戦争とは比較できほどの甚大な被害を生み出すことになった。国力の文字通りの総力を挙げての総力戦と称する戦争形態は、第二次世界大戦で一段と鮮明となる。そして、戦争の帰趨は、戦場だけでなく銃後の空間を含め、ヒト・モノ・カネをどれだけ総動員可能かによって決定されることになった。本講義では、とりわけ戦時動員体制が最も顕在化した日中戦争期間における総動員の実態を歴史史料を踏まえ、リアルに理解することを第一の目的とする。そして、日本自衛隊には近年において宇宙作戦群まで創設された。そうした現代的な問題にも触れていく。

4	10月14日	中国の反日抗戦運動の世界的な反ファシズム運動における位置付け	所属･役職	研究・知財戦略機構 客員研究員
			氏　名	纐纈厚

日中１５年戦争の最終段階を迎えた１９４５年当時、日本は中国に凡そ１９７万人の兵力を展開していた。この兵力数は、主にアメリカ軍を相手とする西太平洋地域への投入兵力より凡そ３０万人程多かった。それだけではない。１９４１年から４５年までに日本が中国戦線に投入した戦費は、アメリカとの戦闘に投入した戦費の凡そ２．８倍に達していた。つまり、日本はアメリカ以上に中国戦線で、戦力も国力も消耗を強いられる結果となっていたのである。そして、帝国日本の国力・戦力は、結局は反日抗戦運動と世界の主要な政治思潮となっていた反ファシズム運動によって敗北を強いられたのである。こうした歴史把握が戦後日本では不充分であったがゆえに、今日においても日本敗北の総括が不充分のままである。敗戦を終戦との言い替えを含め、日中戦争の本質をあらためて問い直すことを中心にしながら講義を進めて行く。

5	10月21日	戦略爆撃の歴史	所属･役職	研究・知財戦略機構・客員研究員
			氏　名	纐纈厚

第一次世界大戦で本格的に戦場に登場した航空機による空爆とう戦争手段は、１９３０年代以降における世界の数多の戦争で盛んに用いられることになる。日本では、特に満州事変の末期、当時において大連や瀋陽と並ぶ中国東北地域の大都市であり国際都市でもあった錦州に日本の出先軍隊である関東軍の航空部隊が国際法にも違反する都市無差別爆撃を行った。軍用施設は別としても非軍事施設への空爆は国際法では禁じられていると解釈されていた。しかし、関東軍は軍事施設と恣意的に解釈して錦州駅や市街地を空爆し、多くの一般市民が犠牲となった。錦州爆撃が本格的な日本の空爆史の起点とすれば、その後、当時中国の臨時首都であった重慶爆撃を敢行し、６万人余りの一般重慶市民を爆死させた。こうした空爆は戦後世界でも世界の紛争地域では数多く使われる。近々ではイスラエル軍のガザ空爆、ロシア軍のウクライナ空爆など枚挙に暇ない。本講義では錦州爆撃を一つの事例として取り上げ、戦争自体の本質的行為として空爆論を中心に講義を進めて行く。

回	日　程	テーマ	担当者	
6	10月28日	沖縄から見える日米安保体制と日本国憲法	所属･役職	研究・知財戦略機構・客員研究員
			氏　名	師井勇一
戦後８０年経っても軍事基地の重圧下にある沖縄に、本当の意味での「戦後」はあるのだろうか。こうした状況をつくりだしている日米安保体制を戦後の「戦争」（朝鮮戦争、ベトナム戦争、対テロ戦争）の文脈に置き、日本国憲法の平和主義（とりわけ九条）との関係を考える。「平和」という目的と、それに至る手段の整合性を考えていく中で、軍事力や戦争で達成する（とされる）平和とはどのようなものなのか、軍産複合体や「日米安保ムラ」の利害関係にも注目しつつ考察を深めていく。			
7	11月11日	核兵器と日本社会	所属･役職	研究・知財戦略機構・客員研究員
			氏　名	師井勇一
2021年1月、50か国の批准を受けて、核兵器禁止条約が発効した。唯一の被爆国である日本は、この条約に参加していない。アメリカの「核の傘」に守られている、と言われるが、それは具体的にどのようなことなのか。核抑止論の本質である「威嚇」のもつ限界をさまざまな角度から考えていく。また、核抑止論（そして軍備増強を正当化する抑止力論一般）を支持する現実政治の圧倒的な力に対して、市民がどのように平和創造に関われるのか、被爆者による反核運動を例に考える。可能であれば、長年運動に関わってこられている被爆者の方のお話を直に伺い、彼らの想いを受け止め、それをどのように継承できるのかを考える時間にしたい。			
8	11月18日	地経学の時代–その台頭の意義を考える	所属･役職	商学部・教授
			氏　名	小林尚明
地政学という言葉と比較して、地経学はなじみの少ない言葉かもしれない。その意味を簡潔に言えば、「ある一国が特定の国益を達成しようとする際、軍事的手段に代えて経済的手段を用いようとするもので、国家の持つ経済的な強みを最大限に活用して国益の実現を図るもの」ということになる。経済的なグローバリゼーションの拡大と深化は、世界各国・地域の相互依存性を高めてきたが、それは平和の礎にもなる一方で、戦略的な刃にもなり得るものである。地経学から現代世界を捉えてみよう。			
9	11月25日	経済制裁の効果と限界–武器に代わるのか、武器より安全か	所属･役職	商学部・教授
			氏　名	小林尚明
制裁（経済制裁）の歴史は古く、今日の世界でもめずらしい政策手段ではない。ときにはその影響によって一国の政権が転覆することもある一方で、無辜な一般市民が最大の犠牲者になることもあるのが現実である。そのため、制裁はなにを目的として実施されるのか、なにをもって成功と言えるのか、議論の余地がある。また、制裁は小国が一国で発動しても効果は限られたものとなり、大国であるとか、複数の国々が協調して行動することで初めて影響力が生まれる。制裁は武器より安全か、考えてみよう。			
10	12月2日	経済安全保障と食料安全保障	所属･役職	東京大学・名誉教授
			氏　名	小野塚知二
安全保障は外交や軍事のみのことがらではなく、経済、食料、文化などの諸領域にも関わる。まず、経済安全保障と食料安全保障という概念を簡単に説明したうえで、それぞれの起源を探る。次に、日本の現状を他国と比較しながら考察して、日本の安全保障が軍事一辺倒に陥っており、きわめて脆弱であることに論及する。第三に経済安全保障が科学･技術の国際公共財としての性格を歪めてきた歴史を概観して、日本にとって望ましい安全保障は何かを考える手掛かりを確保する。			
11	12月9日	日米安保体制とＮＡＴＯそれぞれにおける武器移転	所属･役職	東京大学・名誉教授
			氏　名	小野塚知二
第二次世界大戦後の日本はアメリカ合衆国との間に日米安全保障条約に規定された非対称な軍事同盟を維持してきた。こうした非対称な二国間同盟が七十年以上続くのは世界史的にも稀で、第二次世界大戦後の東アジア(日本･韓国･台湾)の特徴である。こうした東アジアの軍事同盟の状況を、多国間軍事同盟として最も長命で強大な北大西洋条約機構(NATO)と比較して、それらが締約国間の武器移転に、広くはそれら国々の航空宇宙産業や内政にいかなる影響を与えてきたかを概観する。また、どちらの型の軍事同盟がましかという観点とは別に、軍事同盟からは自由な安全保障の可能性も展望する。			
12	12月16日	第二次世界大戦とアフリカの関係１	所属･役職	国際日本学部・教授
			氏　名	溝辺泰雄
第二次世界大戦は文字通り世界中の人々を巻き込む大戦争であり、アフリカの人々もその例外ではなかった。アフリカの人々は、「イギリス軍」や「フランス軍」の一員として前線に動員されただけでなく、軍需物資の生産など銃後で働くことも求められた。そして、自ら望むことなく「連合国」の一員とされたアフリカ人兵士はインド=ビルマ(ミャンマー)戦線にも派遣され、「枢軸国」の日本軍との戦いに参加することになった。この回では、こうした第二次世界大戦期における日本とアフリカの「意図せざる戦い」の一端について学びを深めたい。			
13	1月13日	第二次世界大戦とアフリカの関係２	所属･役職	国際日本学部・教授
			氏　名	溝辺泰雄
第二次世界大戦は文字通り世界中の人々を巻き込む大戦争であり、アフリカの人々もその例外ではなかった。アフリカの人々は、「イギリス軍」や「フランス軍」の一員として前線に動員されただけでなく、軍需物資の生産など銃後で働くことも求められた。そして、自ら望むことなく「連合国」の一員とされたアフリカ人兵士はインド=ビルマ(ミャンマー)戦線にも派遣され、「枢軸国」の日本軍との戦いに参加することになった。この回では、こうした第二次世界大戦期における日本とアフリカの「意図せざる戦い」の一端について学びを深めたい。			

回	日　程	テーマ	担当者	
14	1月20日	総括と試験	所属･役職	政治経済学部・教授
			氏　名	佐原徹哉

現代の戦争の概要をもう一度振り返り、平和を考えることの重要性を改めて確認する。その後、筆記試験（60分間）を行う。

3　履修上の注意

受講生の関心を喚起する講義内容とするが、内容自体は決して易しいものではない。国際社会の極めて流動的かつ複雑な様相を独自のアプローチから肉迫する講義内容は受講生諸君には衝撃的かも知れない。同時に知的刺激に溢れた講座となろう。それだけに能動的主体的な姿勢で講義に臨んで欲しい。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

事前にプリント（電子ファイルを含む）を配布する場合があるので目を通してから受講することを期待したい。また、講師によってはミニレポートの提出を求める場合がある。

5　教科書

指定しない

6　参考書

各回の講義担当者が紹介する

7　課題に対するフィードバックの方法

授業時間中、または後日クラスウェッブを利用して行う

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

授業への貢献度（20%）と筆記試験の成績（80%）を踏まえ、総合的に評価する。

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
明治大学の歴史　Ⅰ			政治経済学部　冨澤成實	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
和泉	2	春学期	金	4

１　授業の概要・到達目標

明治大学は１８８１（明治１４）年に、明治法律学校として創立され、１４０年をこえる歴史をもっている。明治大学は、どういう人たちによってどのような理念のもとで創立され、どのように継承されてきたのか、また、どのように現在の「個を強くする大学」の理念にいたっているのか。そして、その間にどのような人材を生み出してきたのか。本講座では、明治大学の歴史を近代日本の歩みのなかで検証すると同時に、明治大学が培ってきた特色を考えていく。将来、社会人となる学生が、本講義をうけることによって、自分にふさわしい社会的な活躍の場がどこにあるか考えるきっかけになってほしい。本講座では、講義ごとに異なる視点から、明治大学の歴史を考える。明治大学をより深く理解することにより、その知的・人的等さまざまな「資源」を活用し、学生生活や卒業後の社会生活をより豊かにすることを目標とする。

２　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月10日	イントロダクション	所属・役職	政治経済学部教授
			氏　名	冨澤成實
講座の概要、成績評価方法等について説明する。				
2	4月17日	明治大学の歴史・学部の歴史（明治・大正・昭和戦前）	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
明治・大正・昭和戦前期までの明治大学と学部の歴史について講義する。あわせて明治大学の建学理念について講義する。				
3	4月24日	明治大学の歴史・学部の歴史（昭和戦後・平成・令和）	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
昭和戦後から今日に至るまでの明治大学と学部の歴史について講義する。				
4	5月8日	キャンパスライフ（明治・大正・昭和戦前）	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	古俣達郎
学生たちの姿や視点から、明治・大正・昭和戦前期までの明治大学の歴史について講義する。				
5	5月15日	キャンパスライフ（昭和戦後・平成・令和）	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	阿部裕樹
学生たちの姿や視点から、昭和戦後から今日に至るまでの明治大学の歴史について講義する。				
6	5月22日	明治大学の創立者	所属・役職	文学部教授
			氏　名	野尻泰弘
明治大学の3人の創立者たちの生涯や業績について講義する。				
7	5月29日	留学生とグローバル化（１）	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
1回目は明治大学の国際化と留学生受け入れの歴史を概観し、今日の国際化の問題について講義する。				
8	6月5日	留学生とグローバル化（２）	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
2回目は朝鮮／韓国、台湾からの留学生を中心に講義する。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月12日	留学生とグローバル化（３）	所属・役職	商学部教授
			氏　名	三田剛史
3回目は中国からの留学生を中心に講義する。				
10	6月19日	明治大学平和教育登戸研究所資料館	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
生田キャンパスはかつて陸軍登戸研究所の敷地であった。研究所と資料館に関する基礎的な事項を講義する。				
11	6月26日	ジェンダーから見た明治大学の歴史	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	古俣達郎
ジェンダーの視点から明治大学の歴史を講義する。日本初の女性弁護士を輩出した女子部についても触れる。				
12	7月3日	明治大学校歌	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	阿部裕樹
1920年に制定された校歌の歴史について講義する。				
13	7月10日	阿久悠と阿久悠記念館	所属・役職	政治経済学部教授
			氏　名	冨澤成實
明治大学卒業生で作詞家・作家として顕著な業績を遺した阿久悠氏について講義する。				
14	7月17日	総括	所属・役職	政治経済学部教授
			氏　名	冨澤成實
本講座の意義を総括する。				

3　履修上の注意

本講義の第2～14回では小レポートを課す（授業時間内に提出する）。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

教科書を読んでおくこと

5　教科書

明治大学史資料センター編『明治大学の歴史』DTP出版、2017年

6　参考書

図書館で閲覧できる参考書として、明治大学史資料センター編『明治大学140年小史』（DTP出版、2021年）、同編『白雲なびく遥かなる明大山脈　女子部編』（2025年）、同編『同　アジア編Ⅱ』（DTP出版、2024年）、同編『同　法曹編Ⅱ』（DTP出版、2023年）、同編『同　アジア編Ⅰ』（DTP出版、2023年）、同編『同　法曹編Ⅰ』（DTP出版、2022年）、同編『私学の誕生―明治大学の三人の創立者』（創英社／三省堂書店、2015年）、『明治大学百年史』全4巻（明治大学、1986～1994年）がある。

7　課題に対するフィードバックの方法

Oh-o!Meijiを利用して回答・発信する。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

毎回のレポートで評価する。

9　その他

この講座は、明治大学について学ぶ絶好の機会であるから、多くの学生が受講し、自分自身が明治大学で学ぶ意義について考えてくれることを願っている。

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
コントラクトブリッジで身につける論理的思考力	政治経済学部・柴田有祐

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
中野	2	春学期	木	3

1　授業の概要・到達目標

1　コントラクトブリッジの基本を学び、最終回では競技としてのブリッジを経験する。
2　不完全情報を確率的に整理して最適解を論理的に導き出す(論理的）思考力を鍛える。
3　国際的な教養を身に着け、社会活動の幅を広げる
4　パートナーシップ、チームワーク、コミュニケーションスキルを鍛える

授業は、毎回冒頭２～30分講義をし、その後グループ演習。

*目標ではないが、強い関心を持った学生には国際大会でのユース日本代表への道筋もあり、過去の履修生から履修翌年に日本代表に選出された学生が出ている。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月16日	イントロダクション （開講の挨拶、講座の概要、成績評価方法等の説明、講師紹介、ブリッジの紹介）	所属･役職	政治経済学部
			氏　名	柴田有祐
（講義と実習）１４回に亘り取り組むことになるマインドスポーツとしてのコントラクトブリッジの歴史や世界観とトリックテイキングゲームの基本的なルールを説明する。実習によってカードの強さ、トリックをとることを体験する。				
2	4月23日	ミニブリッジで学ぶ論理的思考１ （トリックの取り方）	所属･役職	(株）バリューHR　社外取締役 (公社）日本コントラクトブリッジ連盟理事
			氏　名	柳澤彰子
（講義と実習）ダミーの説明。勝てるトリックの数え方、またダミーと合わせてトリックをとるための初歩的なテクニック(アンブロック、エスタブリッシュなど）の説明をし、組み込みハンドによる実習をする。				
3	4月30日	ミニブリッジで学ぶ論理的思考２ （切り札なしのプレイ）	所属･役職	早稲田大学非常勤講師 早稲田大学ゲームの科学研究所招聘研究員
			氏　名	並木亮
(講義と実習）ハンド価値の近似法とキーナンバーについて説明し，HCPによる評価を理解させる。トリックを増やすテクニック(フィネス）を理解し、練習する。				
4	5月7日	ミニブリッジで学ぶ論理的思考３ （切り札ありのプレイ）	所属･役職	早稲田大学非常勤講師 早稲田大学ゲームの科学研究所招聘研究員
			氏　名	並木亮
(講義と実習）ラフやドロートランプについて説明し，ルーザーの消し方を理解させる。実習を通じて，ダミーとのコミュニケーションを実感させる。				
5	5月14日	ミニブリッジで学ぶ論理的思考４ （プレイのプランとハンドの価値の評価）	所属･役職	早稲田大学非常勤講師 早稲田大学ゲームの科学研究所招聘研究員
			氏　名	並木亮
(講義と実習）目標とするトリック数を計算する上で必要となるHCP(ポイント）だけでは測れないハンドの価値の評価を理解し、より正確な目標設定と達成を目指す。プレイにあたって最初に計画を立てることの重要性、第２回～４回で説明したプレイテクニックをどのように使うかを説明する。自分とダミーのハンドを見て計画を立てる練習をする。				
6	5月21日	コントラクトブリッジで学ぶ論理的思考１ （ビッディングシステムの考え方）	所属･役職	(株）バリューHR　社外取締役 (公社）日本コントラクトブリッジ連盟理事
			氏　名	柳澤彰子
(講義と実習）　オークションのルールとスコア体系について説明し，ゲームの目的を理解させる。				
7	5月28日	コントラクトブリッジで学ぶ論理的思考２ （１スーターハンドのビッディング）	所属･役職	JCBL登録インストラクター
			氏　名	矢野九美
(講義と実習）１スーターハンドのオープンとリビッドについて説明し、意味を理解させる。				
8	6月4日	コントラクトブリッジで学ぶ論理的思考３ （スートフィットの期待値、バランスハンドのビッディング）	所属･役職	JCBL登録インストラクター
			氏　名	矢野九美
(講義と実習）バランスハンドのオープンとリビッドについて説明し、意味を理解させる。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月11日	コントラクトブリッジで学ぶ論理的思考４ （２スーターハンドのビッディング）	所属･役職	JCBL登録インストラクター
			氏　名	矢野九美
（講義と実習）バランスハンドのオープンとリビッドについて説明し，意味を理解させる。				
10	6月18日	コントラクトブリッジで学ぶ論理的思考５ （競り合いのビッディング、売るか買うかの判断と確率計算、論理的な推論の練習）	所属･役職	（公社）日本コントラクトブリッジ連盟監事
			氏　名	関口修
（講義と実習）オーバーコールとプリエンプトを説明し，コンペティティブなビッドを理解する。実習を通じて，競り合いとスコアの関係を実感する。				
11	6月25日	コントラクトブリッジで学ぶ論理的思考６ （ディフェンスの考え方、パートナーとの無言のコミュニケーション、確率計算と推論の練習）	所属･役職	（公社）日本コントラクトブリッジ連盟監事
			氏　名	関口修
（講義と実習）ディフェンスの約束事とセオリーを説明し，意味と役割を理解する。。実習を通じて，ディフェンスにおけるコミュニケーションの大切さと効果を実感する。				
12	7月2日	コントラクトブリッジで学ぶ論理的思考７ （特殊オープンと競り合いのビッディング）	所属･役職	（公社）日本コントラクトブリッジ連盟監事
			氏　名	関口修
（講義と実習）プリエンプティブオープンの効用とその対応を学ぶことにより、競技性を高め、ゲームの持つ面白さを体感する。				
13	7月9日	コントラクトブリッジで学ぶ論理的思考８ （スラムビッドならびに総復習）	所属･役職	（株）バリューHR　社外取締役 （公社）日本コントラクトブリッジ連盟理事
			氏　名	柳澤彰子
（講義と実習）スラムアプローチについて説明し、高得点の狙い方を理解させる。プレイテクニック、ビッドをレビューする。　ホールドアップやアボイダンスなどについて解説し、実習を通じて高等テクニックの威力を実感する。 ＜授業最後に試験問題を配布＞				
14	7月16日	実戦と総括 （チーム対抗戦）	所属･役職	政治経済学部
			氏　名	柴田有祐
（実習）競技会形式の実習を行い，成長を実感する。ハンドレビューを通じて実戦の結果を振り返り，総合的な理解と知識の定着を図る。これからもブリッジが学べる環境を紹介する。 ＜授業冒頭で解答用紙を回収＞				

3　履修上の注意

初回から最終回まで同じ２人でペアを組み、そして２ペアによる（同じ）４人のグループで学習する。内容は積み重ねであるから、欠席をすると以降の授業についていけなくなり、他の受講者にも迷惑がかかることを深く認識すること。　やむを得ず休む場合は、事前に必ず連絡或いは相談し、また欠席した授業の分を自己責任のもとにキャッチアップすること。
ブリッジはゲームではあるが、「考えること」を重視する内容であるので、「ゲーム＝お遊び」の感覚をもって受講しないこと。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

資料をよく読み、最低自分自身がプレイした演習のハンドを必ず復習してポイントを理解すること。（２０～３０分程度）
宿題として出されたプリントに取り組み、よく考える習慣を身に着けること。（３０分程度）

5　教科書

毎回プリントを用意。（プリント、ハンドコピー、宿題などを保管するフォルダーの準備を推奨）

6　参考書

『ACBLブリッジ入門講座　ビッド編』『同　プレイ編』（日本コントラクトブリッジ連盟）など、講師に相談のこと。

7　課題に対するフィードバックの方法

宿題の答案を添削（コメントをつけて返却）し、解答資料を配布する。　毎回の演習課題の解説プリントを配布。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

試験：50%（第１３回目に試験問題を配布。第１４回目に提出した答案で授業内容全般の理解度を評価する。
平常点評価：50%　①出席点（無断欠席などは減点対象、３回以上の欠席は原則不合格）25%　②授業に対する積極性、宿題の取り組みと正答率など　25%

9　その他

初回に４人のグループ分けを行う。友人同士のペア、チーム構成を優先。この４人がチームであり、最終回までグループ学習を
行う。

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
大学博物館の現場を実見する	文学部・駒見和夫

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	月	2

1　授業の概要・到達目標

97年の歴史を持つ本学の博物館は、収蔵資料の充実や利用者サービスで大学博物館トップクラスの評価を得ており、その存在が明治大学の教育・研究活動を特色付けている。この講座では、学芸業務のケーススタディー、最先端の施設・設備の実見、アクティブラーニング型の課題制作（展示評価）などを通じて、博物館とその活動が大学の教育・研究活動において果たしている役割について理解を深めることを目的とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者
1	9月21日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明）／ 博物館の役割と機能	所属・役職：コーディネーター 氏　名：駒見和夫
近代のヨーロッパで成立したミュージアムの概念を紹介し、国際的なミュージアムの認識とわが国の博物館法での博物館定義を示して、博物館の目的と機能について解説する。またその比較から日本の博物館の特徴を述べる。そのうえで大学博物館の位置づけを示すとともに現在の博物館の多様な様子の一端を紹介し、その理解を深める。			
2	9月28日	我が国における大学博物館の現状と明治大学博物館の歴史／期中課題（展示評価レポート）の提示	所属・役職：博物館事務室・学芸員 氏　名：外山徹
大学博物館の収蔵資料は、教育・研究活動の過程で学術資源として収集された資料が中心となるが、学外から受贈した個人コレクション、大学史関係資料、大学の教育理念に基づく資料など、その多岐にわたる性格について大学博物館全般の動向を検討する。そして、97年を数える歴史をもち私立大学では最も古い附属館の１つである明治大学博物館の歴史を概観する。			
3	10月5日	博物館資料の形成１（刑事関係文献・歴史資料）	所属・役職：博物館事務室・学芸員 氏　名：日比佳代子
1929年に設立された刑事博物館のこれまでの歩みと、戦前・戦後の資料収集の方針や活動内容について論じる。刑事器物・古文書から構成される刑事部門の収蔵品体系を理解した上で、常設展示室で実際に資料を見ながら刑事部門の代表的な収蔵品について解説を加える。			
4	10月12日	博物館資料の形成２（商品関係資料：新素材標本から伝統的工芸品へ）	所属・役職：博物館事務室・学芸員 氏　名：外山徹
商学部教員の研究グループによって1951年に設立された商品研究所が設置した展示施設「商品陳列館」をルーツに持つ展示室。当初は原材料標本や貿易商品、商品の製造工程を展示の眼目としたが、1950年代後半の地方物産品の収集を経て、非常に幅広い概念である“商品”の中でも、我が国の伝統的工芸品を研究・収集・展示の対象とするようになった経緯について解説する。			
5	10月19日	博物館資料の形成３（考古資料：旧石器～縄文）	所属・役職：博物館事務室・学芸員 氏　名：忽那敬三
考古部門は、「明大考古学」の教育・研究の成果を、展示を通して体系的に公開している。1949年の岩宿遺跡発掘にはじまる「明大考古学」は、無言の遺物や遺跡から先史時代人の営みと文化の変遷を読み解いてきた。講義では、旧石器時代から縄文時代にわたるコレクションの形成を理解した上で常設展示を解説し、展示を「読み解く」作業を行う。			
6	10月26日	博物館資料の形成４（考古資料：弥生～古墳）	所属・役職：博物館事務室・学芸員 氏　名：忽那敬三
日本列島における稲作の開始を追った調査で発掘された、壺形土器をはじめとする土器群からは、西から東へ稲作とともに土器の形が伝わっていくことがわかる。銅鐸・銅矛といった青銅器などは、技術革新をダイナミックに語る資料である。米作りの導入という生業の転換と、強い権力を持つ王の登場という弥生から古墳にかけての歴史の大きな変化を紹介する。			
7	11月9日	博物館の施設・設備	所属・役職：博物館事務室・学芸員 氏　名：日比佳代子
博物館の施設・設備は、収集・保存、調査・研究、教育・普及という主要な機能に対し、最適な環境を用意する必要から一般の建築物とは異なった特殊な装置が随所に施されている。講義では、普段、一般来館者の立ち入りが制限されている収蔵部門や資料研究のための施設、また、来館者が普段目にする展示室や教室などにも備えられている様々な“しかけ”について実見する。			
8	11月16日	博物館資料の保管と整理１（考古資料）	所属・役職：博物館事務室・学芸員 氏　名：忽那敬三
考古資料の基本的な取扱方法と整理作業の一つである接合・復元について学ぶ。考古資料は、地中に埋まっていたものを掘り出し、土を洗い落とし、破損部分をつなぎ合わせて元の形に戻すという作業を経て初めて記録及び展示を行うことができる。形状によりもろい部分がある資料をどう扱うか、破片の特徴から何がわかり、また元の形にどのように復元していくのか、保管や展示が可能な状態に整理する方法を学ぶ。			

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月23日	博物館資料の保管と整理２（古文書資料）	所属･役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	日比佳代子
日本史系の博物館は、多くの場合、過去の記録―古文書を収蔵しており、歴史的文化財の保存機関としても重要な機能を果たしている。古文書保存の歴史に刑事部門の活動を位置づけつつ、古文書がどのように整理され目録化されていくのか、実際の古文書をみながら古文書整理の方法論について学び、古文書を保存・利用する前提として、どのような活動が行われているのかを知る。				
10	11月30日	生涯学習と友の会活動	所属･役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	外山徹
生涯学習社会の到来とともに、博物館はその機会を提供する機関として位置付けられた。そうした潮流の中から生まれた博物館の友の会活動、ボランティア活動の進展について考察する。また、近年、博物館は学習活動を通したコミュニティ形成の場としても考えられるようになっており、明治大学博物館における友の会活動を事例に生涯学習の場としての博物館利用の具体相を紹介する。				
11	12月7日	刑事部門常設展の企画立案から制作まで／ 期中課題に対する講評１（刑事展示）	所属･役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	日比佳代子
博物館は2023～2025年度の３ヶ年計画で常設展示の刷新をおこなった。2026年3月に完了した「刑事」の展示を事例に、展示の原案、企画、調査・研究、新規展示資料の収集活動、展示列品計画など、展示刷新までの準備過程を紹介し、大学博物館における展示活動の意義について考える。また、期中課題である展示評価レポートの内、刑事展示分について講評する。				
12	12月14日	伝統的工芸品産業の調査・研究／期中課題に対する講評２（商品展示）	所属･役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	外山徹
「伝統」とは「古くから伝わるもの」「昔のまま」という解釈でよいのだろうか。今日に継承されている伝統的工芸品は、その時々の社会的ニーズに適応し得たものが残るべくして残ってきたものである。商品部門が研究課題としている、近代から現代へかけての社会情勢の変化における、商品としての伝統的工芸品の進化の状況について解説する。また、期中課題である展示評価レポートの内、商品展示分について講評する。				
13	12月21日	考古資料の発掘と調査・研究（古墳時代）／期中課題に対する講評３（考古展示）	所属･役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	忽那敬三
筒形や人物、動物など様々な形をした埴輪は、墓である古墳の上に立て並べられ被葬者の葬儀の様子や生前の生活を表したものだと考えられている。館蔵資料である茨城県小美玉市玉里舟塚古墳から出土した埴輪を例に、周辺地域や関東、さらに近畿の大王の墓と考えられる古墳の埴輪などとの比較から、被葬者である地域の首長同士の関係や中央政権との関係について考える。また、期中課題である展示評価レポートの内、考古展示分について講評する。				
14	1月18日	総括　ふりかえりと意見交換	所属･役職	コーディネーター
			氏　名	駒見和夫
前回までの全13講の内容についてふりかえり、受講の成果を受講者間で共有化する。印象に残った点、受講によって新たに得られた知見について、受講者各人が個別に口頭発表し、今後、博物館・美術館とどのような関わりを持ってゆくべきかを討論する。				

3　履修上の注意

積極的に外部の博物館・美術館に関する見聞を広めるようにすること。
平常点を重視するので10回以上の出席を被評価資格とする。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

駿河台キャンパス・アカデミーコモン地下２階にある博物館常設展示室の３部門の展示をあらかじめ見学し内容を理解しておくこと。授業に関わる印刷物はあらかじめOh-o!Meijiクラスウェブに掲載するので、当該回の内容に目を通しておくこと。

5　教科書

授業のそのつど必要に応じて印刷物を配布する。

6　参考書

倉田公裕・矢島國雄『新編 博物館学』東京堂出版、1997
明治大学博物館『常設展示ガイドブック』明治大学博物館、2016改訂版
駒見和夫 編『総説 博物館を学ぶ』同成社、2024

7　課題に対するフィードバックの方法

期中課題（第２回授業時に提示する展示評価レポート）に対し第11～13回授業で講評をおこなう。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

期末課題（期中課題の展示評価レポートを修正・再提出するもの）74%、授業各回のリアクションペーパー記入による平常点26%

9　その他

第８回「博物館資料の保管と整理１」では汚れてもよい服装とするか、またはエプロンを持参すること。手が荒れやすい学生はゴム手袋を用意すること。第９回「博物館資料の保管と整理２」ではハウスダスト・アレルギーの心配のある学生はマスクを着用すること。施設の実見、また、収蔵資料の取り扱いの関係から受講定員を36名とする。

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
登戸研究所から考える戦争と平和	文学部・山田朗

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
生田	2	春学期	木	1

1　授業の概要・到達目標

明治大学生田キャンパスは、陸軍登戸研究所の跡地に立地している。この研究所が何故に設置され、そこではどのような兵器の開発が秘密裏に行われていたのかを多角的に検証する。登戸研究所の活動を知ることは、戦争には必ず存在する裏面（一般に秘匿され報道されない側面）から戦争の全体像を捉え直すことであり、戦争と科学技術との関係をあらためて検証することでもある。登戸研究所の全体像を伝え、戦争と平和、戦争と科学技術の関係性、過去の歴史を直視し、歴史の記憶を継承する取り組みのあり方について主体的に考える機会にしたい。登戸研究所と資料館に関する基礎的な知識を修得し、戦争と平和の関係について冷静に判断する能力を養うことを到達目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月16日	講座の概要、成績評価方法等の説明／平和創造のために戦争と登戸研究所を学ぶ意義	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
平和を創造するためには、平和を破壊する国際的な緊張状態や戦争そのものの原因・構造・結果を知っておく必要がある。陸軍登戸研究所がかかわった〈秘密戦〉という分野は、戦争の裏面・暗部といえるところである。注目をあびないが、戦争には必ずこういった側面がともなうという点では、戦争の本質、国際政治の内実を示しているともいえる。				
2	4月23日	日本軍の秘密戦の歴史	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
近代日本における〈秘密戦〉の歴史について日清・日露戦争期からアジア太平洋戦争敗戦までを検証する。とりわけ、諜報要員による人的諜報（情報収集）・謀略（破壊・暗殺工作）に焦点をあて、1935-36年頃を契機とする世界的な〈秘密戦〉の活発化の中で、日本陸軍がどのような兵器・資材開発と人材養成に力をいれたのかを確認する。				
3	4月30日	登戸研究所の秘密戦（1）風船爆弾と電波兵器	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
登戸研究所の研究・開発した兵器に風船爆弾がある。敗色が濃くなった日本は秘密兵器として、和紙の気球を水素ガスでふくらましたものを偏西風にのせてアメリカ本土に飛ばそうとした。爆弾としては、当初は生物兵器を使用することで登戸研究所で開発した。その他登戸研究所では電波兵器の開発も行っていた。こうした秘密兵器をどう開発してたか考えたい。				
4	5月7日	登戸研究所の秘密戦（2）スパイ用品と生物化学兵器	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
登戸研究所は陸軍中野学校出身の特務機関の要員が必要とする秘密兵器を研究・開発していた。第一科では無線機や盗聴器などの物理的な兵器、第二科では生物化学兵器や秘密カメラなどを開発していた。そしてこれらの兵器を使用しての防諜・諜報・謀略・宣伝などの作戦が展開された。こうした研究がどのような人によって、どう開発されたかを考えたい。				
5	5月14日	登戸研究所の秘密戦（3）偽札製造と偽札作戦	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
登戸研究所で最も秘密にされていたのは第三科であった。このセクションは、板べいで囲まれ、他の科員にも秘密にされていた。ここでは日中戦争で泥沼化したことを打開するために中国国民政府の法幣の偽造紙幣を製造し使用した。その額45億元であった。どのような目的で、どのような形で使用したか、中国側はそれにどう対応したか考えたい。				
6	5月21日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ①　沖縄戦から米軍基地問題	所属・役職	国際武器移転史研究所客員研究員
			氏　名	師井勇一
第6回～第9回は、「戦争と社会～過去と現在をつなぐ」と題して、登戸研究所で扱われている戦争の過去の遺産がどのように現代の社会問題につながっているのかを考える。今年度は沖縄と核兵器問題をおもに取り上げ、戦争と平和の関係性を判断する能力を養っていきたい。第6回は、沖縄戦の教訓である「軍隊は住民を守らない」歴史的経験から、米軍基地の存続と集中の実相、そして「命どぅ宝」の思想に支えられた平和への想いと行動を振り返る。				
7	5月28日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ②　日米安保体制と憲法九条	所属・役職	国際武器移転史研究所客員研究員
			氏　名	師井勇一
戦後80年以上経っても軍事基地の重圧下にある沖縄に、本当の意味での「戦後」はあるのだろうか。こうした状況をつくりだしている日米安保体制を戦後の「戦争」（朝鮮戦争、ベトナム戦争、対テロ戦争）の文脈に置き、日本国憲法の平和主義（とりわけ九条）との関係を考える。「平和」という目的と、それに至る手段の整合性を考えていく中で、軍事力や戦争で達成する（とされる）平和とはどのようなものなのか、軍産複合体や「日米安保ムラ」の利害関係にも注目しつつ考察を深めていく。				

回	日　程	テーマ	担当者	
8	6月4日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ③　ヒロシマ・ナガサキから核兵器禁止条約へ	所属・役職	国際武器移転史研究所客員研究員
			氏　名	師井勇一
2021年1月、50か国の批准を受けて、核兵器禁止条約が発効した。唯一の被爆国である日本は、この条約に参加していない。アメリカの「核の傘」に守られている、と言われるが、それは具体的にどのようなことなのか。核抑止論の本質である「威嚇」のもつ限界をさまざまな角度から考えていく。また、化学兵器や生物兵器などの大量殺戮兵器を禁止する国際条約の流れを振りかえることで、核兵器禁止条約のもつ可能性を探る。				
9	6月11日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ④　被爆者による反核運動のこれまでとこれから	所属・役職	国際武器移転史研究所客員研究員
			氏　名	師井勇一
核抑止論（そして軍備増強を正当化する抑止力論一般）を支持する現実政治の圧倒的な力に対して、市民がどのように平和創造に関われるのか、被爆者による反核運動を例に考える。可能であれば、長年運動に関わってこられている被爆者の方のお話を直に伺い、彼らの想いを受け止め、それをどのように継承できるのかを考える時間にしたい。				
10	6月18日	〝現代の起点〟としての総力戦（1）：総力戦のはじまり	所属・役職	文学部兼任講師
			氏　名	石原豪
登戸研究所については総力戦を抜きにして語ることはできない。総力戦ということばは歴史上の用語としてだけではなく、現在でも日常のなかで聞くことがあるほど一般的である。しかし、その由来や意味は必ずしも理解されているとは言い難い。そこで総力戦というものが〝現代の起点〟とも言われているように、私たちにも関わる問題であることを確認していく。総力戦のはじまりである第一次世界大戦から、そもそも総力戦とは何かを考えたい。				
11	6月25日	〝現代の起点〟としての総力戦（2）：日本の総力戦構想	所属・役職	文学部兼任講師
			氏　名	石原豪
日本は第一次世界大戦に限定的に参戦していただけであったが、調査・研究により総力戦がこれまでの戦争の形態とは全く異なることを知る。そのため日本のさまざまな組織、とりわけ陸軍は将来の戦争に備えるため、総力戦を遂行できる国家態勢の構築を目指していく。その総力戦構想を検証することで、戦争における国民の重要性が高まっていった点を確認していきたい。				
12	7月2日	〝現代の起点〟としての総力戦（3）：宣伝と国民動員	所属・役職	文学部兼任講師
			氏　名	石原豪
総力戦を遂行する上で重要になるのは、国民の自発的な戦争協力を引き出すことであると日本陸軍内では認識されていた。そこで着目されたのが宣伝である。第一次世界大戦後に設立された宣伝機関である陸軍省新聞班とその後継組織の活動を検証することで、総力戦における宣伝の重要性を考えたい。また、この宣伝活動を通じて陸軍が政治的な影響力を拡大させていった過程も辿ることになる。				
13	7月9日	〝現代の起点〟としての総力戦（4）：国家総動員と日本の戦後	所属・役職	文学部兼任講師
			氏　名	石原豪
総力戦を遂行できる態勢の構築は満洲事変を契機に本格化していき、それは日中戦争において国家総動員として実現する。戦時下において日本の総力戦がどのように展開されたのかを検証し、これが日本社会にさまざまな変革をもたらしただけでなく戦後にも大きく影響していることを確認する。それにより日本にとっての総力戦とは何だったのか、考えるきっかけにしてもらいたい。				
14	7月16日	総括：登戸研究所から考える戦争と平和	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
授業の総括として、登戸研究所から戦争と平和について考察する。				

3　履修上の注意

講義途中の入室・退出は原則として認めない。私語が甚だしい場合など、退席してもらうことがある。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

事前にテキストを読んで、事実関係と論点を整理しておくこと。また、期末レポート提出までに、生田キャンパス内の平和教育登戸研究所資料館を見学し、その展示内容について把握しておくこと。

5　教科書

山田朗・渡辺賢二・齋藤一晴『登戸研究所から考える戦争と平和』（芙蓉書房、2011年）、山田朗・師井勇一編『平和創造学への道案内』（法律文化社、2021年）

6　参考書

明治大学平和教育登戸研究所資料館編『陸軍登戸研究所〈秘密戦〉の世界』（明治大学出版会、2012年）、その他の参考文献は、必要に応じて講義の際に紹介・解説する。

7　課題に対するフィードバックの方法

課題を出した場合には、Oh-o!Meijiによってフィードバックする。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと

期末レポート（60%）と平常点（40%）によって評価する。

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
シェイクスピアの現代的魅力	文学部・井上優

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
和泉	2	春学期	金	5

1　授業の概要・到達目標

劇作家シェイクスピア（1564－1616）が400年前のロンドンの劇場のために書き下ろした劇作品群は、時代を超えて現代でも愛読され、言語の壁も飛び越えて世界各地で上演が行われています。シェイクスピアの研究や上演に携わるさまざまな人たちを講師に招いてその魅力の源を探るのがこの授業の目的です。
また、この授業の受講生の中から有志を募って毎年秋に行っているシェイクスピア上演のプロジェクト（明治大学シェイクスピアプロジェクト）では、今年度、『マクベス』を上演する予定ですので、それを前提に講座を設定しています。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月10日	講座の概要、成績評価方法等の説明 および劇作家・演劇人シェイクスピアの概要の説明	所属・役職	文学部教授
			氏　名	井上優

受講生の皆さんが「シェイクスピアをまったく知らない学生たちである」という前提で、この講座のイントロダクションをかねて、シェイクスピアとはいかなる作家で、どのような作品を残したのか、またいかにその彼の生きていた時代を超えて現代に至るまで愛され続けているかを講義します。また、この講座を受けるにあたっての準備について話していきたいと考えていますので、受講を考えている学生は必ず出席するようにしてください。
【講師紹介】井上は文学部教授。本講座およびシェイクスピアプロジェクトのコーディネイターでもある。専門はヨーロッパ演劇史・演劇理論。

2	4月17日	シェイクスピアの悲劇の楽しみ	所属・役職	開智国際大学教授
			氏　名	安田比呂志

ある国語辞典は、「悲劇」を「悲惨なできごとを描いた演劇」と定義している。しかし、この定義だけでは、常に人々の心を魅了する「悲劇」の魅力を知ったことにはならないであろう。本講義では、「悲劇」の魅力について考えることを目的とし、「悲劇」が本来持ち得る魅力について考える。その上で、シェイクスピアの特に四大悲劇が持つ独自性や魅力について考える。
【講師紹介】安田比呂志先生は開智国際大学教授。専門はシェイクスピア・イギリス演劇。

3	4月24日	シェイクスピアの歴史劇の楽しみ	所属・役職	開智国際大学教授
			氏　名	安田比呂志

シェイクスピアの歴史劇は全10編、イングランド中世末期に起こったバラ戦争という内乱（1455－85）とその原因になった事件に取材した作品がほとんどです。よそ様の国の歴史でもあり、日本人には馴染みが薄いかもしれませんが、実はシェイクスピアの悲劇も喜劇も、その原型は歴史劇に見出せます。シェイクスピアの作家性を考える際に避けては通れないイングランド史劇の魅力について講義します。

4	5月8日	シェイクスピア喜劇の楽しみ	所属・役職	文学部教授
			氏　名	井上優

シェイクスピア作品を題材とした映画は多数あります。しかし、何故か喜劇作品には成功作が多くありません。それはなぜでしょうか。その観点からシェイクスピア喜劇の面白さに迫っていきたいと思います。
なおこの日に『マクベス』の内容に関する小テストを行う予定です

5	5月15日	朗読で聞く『マクベス』の世界	所属・役職	東京シェイクスピアカンパニー
			氏　名	江戸馨

言葉の音楽性、想像力を掻き立てるドラマ展開など、シェイクスピア劇以上に朗読に適したテキストはありません。俳優さんたちの声を通して聞くと、キャラクターたちの姿が立体的に浮かび上がってきます。その様子をお楽しみください。
【講師紹介】江戸馨先生は劇団東京シェイクスピアカンパニー主宰。シェイクスピアの本格上演のほか、朗読公演も行っている。

6	5月22日	シェイクスピアの翻訳――『マクベス』の場合　論家	所属・役職	翻訳家・演劇評
			氏　名	松岡和子

シェイクスピア全作品の翻訳に取り組んできた経験から、シェイクスピアの英語を日本語に移し替える場合、どのような配慮が必要かを考察します。
【講師紹介】松岡和子先生は演劇評論家・翻訳家。2021年シェイクスピア作品全翻訳を完成された。

7	5月29日	『マクベス』を読み解く（仮）	所属・役職	元東京大学教授
			氏　名	河合祥一郎

『マクベス』の作品内の世界観を読み解いていきます。
【講師紹介】河合祥一郎先生は東京大学教授。シェイクスピアの研究のほか，翻訳や演劇評論，実際の上演活動も行っている。

回	日　程	テーマ	担当者	
8	6月5日	『マクベス』の上演①　イギリスの場合	所属・役職	商学部准教授
			氏　名	今野史昭
『マクベス』のイギリスにおける上演史の概説を行います。各時代の舞台で、この劇はどのように上演されてきたのかを概観します。 【講師紹介】今野史昭先生は本学商学部専任准教授。専門はイギリス文学・イギリス演劇。				
9	6月12日	『マクベス』の日本の劇作家への影響	所属・役職	文学部教授
			氏　名	井上優
日本の劇作家の中には木下順二のように『マクベス』から大きな影響を受けた人たちがいます。その作家たちの作品世界と『マクベス』とのかかわりを探っていきます。				
10	6月19日	『マクベス』の上演②　日本の場合	所属・役職	文学部教授
			氏　名	野田学
世界的に知られている演出家蜷川幸雄の『マクベス』上演の実態を探ります。 【講師紹介】野田学先生は本学文学部専任教授。専門はイギリス文学・イギリス演劇。				
11	6月26日	『マクベス』の映画①	所属・役職	東京工業大学准教授
			氏　名	小泉勇人
数多く存在する『マクベス』の映画化作品の魅力を探ります。 【講師紹介】小泉勇人先生は東京工業大学准教授。専門はシェイクスピア、イギリス演劇。シェイクスピアの現代の翻案作品も含めての映画化作品を主に研究している。				
12	7月3日	『マクベス』を読んでみよう	所属・役職	俳優・ナレーター
			氏　名	西村俊彦
舞台のために書かれたシェイクスピアのセリフの魅力は、何より実際に声に出して読んでみることで味わえるものです。授業の形態上限界はありますが、可能な限り多くの人に、『マクベス』のセリフ・場面を実際に声に出してもらい、そこから立ち上がる情景を体感してもらいます。 【講師紹介】西村先生は俳優・ナレーターであり、明治大学リバティ・アカデミー講師も務める。				
13	7月10日	『マクベス』の映画②	所属・役職	東京工業大学准教授
			氏　名	小泉勇人
『マクベス』の映画化作品のうち日本の黒澤明監督による翻案作品『蜘蛛巣城』を取り上げ、この作品の魅力を探ります。				
14	7月17日	総括	所属・役職	文学部教授
			氏　名	井上優
春学期全体の内容を、試験の形式で振り返ります。前半に試験を行い、後半の時間を振り返り、答え合わせの時間とし、春学期全体の講義の要点を振り返っていきます。				

3　履修上の注意
8回以上出席しないと試験の受験資格はありません。
4　準備学習（予習・復習等）の内容
開講後に教科書をし購入のうえ、しっかりと読んでおくこと。5月以降の授業の理解につながります。また、授業にはテキストを持参し、読み返すようにしてください。
5　教科書
『マクベス』（ちくま文庫）が望ましい。場合によっては角川文庫・白水社Uブックスでも可とする。
6　参考書
適宜指示する。
7　課題に対するフィードバックの方法
最後の振り返りの回に質問・疑問に対応します。
8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと
平常点を50パーセント評価します。ただし、上記のように8回以上出席しないと試験の受験資格はありません。試験の成績を50点満点とし、平常点とあわせて100点満点で評価します。試験は持ち込み可とします。
9　その他
秋学期には、受講者有志による明治シェイクスピア・プロジェクトにより『マクベス』の上演を予定しています。本講座の受講生の中からも出演者・スタッフを募ります。関心のある学生の積極的な参加を求めます。 また、劇場で行われるシェイクスピアを授業内でも案内しますので、ぜひ積極的に体験してください。

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
登戸研究所から考える戦争と平和	文学部・山田朗

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	木	2

1　授業の概要・到達目標

明治大学生田キャンパスは、陸軍登戸研究所の跡地に立地している。この研究所が何故に設置され、そこではどのような兵器の開発が秘密裏に行われていたのかを多角的に検証する。登戸研究所の活動を知ることは、戦争には必ず存在する裏面（一般に秘匿され報道されない側面）から戦争の全体像を捉え直すことであり、戦争と科学技術との関係をあらためて検証することでもある。登戸研究所の全体像を伝え、戦争と平和、戦争と科学技術の関係性、過去の歴史を直視し、歴史の記憶を継承する取り組みのあり方について主体的に考える機会にしたい。登戸研究所と資料館に関する基礎的な知識を修得し、戦争と平和の関係について冷静に判断する能力を養うことを到達目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月24日	講座の概要、成績評価方法等の説明／平和創造のために戦争と登戸研究所を学ぶ意義	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
平和を創造するためには、平和を破壊する国際的な緊張状態や戦争そのものの原因・構造・結果を知っておく必要がある。陸軍登戸研究所がかかわった〈秘密戦〉という分野は、戦争の裏面・暗部といえるところである。注目をあびないが、戦争には必ずこういった側面がともなうという点では、戦争の本質、国際政治の内実を示しているともいえる。				
2	10月1日	日本軍の秘密戦の歴史	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
近代日本における〈秘密戦〉の歴史について日清・日露戦争期からアジア太平洋戦争敗戦までを検証する。とりわけ、諜報要員による人的諜報（情報収集）・謀略（破壊・暗殺工作）に焦点をあて、1935-36年頃を契機とする世界的な〈秘密戦〉の活発化の中で、日本陸軍がどのような兵器・資材開発と人材養成に力をいれたのかを確認する。				
3	10月8日	登戸研究所の秘密戦（1）風船爆弾と電波兵器	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
登戸研究所の研究・開発した兵器に風船爆弾がある。敗色が濃くなった日本は秘密兵器として、和紙の気球を水素ガスでふくらましたものを偏西風にのせてアメリカ本土に飛ばそうとした。爆弾としては、当初は生物兵器を使用することで登戸研究所で開発した。その他登戸研究所では電波兵器の開発も行っていた。こうした秘密兵器をどう開発してたか考えたい。				
4	10月15日	登戸研究所の秘密戦（2）スパイ用品と生物化学兵器	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
登戸研究所は陸軍中野学校出身の特務機関の要員が必要とする秘密兵器を研究・開発していた。第一科では無線機や盗聴器などの物理的な兵器、第二科では生物化学兵器や秘密カメラなどを開発していた。そしてこれらの兵器を使用しての防諜・諜報・謀略・宣伝などの作戦が展開された。こうした研究がどのような人によって、どう開発されたかを考えたい。				
5	10月22日	登戸研究所の秘密戦（3）偽札製造と偽札作戦	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
登戸研究所で最も秘密にされていたのは第三科であった。このセクションは、板べいで囲まれ、他の科員にも秘密にされていた。ここでは日中戦争で泥沼化したことを打開するために中国国民政府の法幣の偽造紙幣を製造し使用した。その額45億元であった。どのような目的で、どのような形で使用したか、中国側はそれにどう対応したか考えたい。				
6	11月5日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ①　沖縄戦から米軍基地問題	所属・役職	国際武器移転史研究所客員研究員
			氏　名	師井勇一
第6回～第9回は、「戦争と社会～過去と現在をつなぐ」と題して、登戸研究所で扱われている戦争の過去の遺産がどのように現代の社会問題につながっているのかを考える。今年度は沖縄と核兵器問題をおもに取り上げ、戦争と平和の関係性を判断する能力を養っていきたい。第6回は、沖縄戦の教訓である「軍隊は住民を守らない」歴史的経験から、米軍基地の存続と集中の実相、そして「命どぅ宝」の思想に支えられた平和への想いと行動を振り返る。				
7	11月12日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ②　日米安保体制と憲法九条	所属・役職	国際武器移転史研究所客員研究員
			氏　名	師井勇一
戦後80年以上経っても軍事基地の重圧下にある沖縄に、本当の意味での「戦後」はあるのだろうか。こうした状況をつくりだしている日米安保体制を戦後の「戦争」（朝鮮戦争、ベトナム戦争、対テロ戦争）の文脈に置き、日本国憲法の平和主義（とりわけ九条）との関係を考える。「平和」という目的と、それに至る手段の整合性を考えていく中で、軍事力や戦争で達成する（とされる）平和とはどのようなものなのか、軍産複合体や「日米安保ムラ」の利害関係にも注目しつつ考察を深めていく。				

回	日　程	テーマ	担当者	
8	11月19日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ③　ヒロシマ・ナガサキから核兵器禁止条約へ	所属・役職	国際武器移転史研究所客員研究員
			氏　名	師井勇一
2021年1月、50か国の批准を受けて、核兵器禁止条約が発効した。唯一の被爆国である日本は、この条約に参加していない。アメリカの「核の傘」に守られている、と言われるが、それは具体的にどのようなことなのか。核抑止論の本質である「威嚇」のもつ限界をさまざまな角度から考えていく。また、化学兵器や生物兵器などの大量殺戮兵器を禁止する国際条約の流れを振りかえることで、核兵器禁止条約のもつ可能性を探る。				
9	11月26日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ④　被爆者による反核運動のこれまでとこれから	所属・役職	国際武器移転史研究所客員研究員
			氏　名	師井勇一
核抑止論（そして軍備増強を正当化する抑止力論一般）を支持する現実政治の圧倒的な力に対して、市民がどのように平和創造に関われるのか、被爆者による反核運動を例に考える。可能であれば、長年運動に関わってこられている被爆者の方のお話を直に伺い、彼らの想いを受け止め、それをどのように継承できるのかを考える時間にしたい。				
10	12月3日	〝現代の起点〟としての総力戦（1）：総力戦のはじまり	所属・役職	文学部兼任講師
			氏　名	石原豪
登戸研究所については総力戦を抜きにして語ることはできない。総力戦ということばは歴史上の用語としてだけではなく、現在でも日常のなかで聞くことがあるほど一般的である。しかし、その由来や意味は必ずしも理解されているとは言い難い。そこで総力戦というものが〝現代の起点〟とも言われているように、私たちにも関わる問題であることを確認していく。総力戦のはじまりである第一次世界大戦から、そもそも総力戦とは何かを考えたい。				
11	12月10日	〝現代の起点〟としての総力戦（2）：日本の総力戦構想	所属・役職	文学部兼任講師
			氏　名	石原豪
日本は第一次世界大戦に限定的に参戦していただけであったが、調査・研究により総力戦がこれまでの戦争の形態とは全く異なることを知る。そのため日本のさまざまな組織、とりわけ陸軍は将来の戦争に備えるため、総力戦を遂行できる国家態勢の構築を目指していく。その総力戦構想を検証することで、戦争における国民の重要性が高まっていった点を確認していきたい。				
12	12月17日	〝現代の起点〟としての総力戦（3）：宣伝と国民動員	所属・役職	文学部兼任講師
			氏　名	石原豪
総力戦を遂行する上で重要になるのは、国民の自発的な戦争協力を引き出すことであると日本陸軍内では認識されていた。そこで着目されたのが宣伝である。第一次世界大戦後に設立された宣伝機関である陸軍省新聞班とその後継組織の活動を検証することで、総力戦における宣伝の重要性を考えたい。また、この宣伝活動を通じて陸軍が政治的な影響力を拡大させていった過程も辿ることになる。				
13	1月14日	〝現代の起点〟としての総力戦（4）：国家総動員と日本の戦後	所属・役職	文学部兼任講師
			氏　名	石原豪
総力戦を遂行できる態勢の構築は満洲事変を契機に本格化していき、それは日中戦争において国家総動員として実現する。戦時下において日本の総力戦がどのように展開されたのかを検証し、これが日本社会にさまざまな変革をもたらしただけでなく戦後にも大きく影響していることを確認する。それにより日本にとっての総力戦とは何だったのか、考えるきっかけにしてもらいたい。				
14	1月21日	総括：登戸研究所から考える戦争と平和	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
授業の総括として、登戸研究所から戦争と平和について考察する。				

3　履修上の注意

講義途中の入室・退出は原則として認めない。私語が甚だしい場合など、退席してもらうことがある。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

事前にテキストを読んで、事実関係と論点を整理しておくこと。また、期末レポート提出までに、生田キャンパス内の平和教育登戸研究所資料館を見学し、その展示内容について把握しておくこと。

5　教科書

山田朗・渡辺賢二・齋藤一晴『登戸研究所から考える戦争と平和』（芙蓉書房、2011年）、山田朗・師井勇一編『平和創造学への道案内』（法律文化社、2021年）

6　参考書

明治大学平和教育登戸研究所資料館編『陸軍登戸研究所〈秘密戦〉の世界』（明治大学出版会、2012年）、その他の参考文献は、必要に応じて講義の際に紹介・解説する。

7　課題に対するフィードバックの方法

課題を出した場合には、Oh-o!Meijiによってフィードバックする。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと

期末レポート（60%）と平常点（40%）によって評価する。

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
明治大学の歴史Ⅰ	文学部・高田幸男

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
生田	2	春学期	金	4

１　授業の概要・到達目標

明治大学は１８８１（明治１４）年に、明治法律学校として創立され、１４０年をこえる歴史をもっている。明治大学は、どういう人たちによってどのような理念のもとで創立され、どのように継承されてきたのか、また、どのように現在の「個を強くする大学」の理念にいたっているのか。そして、その間にどのような人材を生み出してきたのか。本講座では、明治大学の歴史を近代日本の歩みのなかで検証すると同時に、明治大学が培ってきた特色を考えていく。将来、社会人となる学生が、本講義をうけることによって、自分にふさわしい社会的な活躍の場がどこにあるか考えるきっかけになってほしい。本講座では、講義ごとに異なる視点から、明治大学の歴史を考える。明治大学をより深く理解することにより、その知的・人的等さまざまな「資源」を活用し、学生生活や卒業後の社会生活をより豊かにすることを目標とする。

２　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月10日	イントロダクション	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
講座の概要、成績評価方法等について説明する。				
2	4月17日	明治大学の創立者	所属・役職	文学部教授
			氏　名	野尻泰弘
明治大学の3人の創立者たちの生涯や業績について講義する。				
3	4月24日	明治大学校歌	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	阿部裕樹
1920年に制定された校歌の歴史について講義する。				
4	5月8日	明治大学の歴史・学部の歴史（明治・大正・昭和戦前）	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
明治・大正・昭和戦前期までの明治大学と学部の歴史について講義する。あわせて明治大学の建学理念について講義する。				
5	5月15日	明治大学の歴史・学部の歴史（昭和戦後・平成・令和）	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
昭和戦後から今日に至るまでの明治大学と学部の歴史について講義する。				
6	5月22日	キャンパスライフ（明治・大正・昭和戦前）	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	古俣達郎
学生たちの姿や視点から、明治・大正・昭和戦前期までの明治大学の歴史について講義する。				
7	5月29日	キャンパスライフ（昭和戦後・平成・令和）	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	阿部裕樹
学生たちの姿や視点から、昭和戦後から今日に至るまでの明治大学の歴史について講義する。				
8	6月5日	明治大学平和教育登戸研究所資料館	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
生田キャンパスはかつて陸軍登戸研究所の敷地であった。研究所と資料館に関する基礎的な事項を講義する。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月12日	ジェンダーから見た明治大学の歴史	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	古俣達郎
ジェンダーの視点から明治大学の歴史を講義する。日本初の女性弁護士を輩出した女子部についても触れる。				
10	6月19日	阿久悠と阿久悠記念館	所属・役職	政治経済学部教授
			氏　名	冨澤成實
明治大学卒業生で作詞家・作家として顕著な業績を遺した阿久悠氏について講義する。				
11	6月26日	留学生とグローバル化（１）	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
1回目は明治大学の国際化と留学生受け入れの歴史を概観し、今日の国際化の問題について講義する。				
12	7月3日	留学生とグローバル化（２）	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
2回目は朝鮮／韓国、台湾からの留学生を中心に講義する。				
13	7月10日	留学生とグローバル化（３）	所属・役職	商学部教授
			氏　名	三田剛史
3回目は中国からの留学生を中心に講義する。				
14	7月17日	総括	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
本講座の意義を総括する。				

3　履修上の注意

本講義の第2～14回では小レポートを課す（授業時間内に提出する）。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

教科書を読んでおくこと

5　教科書

明治大学史資料センター編『明治大学の歴史』DTP出版、2017年

6　参考書

図書館で閲覧できる参考書として、明治大学史資料センター編『明治大学140年小史』（DTP出版、2021年）、同編『白雲なびく遥かなる明大山脈　女子部編』（2025年）、同編『同　アジア編Ⅱ』（DTP出版、2024年）、同編『同　法曹編Ⅱ』（DTP出版、2023年）、同編『同　アジア編Ⅰ』（DTP出版、2023年）、同編『同　法曹編Ⅰ』（DTP出版、2022年）、同編『私学の誕生―明治大学の三人の創立者』（創英社／三省堂書店、2015年）、『明治大学百年史』全4巻（明治大学、1986～1994年）がある。

7　課題に対するフィードバックの方法

Oh-o!Meijiを利用して回答・発信する。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

毎回のレポートで評価する。

9　その他

この講座は、明治大学について学ぶ絶好の機会であるから、多くの学生が受講し、自分自身が明治大学で学ぶ意義について考えてくれることを願っている。

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
環境人文学Ⅰ｜ローカルスタンダードとは何か	理工学部・鞍田崇

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
生田	2	春学期	水曜日	４限

1　授業の概要・到達目標

地球環境問題をはじめ、現代の社会問題は、多様性を損ない画一化へと邁進するグローバル化の「ひずみ」といえます。ひずんだ社会を変革する道筋を考えるのが「環境人文学」のねらい。でも、どうすればよいか。すでに多くの取り組みがなされています。何より多くの人が問題に気がついています。でも、動こうとしない。問うべき点はここにあります。人々を社会変革へといざなう駆動力となるもの、それをここでは、地域社会への共感を促す「ローカルスタンダード」の確立と、そうした共感の端緒となる「インティマシー」という感性に求めます。本学期はこのうち前者を扱い、そもそもなぜいまローカルかを考えます。＊インティマシーは秋学期に扱います。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4 月 15 日	【プロローグ】 いまなぜローカルか	所属・役職	ソトコト編集長・日本関係人口協会理事 / コーディネーター
			氏　名	指出 一正 / 鞍田 崇

「ローカルスタンダード」は地域固有でありかつ普遍的な価値。地域に徹底的にこだわることで、むしろ域外の人々からも共感される普遍性を獲得する、そういう意味。しかしなぜいまローカルなのでしょうか。20数年にわたり代表的なエコマガジンと目されてきた『ソトコト』は「関係人口」と「サスティナビリティ」「ウェルビーイング」といった視点を踏まえ、ローカルな現場の様々な取り組みの紹介・分析を手がけてきました。今後こうした動向はどこへ向かうのか。編集長の指出一正さんといっしょに考えます。

2	4 月 22 日	我々はこれから何をデザインしていこうか	所属・役職	起業家・デザイナー・アーティスト MUJUN 代表
			氏　名	小林 新也

2011年に「シーラカンス食堂」を創業された小林新也さんは、そこからずっと、衰退著しい地域のものづくりの一助になれたらと活動してこられました。グローバリゼーションの流れを堰き止めることはできない一方で、ローカルの真の強さに気づかれた、とのこと。ただ、日本のローカルが「ヤバイ」のも現実。今後さらにAGIやヒューマノイドの活躍など、ますますドラスティックな社会変化が予想される中で、私たちはこれから何をしていくべきなのか。小林さんと一緒に考えていきましょう。

3	4 月 29 日	どローカル	所属・役職	プロダクトデザイナー 高橋孝治デザイン事務所 代表
			氏　名	高橋 孝治

東京で長らくプロダクトデザインに携わってきた高橋孝治さんが、ものづくりの手がかりを求めて選んだのがやきもののまち・常滑でした。以来、この土地に暮らし、土に触れ、職人と対話を重ね、学びながら新しいものづくりを模索しています。「ローカルとは“自然が素材を、人がものを生む場”と捉えることができるのではないか」という彼といっしょに、ローカルと素材、もの、つくり手の関係を考えていきます。

4	5 月 13 日	庭の話 ――これからの「場」をどう設計するか	所属・役職	批評家 PLANETS 代表
			氏　名	宇野 常寛

インターネットはSNSプラットフォームの登場により、社会の基礎インフラとして定着しました。しかしその強すぎる力は人類を解放すると同時に縛り付けてもいます。では、どうすればいいのか？そうした問題意識に立ちながら現代社会と対峙されている宇野常寛さんと一緒に、この問題を実空間／サイバースペースの双方から考えていきます。

5	5 月 20 日	ロングライフデザイン	所属・役職	デザイン活動家 D&DEPARTMENT創設者
			氏　名	ナガオカ ケンメイ

「もの」には「まわり」があります。「ロングライフデザイン」にはそれらが必ずあります。逆に「まわり」ないと、長くは続かないともいえます。「まわり」は「もの」によって様々です。例えば「焼き物」の周りには「産地」「使い手(生活者)」「店」「材料」「道具」・・・など、語ることがたくさんあります。この授業ではみなさんそれぞれ「もの」を持ち寄り、その「まわり」にあるものを拾い出し、そのバランスや協調したいことなどを考え、どうしたら「長くつづくのか」「どうして長く続いているのか」について考え、「ロングライフデザイン」の重要性を考察します。

6	5 月 27 日	盆栽から考える日本人と「自然」	所属・役職	遠山記念館 学芸課長
			氏　名	依田 徹

日本の生活文化の一つである「盆栽」は、中世に遡る「盆山」「鉢木」をルーツとしながら、近世には中国趣味の影響を受けて発達したという経緯を持ちます。本来は樹木という自然物を素材としながら人工的に「作った」造形物でしたが、近代は、そこに外来概念である「自然」を志向するというベクトルを拓し独自の美意識を形成してきました。この講義では、こうした経緯をふまえつつ、盆栽を自然と人工の中間点と捉え、その現代的意義を検討していきます。

7	6 月 3 日	新しい中世へ	所属・役職	編集者 黒鳥社 主宰
			氏　名	若林 恵

世界は中世化しつつある！SFによって駆動されていた未来はとうに終わりを迎え、時代の想像力の中心は「中世」となって久しい――そう、編集者の若林恵さんはいいます。陰謀論が跋扈し、市民は農奴としてトライブ化し、散り散りに寸断された現代社会を読み解くフレームとしての「中世」。今回は、現代イタリアの知の巨人ともいうべきウンベルト・エーコの議論を土台に、若林さんに「新しい中世」について縦横無尽に考察していただきます。

8	6 月 10 日	雑貨のインティマシー	所属・役職	雑貨店 FALL 店主
			氏　名	三品 輝起

西荻窪の雑貨店FALLは今年（2025年）で20周年を迎えました。この間、店主の三品輝起さんは「雑貨」という物のあり方に鋭敏なまなざしを向けてこられました。「雑貨の世界は、グローバリズムともつながった相対化の坩堝であり、ライフスタイルなき戦後日本に生まれた特異な文化。雑貨店とは、雑多性をはらんだこの国の似姿ともいえるかもしれません」。そう語る三品さんとの対話をつうじて、雑貨という補助線から、このシリーズで掲げるローカルスタンダードとは何なのか考えてみたいと思います。

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6 月 17 日	流域視点で森と街をつなぐ	所属・役職	東京チェンソーズ 代表
			氏　名	青木 亮輔
日本は国土の約７割が森林に覆われており、世界有数の森の国でもあります。都市部が当たり前のように享受する空気や水は、森が送り届けているものです。しかし、その森が存する山間地域では人口減少や獣害などによってさまざまな課題が頻出し、森林を健全に保つことが今のままでは限界に近づいてきてもいます。こうした現状をふまえつつ、森と街とが「流域で繋がる」という点に注目し、様々な取り組みを手がけているのが東京チェンソーズ。代表の青木亮輔さんとともに、これからの森と街との関わりについて、一緒に考えられればと思います。				
10	6 月 24 日	暮らしの中で詩と出会うために	所属・役職	詩人
			氏　名	大崎 清夏
詩はいつも、身近な自然や動物に、隣の人の声に、もの言わぬ建物や街並みに、徹底的に耳をすますところから始まります。今年度は、奥能登国際芸術祭の一環として催された朗読劇「珠洲の夜の夢」の創作にまつわるエピソードを中心に、「生活を語ることば」のヒントを民話や神話の中に探る方法についてお話しできればと考えています。				
11	7 月 1 日	これからの日常美学	所属・役職	上智大学文学部 助教
			氏　名	青田 麻未
美学とは、ひとの感性のはたらきについて考える哲学の一分野で、長く芸術を中心的主題としてきました。しかし21世紀になって、日常生活のなかの事物との出会いや出来事のなかでの感性のはたらきについて議論する「日常美学」が興りました。この講義では、技術の一種である芸術との図式的な対比を乗り越え、日常生活を支える技術において感性の問題はどのように現れるかを論じ、これからの暮らしを支えてゆく美学のありかたを検討します。				
12	7 月 8 日	「とつとつと」：小さな声とあわいの本 ～生活者の声が響く本屋の試み	所属・役職	Takram コンテクストデザイナー 東北芸術工科大学 客員教授
			氏　名	渡邉 康太郎
本屋「とつとつと」はこんな趣旨のお店です――「口ごもりながらでしか語れないことを、とつとつとであっても語れる場があるといい。だれもが、口ごもりながらでしか語りえないものを抱えている。それは一見要領を得ないし、役にも立たない。でもそういった言葉こそが、世界の大半を構成しています。そういった言葉をこそ語り合い、残そうとする場があってもいい。とつとつとは、そんな本屋をめざしています」。オープンは2025年夏、手がけたのはデザイナーの渡邉康太郎さんです。その実践と考え方を取り上げながら講義を展開します。				
13	7 月 15 日	身も心も預けがいのある地元とは可能か：みんなの公園プロジェクト「play here」を通して考える、これからのローカル	所属・役職	GAKU 事務局長 とをが 主宰、play here ディレクター
			氏　名	熊井 晃史
公園は、みんなの場所。「なのですが、「みんな」とそう簡単に言えない気持ちがあります」と語る、熊井晃史さん。というのも、社会的な障害があるために、その「みんな」に入りづらい人が多くいるからです。じゃあ、どうしたら良いのか？　熊井さんは、最近は「公園は、より良い社会をつくるための練習場」ではないかと言います。それってどういうことなのでしょうか？　それをまさに考えながらいろんな実践や考察をしておられる活動の実際をうかがいます。				
14	7 月 22 日	【エピローグ】 ローカルの先へ	所属・役職	京都芸術大学 教授・デザイナー ／ コーディネーター
			氏　名	服部 滋樹 ／ 鞍田 崇
「ローカル」が創造性を喚起していた時代はすでにおわったのかもしれません。すくなくとも「ローカル」という選択肢があることは、すでにデフォルトになっているのはまちがいないでしょう。そういう状況のなかで、あえてなおも「ローカル」にこだわるのはなぜか。いちはやく「ローカル」に注目し、かずかずのプロジェクトを実現してきたgrafの服部滋樹さんといっしょに、その先を探ります。				

3　履修上の注意

これまであたりまえと思い込んでいたことに縛られない柔軟な思考をもって受講してもらえたらうれしいです。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

特に前もって準備する必要はありませんが、各回とも講義後半で、ショートディスカッションをしますので、そこでの積極的な参加を期待します。

5　教科書

鞍田崇著『民藝のインティマシー　「いとおしさ」をデザインする』（明治大学出版会，2015）

6　参考書

適宜，授業内で指示します。

7　課題に対するフィードバックの方法

各回の授業内レポートについて、毎回講師と相談して優勝賞をセレクトし、選考理由とあわせて全体講評を共有します。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

授業内レポート60%、平常点40%。
＊授業内レポート：各回講師からテーマを出してもらいますので、任意に10件選択して書くこと。最終〆切は7月末日。
＊平常点：講師に届けるレポート提出期間は毎回2週間としますので、その期間内の提出頻度を参考に判断します。

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
環境人文学Ⅱ｜インティマシーとは何か	理工学部・鞍田崇

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
生田	2	秋学期	水曜日	４限

1　授業の概要・到達目標

現代社会のひずみを克服し社会を変革する道筋を考えるのが、「環境人文学」のねらい。ここでは、人々を社会変革へと誘う駆動力となるものとして、「インティマシー」という感性を手がかりに考えます。現代では、社会にせよ個人生活にせよ、ともすると他所事・他人事になってしまいがち。それらをあらためてリアルなまなざしのもとに我が事として取り戻す契機となるのがインティマシーです。辞書的には「親密さ」と訳されますが、むしろ「いとおしさ」という方がふさわしい。そうした感性を培うにはどうすればよいのか、そもそもインティマシーとは何なのか。本講義では、様々な視点から考えていきます。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9 月 30 日	【プロローグ】 いまなぜインティマシーか	所属・役職	写真家 / コーディネーター
			氏　名	田村 尚子 / 鞍田 崇

インティマシーとは何よりもまず感情です。感情は、図と地の関係でいえば、地にあたるもの。表立って意識されるものというよりは、何かしようとする際にたえず背景として随伴しているものでしょう。そういうものの実際を知り、またそれを深めていくにはどうすればよいか。今回はシリーズ初回として、本講座の概要説明とともに、写真家の田村尚子さんをお迎えし、手がけられてきた活動をうかがいながら、特に「みること、ふれること」という視点から、いまなぜインティマシーなのか一緒に考えていきます。

2	10 月 7 日	装いは内破する：アートプロジェクトと拡張された場におけるファッション表現	所属・役職	東京藝術大学美術学部 先端芸術表現科 准教授
			氏　名	西尾 美也

服を通じて他者と関係を結び直すアートプロジェクトの実践を通し、装いの新たな可能性を探ります。講師の西尾美也さんが手がけてこられた《Self-Select》《感覚の洗濯》《NISHINARI YOSHIO》などの事例をもとに、装いを社会的な制度や規範を超える表現として捉え直し、人と人、文化と文化が関わり合う場をいかに「造形」できるかを考察します。ファッションを媒介に、共生と文化平権の思想を実践する芸術のかたちを探ります。

3	10 月 14 日	人間の、そして「私」の言葉を見つめ直す	所属・役職	言語学者・作家
			氏　名	川添 愛

言葉を巧みに扱うAIが登場して以来、人間が一字一句自分で言葉を綴らなくても〝文章〟を作成できるようになりました。その一方で、SNS等では言葉のすれ違いによるトラブルが毎日のように起こっています。このような時代の流れを踏まえ、人間が言葉を理解するとはどういうことなのか、また個人としての「私」はどのように言葉と向き合っていくべきかについて考えていきます。

4	10 月 21 日	盆栽文化～日本、海外から見た現在の立ち位置～	所属・役職	藤樹園 園主
			氏　名	廣田 敢太

高齢化が進む盆栽界において若い世代で活躍する数少ない人物が廣田敢太さん。8年前、19歳でこの世界に飛びこみ、2024年には盆栽園「藤樹園」（1931年創業）3代目園主に就任されました。この間、盆栽販売だけでなく、SNSでの発信、パフォーマンスなど多種にわたる活動を展開し、盆栽文化への共感の広がりを試みています。それにしてもなぜ盆栽だったのか。廣田さんの活動から「次世代の盆栽」について考えていきます

5	10 月 28 日	「自然」との距離――環境文学から考える	所属・役職	明治大学理工学部 専任教授
			氏　名	山本 洋平

私たちはどうしたら動物や植物、土や海といったノンヒューマンを大切な仲間として感じられるか―この授業では、「エコクリティシズム」という文学理論を通して、この問いに迫ります。英語や日本語の詩を読んで話し合い、理解を深めていくワークショップ形式で進めます。地球の危機がささやかれる今、あらたな可能性をきりひらくような新しい考え方を、みなで探しましょう。

6	11 月 4 日	綴ることと綴じること	所属・役職	造本者 GAKU 事務局
			氏　名	佐藤 海

造本家の佐藤海さんは造本という営みを、「『綴る』ことと『綴じる』ことを横断する行為」であると捉えているといいます。そのように考えるのも、佐藤さんにとって造本とは、創作行為でありながら、創作未満のもっとささやかな、日々感じ考えていることを残したり伝えたりする行為であり、その営みそのものが、自分と社会や世界を繋ぎ止めておくための手段になりえると考えているからでしょう。このような「造本」の可能性について、「インティマシー」という視点を通して考えてみたいと思います。

7	11 月 11 日	自分と世界を、ゆるやかにつなぐ	所属・役職	医師 一般社団法人 Seeds 代表
			氏　名	西野 恭平

世界中で繰り返される人と人の紛争、差別、迫害。その結果、自分の居場所を追われた難民・国内避難民の数は1億2千万人を超え、今でもその数は増え続けています。「違い」が強調される世界で、私たちは誰と、どこまで分かり合えるのか。「国境なき医師団」のミッションに取り組まれる一方で、サッカーを通じて分断や差別のない世界を作る活動も手がけておられる医師の西野恭平さんと一緒に、日常の延長にある、自分と世界のつながりを考えます。

8	11 月 18 日	ファッション：モノと感情の商材	所属・役職	デザイナー BIFURCATUM 主宰
			氏　名	河村 奈央子

独自のブランドを立ちあげ、デザイナー兼パタンナーとして服を作っている河村奈央子さん。自分は何が好きで何をつくりたいのか、人は何に惹かれ何にお金を払うのか。「私はどちらにも明確な答えを持っていませんが（前者には多少の心得がありますが）、”ものを作って売る”という仕事は、このモヤモヤしたもの同士のすり合わせがずっと続くようです」、と河村さんは言います。この”モヤモヤ”を少しでも晴らせるように、一緒に考えていきたいと思います。

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11 月 25 日	心の歴史とパスカルの苦悩――消費・神・AI	所属・役職	哲学者
			氏　名	下西 風澄
西洋における意識の哲学史を総覧するなら、そのなかでひときわ意識の苦悩に苛まされたパスカルの存在を無視することはできません。パスカルの哲学のなかには、神や消費社会や、あるいはAIとインターネット時代の意識のあり方に関連する思想がある――そう語る下西風澄さんとともに、現代の、そしてこれからの「心」のありかを探ります。				
10	12 月 2 日	私の買ったもの	所属・役職	YAECA 企画・運営
			氏　名	服部 恭子
なぜ買ったのか立ちどまって考えてみると、自分は何を求めているのかが見えてきます。時に便利に、時に真剣に、毎日行われる買うという行為に何らかの意思を持つことで、買うものが変わり、買う理由が変わり、物との関係が変わる。その変化が人、場所、環境、時間、様々な物との付き合い方に確かなものを見出すきっかけになるのではないでしょうか。生活必需品からアートまで、ファッションブランドYAECAの服部恭子さんが実際に買われたものを写真で見せいただきながら、よき買い手になるための「買物修行」について考えていきます。				
11	12 月 9 日	アンサンブル・プリザベーション：建築保存の新たな形	所属・役職	東京大学生産技術研究所 准教授
			氏　名	林　憲吾
建物の保存と解体は対立概念と考えられています。それゆえ、大切な建物が解体されると聞けば、ときに激しい怒りにつながります。しかし、保存と解体は果たして常に対立するものなのでしょうか。本講義では、林さんのご自宅の家づくりなどのプロジェクトを取り上げながら、この対立に風穴を開けたいと思います。				
12	12 月 16 日	Environmental Humanities からPlant Humanities まで：植物との対話について	所属・役職	民族植物学者
			氏　名	高橋 未央
環境人文学の最前線、ヴェネチア・カフォスカリ大学大学院に飛びこんで、植物人類学に取り組む高橋未央さん。学問を通して植物と対話することを学び、さらに実践においては感覚を使った学びに注目した活動を展開されています。彼女の様々な取り組みをうかがいながら、植物を通して右脳と左脳を使った新たな学問を考えていきます。				
13	1 月 13 日	3番目の居場所としての詩	所属・役職	詩人
			氏　名	木内 久乃
詩という表現形式がもつ公共性と親密性に惹かれ、この5年間、詩にまつわる活動を続けてこられた、木内久乃さん。「詩は、自らの視点や姿勢、態度を示すことができる一方で、ひとり逡巡し、言い切らないままでいることも許してくれる形式」と言います。家庭でも職場でもない、目に見えない「3番目の居場所」としての詩について、これまでの木内さんの展示や朗読の活動を振り返りながら考えていきます。				
14	1 月 20 日	【エピローグ】 インティマシーの先へ	所属・役職	東京大学大学院総合文化研究科 教授 / コーディネーター
			氏　名	梶谷 真司 / 鞍田 崇
人と人、人と物が「一緒にいる」とはどういうことなのでしょうか？　一緒にいるために、何が必要なのでしょうか？　共感や愛着、相互理解や寛容さが求められることが多い昨今ですが、だとしたら、共感できない、理解できない、許容できない相手（物）とは、一緒にいられなくなってしまう。ここでは哲学とデザインの交差するところから見えてきた「共にいる場」の可能性について考えます。それはインティマシーの先を見ることでもあります。				

3　履修上の注意

これまであたりまえと思い込んでいたことに縛られない柔軟な思考をもって受講してもらえたらうれしいです。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

特に前もって準備する必要はありません、各回とも講義後半でショートディスカッションをしますので、そこでの積極的な参加を期待します。

5　教科書

鞍田崇著『民藝のインティマシー　「いとおしさ」をデザインする』（明治大学出版会，2015）

6　参考書

適宜，授業内で指示します。

7　課題に対するフィードバックの方法

各回の授業内レポートについて、毎回講師と相談して優勝賞をセレクトし、選考理由とあわせて全体講評を共有します。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

授業内レポート60%、平常点40%。
＊授業内レポート：各回講師からテーマを出してもらいますので、任意に10件選択して書くこと。最終〆切は１月末日。
＊平常点：講師に届けるレポート提出期間は毎回2週間としますので、その期間内の提出頻度を参考に判断します。

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
先端医療概論	理工学部・工藤寛之

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
生田	2	秋学期	水	5

1　授業の概要・到達目標

iPS細胞や医療ロボットなど、近年の医療技術は飛躍的に発展しており、これまで治療困難とされていた病気に対する治療が可能となってきている。本講座では、医学を専門としない学生に対し、先端的な医療の現状に関する複数のトピックスを、聖マリアンナ医科大学の協力を得て医療現場の最前線で活躍する講師陣がわかりやすく解説し、医工連携をはじめとした医学と理工学・農学との連携の現状を理解する。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月30日	イントロダクション （講座の概要，成績評価方法等の説明）	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	工藤　寛之
講座の概要、先端医療について学ぶための背景、明治大学における医工連携の現状などについて解説する。また各回の授業の進め方、成績評価について説明する。				
2	10月7日	免疫学的機序を標的としたリウマチ・膠原病の最新治療	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 生化学　　主任教授
			氏　名	鈴木　真奈絵
かねてより難病と言われてきた関節リウマチや各種膠原病疾患は、生物学的製剤やJAK阻害薬の開発により、治療効果が飛躍的に進歩した。これら薬剤が効果をもたらすメカニズム、また現在開発中のCAR-T細胞による膠原病の治療戦略等を紹介する。				
3	10月14日	造血器腫瘍の治療	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科学　　主任教授
			氏　名	新井　文子
医学の進歩により、不治の病といわれていた造血器腫瘍、白血病、リンパ腫の患者の多くが「寛解」を得ることができるになった。本講義では、従来の抗がん剤から最先端の分子標的薬まで、造血器腫瘍の治療について広く学ぶ。				
4	10月21日	免疫が拓く次世代医療 ― がんから造血器疾患までの最前線	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科学　　特任教授
			氏　名	安井　寛
CAR-T細胞療法や抗体医薬など、免疫の力を活用した新たな治療が世界的に発展している。 本講義では、がんや造血器疾患を対象とする免疫療法の原理と臨床応用を、東京大学、ハーバード大学、聖マリアンナ医科大学での研究と臨床実践を通して紹介する。基礎研究と臨床医学をつなぐトランスレーショナルリサーチ（橋渡し研究）の視点から、免疫が拓く医療の未来をわかりやすく解説する。				
5	10月28日	乳癌診療の進歩と実際	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科学　主任教授
			氏　名	津川　浩一郎
乳癌は日本人女性で最も罹患率の高いがん種である。手術、放射線治療、薬物療法など治療法が進歩し、さらにバイオマーカー、遺伝子検査などによる個別化医療も発展しつつある。最新のトピックスから、その進歩と実際について概説する。				
6	11月4日	早期診断・早期治療のために －遺伝性疾患の拾い上げ検査－	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 臨床検査医学　教授
			氏　名	右田 王介
先天性遺伝性の疾患を診断をすることは適切な医療の提供に必要である。近年の治療や対応が可能となった様々な疾患に対する早期診断を目指したハイリスク・スクリーニング、新生児スクリーニングなどによる積極的な拾い上げ検査の実際を紹介する。このような検査がもたらす倫理社会的な問題とともに、今後の動向について概説する。				
7	11月11日	反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)が切り拓く脳機能障害治療の未来	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 リハビリテーション医学　主任教授
			氏　名	佐々木　信幸
かつては脳は可塑性のない器官とされていたが、近年それが否定され、より積極的に脳機能を改善させるニューロリハビリテーションという分野が発展している。その中心の一つであるrTMSは、大脳皮質局所を外的に調整することにより様々な脳機能障害を改善させる新たな治療的技術である。脳卒中麻痺や高次脳機能障害、そしてコロナ後遺症におけるBrain fogまで、これまでの常識では考えられない発展性の高い次世代の治療技術を紹介する。				
8	11月18日	出生前診断・周産期医学　～超音波断層法による臨床診断から基礎的研究まで～	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 周産期発生病態解明学分野　大学院教授
			氏　名	長谷川　潤一
妊娠・分娩に関わる産科医療において超音波検査はなくてはならないものである。昨今の、一般的な出生前診断の臨床的手法から、これらの機器を用いた発生や病態を明らかにする研究まで解説する。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月25日	アンチ・ドーピング	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 スポーツ医学　主任教授
			氏　名	藤谷　博人
近年、スポーツ界におけるドーピングの問題は社会的にも注目されている。本講義では、ドーピングの定義、検査様式、禁止薬物、禁止方法、そしてアンチ・ドーピング活動の最新の情報を交え解説する。				
10	12月2日	生体イメージング技術を用いた病態解明への挑戦 -生命現象を可視化しその謎に迫る-	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 免疫学・病害動物学　主任教授
			氏　名	宮部　斉重
免疫細胞の遊走は体内へ侵入した病原体を駆除するために重要な生体防御機構である。しかし、免疫細胞が組織へ異常遊走すれば、自己免疫疾患などが惹起される。従来の形態学的手法では細胞の動きを捉えることが不可能であり、免疫細胞の異常遊走による疾患誘導メカニズムは不明であった。近年、リアルタイムに細胞動態を解析することが可能な生体イメージング技術の発達により、生命現象を可視化することが可能になった。本講義では生体イメージングの紹介ならびに本技術を用いた将来の基礎医学研究に関する展望について紹介したい。				
11	12月9日	消化器病診療の基礎から最先端まで	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 消化器内科学　主任教授
			氏　名	立石 敬介
消化器病は簡単に言えば”おなかの病気”であり、炎症や腫瘍などが含まれる。専門的には大きく分けて胃腸を含む消化管、肝臓、胆嚢を含む胆道、膵臓などの疾患がある。それぞれCTやMRIのような画像や内視鏡による検査で診断される。また治療についても分子標的薬や生物学的製剤を含めた新規薬剤、内視鏡などを用いた新しい医療技術が導入されている。最近ではAIも活用されつつある。本講義では消化器病の基本から最先端の医療現場の情報まで概説したい。				
12	12月16日	ゲノム情報に基づくがんの診断・治療：基礎から最先端まで	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 バイオインフォマティクス学　大学院教授
			氏　名	山本　博幸
日本国民の2人に1人が、がんに罹患し、3人に1人が、がんで死亡する。一方で、がんや個人のゲノム情報に基づく個別化医療の時代を迎えつつある。ゲノム解析の基礎から、バイオメディカルインフォマティクスを用いた最先端解析まで、がんの6割を占める消化器がんを中心に概説し、診断・治療・予防への実用例を紹介する。				
13	1月13日	光刺激の感受・細胞応答機構の解明と、骨折・骨粗鬆症治療機器への応用	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 難治性疾患病態制御学　大学院教授
			氏　名	遊道　和雄
非薬物・低侵襲的アプローチとして、光刺激に対する細胞応答に注目し、特定条件の光照射によって細胞内光応答蛋白の活性を修飾し、疾患患部の細胞活性を制御して治療に結びつける非薬物・低侵襲的な次世代光治療技術の研究開発を紹介する。				
14	1月20日	総括	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	工藤　寛之

3　履修上の注意

履修前提科目などは無い。初心者でもわかりやすい講義内容である。
講義中には術中写真やビデオ等の視聴も含む。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

特に定めない

5　教科書

特に定めない

6　参考書

特に定めない

7　課題に対するフィードバックの方法

個別に対応する。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

平常点を50点満点、レポートの課題を50点満点として評価を行い、60点以上の者を合格とする。

9　その他

<table>
<tr><th>回</th><th>日　程</th><th>テーマ</th><th colspan="2">担当者</th></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td rowspan="2">12月18日</td><td rowspan="2">データサイエンスの社会実装</td><td>所属・役職</td><td>日本電気株式会社
サポートサービス事業部門長</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>山中豊</td></tr>
<tr><td colspan="5">本講義では、ビジネスの現場におけるデータ分析の重要性について、「分析結果による意思決定がもたらす利益」という観点から解説します 。単なるデータの「見える化」に留まらず、「原因は何か？」「次に何をするか？」といったビジネス上の具体的な行動に繋げるためのアプローチを学びます 。 講義では、データ分析の目的を「説明的（何が起きたか）」「予測的（何が起きるか）」「指示的（何をすればベストか）」に分類する方法を学びます 。また、ペルソナやカスタマージャーニーマップを用いて「誰のための分析か」を明確化する手法も紹介します 。 さらに、「在庫最適化」「アンケート調査」「節電対策」の3つのケーススタディを通じ、データ分析を実際のビジネス価値に変えるプロセスを具体的に学習します 。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td rowspan="2">1月8日</td><td rowspan="2">サイバーセキュリティ分野におけるAI活用技術</td><td>所属・役職</td><td>サイバーリーズン合同会社　グローバルSOC
APAC SOCマネージャー</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>渡邊弘実</td></tr>
<tr><td colspan="5">昨今のサイバー攻撃は高度化・巧妙化が進んでいます。従来のセキュリティ対策は、パターンマッチングを行なってマルウェア感染や不正通信を検知してきましたが、このようなパターンマッチングの対策では、攻撃パターンを少し変えただけで、検知をすり抜けてしまいます。そこでAIを使った次世代型のセキュリティ対策が注目を集めています。AIを使った検知ロジックでは、類似度計測によってマルウェアの亜種を検知したり、異常検知ロジックによりゼロデイ攻撃を発見するなどの事例を紹介します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td rowspan="2">1月15日</td><td rowspan="2">ESGにおけるデータ活用
総括</td><td>所属・役職</td><td>ラザード・ジャパン・アセットマネージメント
シニアヴァイスプレジデント
お茶の水女子大学ジェンダードイノベーション研究所・研究員</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>福田智美／崎濱栄治</td></tr>
<tr><td colspan="5">現在のESGを取り巻く社会的背景について理解の促進を図ります。ESG、SDGs、サステナビリティ経営などの言葉を最近では多く耳にすると思います。日本企業がどのようなESG経営を行い、機関投資家はどのようにそれらを評価しているのか？企業が行う情報開示を中心に「計量テキスト分析」等の手法を用いたデータを活用し読み解くことで、「企業価値向上に資するESG経営」を考えるヒントを探ります。</td></tr>
<tr><td colspan="5">3　履修上の注意</td></tr>
<tr><td colspan="5">オンデマンド配信による授業なので、オンラインで受講できる環境を確保すること。
小テストは期限内に必ず終えること。</td></tr>
<tr><td colspan="5">4　準備学習（予習・復習等）の内容</td></tr>
<tr><td colspan="5">シラバスで提示された話題について、自分なりに調査してみることを強く勧める</td></tr>
<tr><td colspan="5">5　教科書</td></tr>
<tr><td colspan="5">特に定めない</td></tr>
<tr><td colspan="5">6　参考書</td></tr>
<tr><td colspan="5">特に定めない</td></tr>
<tr><td colspan="5">7　課題に対するフィードバックの方法</td></tr>
<tr><td colspan="5">各回の感想や質問について授業内で取り上げる場合がある。</td></tr>
<tr><td colspan="5">8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと</td></tr>
<tr><td colspan="5">毎回の講義のあとに小テストを実施する。
また、意見・感想の提出を求める。</td></tr>
<tr><td colspan="5">9　その他</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
</table>

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
データサイエンス・AI概論	理工学部・崎濱栄治

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
なし（オンデマンド配信）	2	秋学期	―	―

1　授業の概要・到達目標

（概要）現代は複雑なデータが高度に大量に流通する時代を迎えている。そのなかで、日常生活のなかの様々な分野でデータサイエンスや人工知能がカギを握ると言われている。本講座では、これらデータサイエンスや人工知能についてリテラシーレベルで最新知見を得ることを目標とする。また、そのうえで重要となる、人工知能に関する倫理・法整備、情報セキュリティなどの諸問題についての基本的な知識を得ることを目標とする。
（内容）関係する分野について、大学の専門家、企業の実務家に講演を依頼し、オムニバス形式の講座とする。内容は「データサイエンスリテラシー」「中央省庁におけるデータサイエンスの活用」「自動運転と倫理」「自動車・モビリティとデータサイエンス」「経済学とデータサイエンス」「エンターテインメント」「サイバーセキュリティ」「ESG」などを扱う。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月25日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明） 身近なデータサイエンス／デジタルマーケティング基礎	所属・役職	理工学部 特任講師／ 株式会社CRAFT 代表取締役
			氏　名	崎濱栄治／辻井良太
Instagram、X(旧Twitter)、LINE、Facebook、TikTokといったSNSにおける広告やインターネットにおける広告は日常生活の一部になっています。また、これらの広告はユーザーの行動を分析し適切かつ効果的な配信を可能にするため、データサイエンス・AI技術は欠かせません。本講義では、普段、ユーザーとして目にするこれら広告を、広告主の観点から改めて見直し、デジタルマーケティングの基本的な考え方を身に着けます。				
2	10月2日	生成AIと倫理	所属・役職	信州大学医学部公正研究推進講座助教、一般財団法人公正研究推進協会客員研究員
			氏　名	樋笠知恵
2000 年代に始まった第 3 次 AI ブームにおけるAI 技術の目覚ましい革新により、AI は「人間」の知的活動を含む作業の多くを代替できるようになり、AIは多くの人々にとって身近なものとなりました。他方、教育・研究、ビジネスなどの幅広い分野でAI が活用される中、それと関連する様々な ELSI（倫理的課題（Ethical Issues）、法的課題（Legal Issues）、社会的課題（Social Issues））が指摘されていることも事実です。 本講義では、AIを利用する者が避けて通れないELSI、例えば、プライバシー権侵害、差別、著作権侵害、誤りの混入リスクが、AIを利用する人々が直面する具体的な問題であることを認識し、AIを利用する際の留意点を学びます。				
3	10月9日	データと知識の民主化のために欠かせないデータリテラシー	所属・役職	Exploratory, inc.　CEO
			氏　名	西田勘一郎
データサイエンスとビッグデータが可能にするのは知識の民主化だ。これは教科書やメディアなどから得られる知識ではない。答えが明らかでない時、自らが探索し、真実に迫っていくことで得られる知識です。コロナ、気候変動、国際情勢、これからやってくるであろうリセッションなど、どれも私達の毎日の生活に密接に関わることだが、様々な情報が飛び交い、明らかな答えがありません。しかしそんなとき、自分の仮説を立て、自らデータを集め、分析することで自分自身の新しい知識を導き出すことができます。そのためには、データから知見を導き出すための能力であるデータリテラシーが必要となります。この講義では受講者のデータリテラシーを上げるために、具体的な例を元に解説、実演します。				
4	10月16日	大規模言語モデル研究の最前線と応用	所属・役職	東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻
			氏　名	北代 絢大
2022年に広く普及し始めたChatGPT（対話型生成AI）は、瞬く間に2025年の時点で全世界で毎週8億人が利用する巨大サービスに成長を遂げ、日々進化を続けています。このような大規模言語モデル（LLM：Large Language Model）は、情報系の分野だけではなく。社会科学系の分野においても応用研究が進んでいます。大規模言語モデルの若手応用研究者からLLM研究の最前線と応用研究について、特に若い世代に向けた講演を行います。				

回	日　程	テーマ	担当者	
5	10月23日	自動運転と法律・倫理	所属・役職	多摩大学経営情報学部 専任講師、名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 客員准教授
			氏　名	樋笠尭士
自動運転の世界では、ついに2023年4月から、「レベル４」の無人運転が開始されました。事故時に誰が責任を取るかということも問題ですが、システムであるAIが、二者択一のようなジレンマ状況に陥った際にいかなる挙動をとるのか、AIが人命を選択するようになります。AIを使った分野のなかで、もっとも身近で生命に関わる自動運転の世界で、どのような規制がなされ、どのような問題があるのか、国際状況や日本の現状を学びながら、法的・倫理的な社会的課題である「トロッコ問題」の現実的な着地点を模索する講義です。自動運転のような人工知能の倫理問題を扱うため、我々人間の思考や文化、法律に立ち戻り、どこまでの意思決定が許されるのかを考え、権利や責任についての思考を養います。				
6	11月6日	自動車・モビリティの未来とデータサイエンス	所属・役職	カリフォルニア大学バークレー校ハース経営大学院ハース・エグゼクティブ・フェロー　株式会社K&アソシエイツ代表取締役
			氏　名	桑島浩彰
世界のモビリティ産業ではいま、データサイエンスを活用した、最終ユーザーの価値を高めるためのサービス開発と基盤整備が、猛烈な勢いで進められています。この講義では、世界各国の自動車メーカーや自動車部品メーカー、また半導体やセンサーメーカーによる、データサイエンスを活用したモビリティサービスのケーススタディおよび基盤整備の状況を概観した上で、モビリティ産業の将来について議論します。				
7	11月13日	経済学による意思決定データのデータサイエンス	所属・役職	株式会社サイバーエージェント、主席データサイエンティスト
			氏　名	安井翔太
世の中のDX化が推進されたことにより、ビジネスや行政など、社会の様々な場所においてデータが蓄積されるようになり、データサイエンスの重要性が高まってきました。しかし、人間の意思決定に関連したデータは、従来のデータサイエンスの想定している仮定を満たすことはほとんどありません。経済学は人間の意思決定を対象とした分野であり、このような意思決定に関連したデータを扱う上での方法論や注意点を整理してきました。本講義では、意思決定に関連するデータを取り扱う難しさやその方法に加え、計算機科学などの分野で発展してきた機械学習との技術的な融合に関して紹介します。				
8	11月20日	中央省庁におけるデータサイエンティスト～ データを作る、データを使う	所属・役職	横浜国立大学専任講師／財務省財務総合政策研究所 特別研究官
			氏　名	吉元宇楽
近年、政策の中でデータや分析結果を活用するEBPM（エビデンスに基づく政策決定）が盛んに取りざたされています。官公庁におけるEBPMはデータや分析を利用するだけでなく、データを作るところから始まります。その最たるものがGDPです。一方で、それらのデータや指標を作り、その結果を分析し、解釈することは容易ではありません。本講義では、GDPにも使われている統計データ「法人企業統計」の集計を所管する財務総研に勤める研究官が世の中でも目にすることが多く、自らも活用できる「政府のデータ」について、その作られ方から活用方法まで紹介します。				
9	11月27日	エンターテイメントとデータサイエンス	所属・役職	関西大学総合情報学部准教授
			氏　名	山西良典
音楽制作で活用されるボーカロイド、コミックにおけるキャラクターデザインを題材としてエンターテイメント分野におけるAI研究の最前線について理解を深める。情報処理とエンタメの概説(UMLでの情報整理、ベイズでの可視化、NLPでの分析)を目指す。				
10	12月4日	身近なデータサイエンス	所属・役職	理工学部 特任講師
			氏　名	崎濱栄治（コーディネーター）
みなさんの学生生活に関連する題材をテーマに、さまざまな角度から可視化、解釈を実際に行います。興味・関心をもってもらえるよう、テーマはできるかぎり新しいものを選択します。				
11	12月11日	プロンプト思考とAIリテラシー	所属・役職	NTTデータ株式会社テクノロジーコンサルティング事業本部 事業部長
			氏　名	後藤大樹
本講義では、まずNTTデータの企業概要と、〝SmartAgent™〟に代表される生成AIの最新の取り組み事例について紹介します。 その上で、生成AI時代を生き抜くために不可欠なベーススキルとして「プロンプト思考」 、すなわち「意図を設計し、正しく伝える力」に焦点を当てます。効果的なプロンプトを構成する「①命令」「②背景・文脈」「③入力」「④出力」の4要素を学び、これがAIとの協働効率化だけでなく、研究活動やチームでの協働など、人間社会においても普遍的に求められる「伝える力」であることを理解します。あわせて、虚偽情報の拡散や著作権問題、盗用リスクなど、生成AIの活用に伴う実践的なリスクについても解説し、AIリテラシーの基礎を固めます。				

<table>
<tr><th>回</th><th>日　程</th><th>テーマ</th><th colspan="2">担当者</th></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td rowspan="2">12月18日</td><td rowspan="2">データサイエンスの社会実装</td><td>所属・役職</td><td>日本電気株式会社
サポートサービス事業部門長</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>山中豊</td></tr>
<tr><td colspan="5">本講義では、ビジネスの現場におけるデータ分析の重要性について、「分析結果による意思決定がもたらす利益」という観点から解説します 。単なるデータの「見える化」に留まらず、「原因は何か？」「次に何をするか？」といったビジネス上の具体的な行動に繋げるためのアプローチを学びます 。 講義では、データ分析の目的を「説明的（何が起きたか）」「予測的（何が起きるか）」「指示的（何をすればベストか）」に分類する方法を学びます 。また、ペルソナやカスタマージャーニーマップを用いて「誰のための分析か」を明確化する手法も紹介します 。 さらに、「在庫最適化」「アンケート調査」「節電対策」の3つのケーススタディを通じ、データ分析を実際のビジネス価値に変えるプロセスを具体的に学習します 。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td rowspan="2">1月8日</td><td rowspan="2">サイバーセキュリティ分野におけるAI活用技術</td><td>所属・役職</td><td>サイバーリーズン合同会社　グローバルSOC
APAC SOCマネージャー</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>渡邊弘実</td></tr>
<tr><td colspan="5">昨今のサイバー攻撃は高度化・巧妙化が進んでいます。従来のセキュリティ対策は、パターンマッチングを行なってマルウェア感染や不正通信を検知してきましたが、このようなパターンマッチングの対策では、攻撃パターンを少し変えただけで、検知をすり抜けてしまいます。そこでAIを使った次世代型のセキュリティ対策が注目を集めています。AIを使った検知ロジックでは、類似度計測によってマルウェアの亜種を検知したり、異常検知ロジックによりゼロデイ攻撃を発見するなどの事例を紹介します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td rowspan="2">1月15日</td><td rowspan="2">ESGにおけるデータ活用
総括</td><td>所属・役職</td><td>ラザード・ジャパン・アセットマネージメント
シニアヴァイスプレジデント
お茶の水女子大学ジェンダードイノベーション研究所・研究員</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>福田智美／崎濱栄治</td></tr>
<tr><td colspan="5">現在のESGを取り巻く社会的背景について理解の促進を図ります。ESG、SDGs、サステナビリティ経営などの言葉を最近では多く耳にすると思います。日本企業がどのようなESG経営を行い、機関投資家はどのようにそれらを評価しているのか？企業が行う情報開示を中心に「計量テキスト分析」等の手法を用いたデータを活用し読み解くことで、「企業価値向上に資するESG経営」を考えるヒントを探ります。</td></tr>
<tr><td colspan="5">3　履修上の注意</td></tr>
<tr><td colspan="5">オンデマンド配信による授業なので、オンラインで受講できる環境を確保すること。
小テストは期限内に必ず終えること。</td></tr>
<tr><td colspan="5">4　準備学習（予習・復習等）の内容</td></tr>
<tr><td colspan="5">シラバスで提示された話題について、自分なりに調査してみることを強く勧める</td></tr>
<tr><td colspan="5">5　教科書</td></tr>
<tr><td colspan="5">特に定めない</td></tr>
<tr><td colspan="5">6　参考書</td></tr>
<tr><td colspan="5">特に定めない</td></tr>
<tr><td colspan="5">7　課題に対するフィードバックの方法</td></tr>
<tr><td colspan="5">各回の感想や質問について授業内で取り上げる場合がある。</td></tr>
<tr><td colspan="5">8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと</td></tr>
<tr><td colspan="5">毎回の講義のあとに小テストを実施する。
また、意見・感想の提出を求める。</td></tr>
<tr><td colspan="5">9　その他</td></tr>
<tr><td colspan="5"></td></tr>
</table>

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
明治起業家学　―起業はキャリアの選択肢―	経営学部　岡田浩一

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	春学期	火	5

1　授業の概要・到達目標

授業の概要：
本講座では、起業家の講演を通じて多様なキャリアの姿に触れ、起業に必要な基礎知識を学ぶことになります。スタートアップ、副業、小規模事業、地域密着型、社会起業家型、事業承継、フリーランス型など、幅広い起業の形を意識しながら、事例を交えて起業に向けて必要な知識を得られるように進めていきます。講師は中小企業診断士として起業家を支援すると同時に、自らも起業家として活動している明治大学OB・OGが作る「明治大学中小企業診断士紫紺会」の方々です。実務経験に基づく知見を活かし、起業を「特別な人だけの道」ではなく、誰にとっても身近なキャリアの選択肢として理解できるように講義を進めます。学生が自らの将来を考える上で、より多様な可能性を発見できる場とすることを目的とします。
到達目標：
･起業を含めた多様なキャリアの可能性に気づき、自らの将来を考える視野を広げる。
･起業を誰にとっても身近な選択肢として捉え、自分の生き方や働き方を検討する契機とする。
･学生同士の交流を通じ、起業やキャリア形成に関心を持つ仲間とつながり、コミュニティの基盤を築く。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月14日	本講座の意義と全体説明	所属・役職	経営学部教授
			氏　名	岡田浩一
明治大学の卒業生で、国家資格である中小企業診断士資格をもって活躍されている方々が組織した「明治大学中小企業診断士紫紺会」の寄付講座として「起業」をキーワードに現役明大生たちのマインドセットを目指す講座です。就職活動にたいして、あまり意識されていない起業ですが、起業をもっと身近に感じられるように本講座全体の概要について説明をします。				
2	4月21日	起業をキャリアの選択肢として考える　～イントロダクション～	所属・役職	㈱ｱｲｺﾝﾃﾝﾂ代表取締役
			氏　名	吉野太佳子
起業家の実体験やスタートアップの現状を学びながら、起業をキャリアの一つとして考える基礎的な視点を養います。また、自身の価値観や強みを深く理解することで、起業に必要な準備や行動の第一歩を掴むことを目指します。				
3	4月28日	起業に役立つ思考法 ― 創造力と発想を広げる	所属・役職	中郡久雄中小企業診断士事務所代表
			氏　名	中郡久雄
社会が安定し、市場が予測可能な環境においては、目的に対して最適な手段（原因）を論理的に追求することが有効なアプローチとなります。しかし、不確実性の高い市場環境では予測には限界があり、異なる問題解決のアプローチが求められます。 本講では、不確実な状況下で優れた成果を上げた起業家たちを研究して導き出された、問題解決のための論理・思考プロセスである「Effectuation」を紹介し、それを起業や新規事業開発のヒントとして活用する方法を考察します。				
4	5月12日	ビジョンとビジネスモデル ― アイデアを仕組みに変える	所属・役職	㈱ｱﾐｭｾﾞｸｽｱﾗｲｱﾝｽ代表取締役
			氏　名	田守　順
起業での成功を左右する事前のビジョン策定に向けての留意点（起業する際の自己検証、起業三大ポイント、起業までの流れ、起業にあたっての実務ポイント）の解説をし、実務から見えて来た起業成功へのポイント解説とマネタライズを踏まえたビジネスモデルの設計を講義します。さらに、実務へ向けた対象事例を紹介し、起業のヒントに繋がる最近のキーワード解説など実学的内容で受講生のモチベーションアップの一翼を担うようにします。				
5	5月19日	起業家とのセッション	所属・役職	KCGｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ㈱代表取締役
			氏　名	柳　義久
起業家を招き、コーディネーターとのセッションをおこなうなかで、起業における「あるある問題」の解決策や起業に向けての心構え、必要な準備などについての示唆を得ていく内容で事業を実施します。				
6	5月26日	マーケティング戦略 ― 価値を創り、共感を得る	所属・役職	㈱ｱｲｺﾝﾃﾝﾂ代表取締役
			氏　名	吉野太佳子
マーケティングの基本概念を学びながら、ターゲット顧客の設定や販路開拓の具体的な方法について考察します。自らの商品やサービスをどのように市場に届けるかを、実践的な視点で学び、戦略的な思考を養うことを目指します。				
7	6月2日	人と組織の育て方 ― 仲間と共に挑戦するリーダーシップ	所属・役職	社会保険労務士法人HRM総合事務所代表
			氏　名	奥瀬　円
起業家としてのリーダーシップの在り方と、チームを効果的に育成・運営するためのチームビルディングの重要性を学びます。成功する起業家に求められるスキルやマインドセットを紹介するとともに、実際の事例を交えながら、メンバーのモチベーション向上や目標達成に向けた戦略を検討します。リーダーとしての自己認識を深め、起業や組織運営に役立つ実践的な知識とスキルを身につけることを目指します。				
8	6月9日	お金の基礎 ― 持続可能な事業を支える資金と財務	所属・役職	城北信用金庫ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ開発事業部考査役
			氏　名	中林　徹

回	日　程	テーマ	担当者
本講では、起業における「資金戦略」と「財務管理」の重要性について学びます。資金調達方法（デットファイナンス、エクイティファイナンス、クラウドファンディング、補助金活用）と財務管理の基礎を解説し、地域金融機関の現状や役割、起業家支援の手法を実務経験に基づいて具体的に紹介します。学生が起業を現実的なキャリア選択肢として捉え、資金戦略や財務管理の実践的な知識を習得することを目指します。			
9	6月16日	法律と知的財産 ― 安心して挑戦を続けるために	所属・役職：東京都よろず支援拠点ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ 氏　名：土田　哲
起業家が知っておくべき法律の基本について解説します。(1)企業に関わる基本的な法律：会社設立、契約を中心に解説します。(2)リスク管理に関わる基本的な法律：知財管理、消費者保護、労働者保護を中心に解説します。(3)会社成長に関わる基本的な法律：資金調達を中心に解説します。(4)質疑応答：講義内容に関する質疑応答。必要に応じて、相談先を紹介します。			
10	6月23日	多様な起業のかたち ― スタートアップ、副業、地域密着、社会起業家など	所属・役職：全国商工会連合会事務局長 氏　名：佐々木　淳
現代社会において起業の形態は従来の「新規事業の立ち上げ」だけでなく、多様化しています。本講座では、以下のような多様な起業形態について理解を深めます。①第2創業：既存の企業を基盤に新たな事業を展開する形態、②副業・兼業起業：本業を持ちながら新しいビジネスに挑戦する形態、③社会起業：社会課題の解決を目的とした事業。また、起業の基本的なプロセスを学ぶとともに、学生で会社を起業するなど個々のキャリアやライフスタイルに適した起業形態を選択するための視点を提供します。			
11	6月30日	企業就職から独立開業へ	所属・役職：One Conect株式会社　代表取締役 氏　名：森澤　佑輔
ウェブコンサルティング会社を設立し、メディア運営、オンラインサロン、人材紹介業など多角経営を展開している創業経営者による講義。大学卒業後の企業就職から起業にいたる経緯、その後の事業成長への取り組みなど、さまざまなお話をしていただき、質疑応答してもらうことになります。			
12	7月7日	企業文化と働き方 ― 日本と世界を起業家の視点から学ぶ	所属・役職：三好ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ代表 氏　名：三好康司
企業文化は、企業の成功と持続可能な成長において欠かせない要素であり、経営者の考えや企業の歩んできた歴史が反映され、形成されるものである。日本経済を成長に導いてきたわが国企業の企業文化の事例、およびグローバルな視点から海外の企業文化の事例を確認し、比較検証することで、今後の起業家にとっての企業文化の方向性を考えます。			
13	7月14日	起業家の歩みから学ぶ ― 歴史と現在、未来へのヒント	所属・役職：KCGｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ㈱代表取締役 氏　名：柳　義久
今日老舗企業とよばれる企業も、創業者の最初の一歩から始まっている。現代社会において起業を考える際に、これまでの起業家たちの足跡を振り返ることは大きな意義をもつといえる。まさに歴史的視点をもって今日の起業の現状を見直し、これからの起業に向けてのポイントを示していくこととします。			
14	7月21日	全体の総括	所属・役職：経営学部教授 氏　名：岡田浩一
全体のまとめをするとともに、起業が求められている日本社会の現状を再確認しながら、従来の起業家に関する研究の流れについて紹介しておくようにします。			

3　履修上の注意

起業してみたい人、起業について知りたい人、そもそも起業とは何かが分からない人など様々なレベル感があると思いますが、起業というキーワードで広く知識を得てもらい、自身のキャリア形成の一つとして起業を知ってもらうことが主なので、起業コンサルティング的な授業ではありません。起業を知るために経営学の基礎的な知識を持っておくことを推奨します。また、この講座を通じて、起業に関心のある学生たちのコミュニティが形成されることも目指します。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各回ごとのテーマとなっていることについての基礎的な知識を得るようにしておくと、授業の理解度が上がるので、各自で調べておくことを勧めます。

5　教科書

中小企業診断士紫紺会が作成する資料を毎回提供します。

6　参考書

明治大学ビジネススクール（2024）『スタートアップビジネス：MBA講座』同文館出版。
そのほか各回毎に関連する参考書を紹介します。

7　課題に対するフィードバックの方法

Oh-Meijiを使って個別に対応します。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

授業への参加度とレポート評価での評価とします。
授業参加度60%（各回ごとに出席を確認します）
レポート評価40%（各回ごとに課題が出されます）

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
連合寄付講座「働くことと労働組合」			経営学部・山崎　憲	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	春学期	水	3

1　授業の概要・到達目標

現代の労働組合の実像や労働現場が直面する課題等について、現場第一線の労働組合役員から学生にダイレクトに伝える。これにより、労働組合が果たしてきた民間企業および公的組織の経営参画への役割や、労働組合という立ち位置からみた就職先としての企業の姿、そして働く側にとって有用な基礎的な労働法の知識などについての理解を醸成する。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月　15日	【開講の辞】連合寄付講座で明治大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起】労働者を取り巻く職場の現状と課題～労働組合の果たすべき役割とは～	所属・役職	公益社団法人教育文化協会理事長
			氏　名	相原　康伸
【開講の辞】連合寄付講座の開講の趣旨を伝えることで、本講座を通じて学んでほしいことは何かを理解してもらう。 【課題提起】労働者を取り巻く現状と課題、その解決に向けた労働組合の役割について聞くことで、講座への興味・関心を持ってもらう。				
2	4月　22日	【ケーススタディ①】 労働時間の短縮に向けた取り組み	所属・役職	生保労連書記長
			氏　名	松田　惣佑
働く者が健康で安心して暮らすために、労働組合はどのように取り組んでいるのか。長時間労働の是正や休暇取得の促進など、労働時間の短縮に向けた取り組み事例を聴き、理解してもらう。近年導入の進んでいるテレワークに関する事例にも触れてもらう。				
3	4月　29日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法などの説明）	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	山崎　憲
講座概要と毎回のリアクションの方法と成績評価について説明するとともに、日本における労働組合の役割や政府、企業、地域といった構造的な位置づけ、そして企業における労働組合の経営参画などについて説明する。				
4	5月　13日	【ケーススタディ③】 非正規雇用労働者の組織化と処遇改善に向けた取り組み	所属・役職	伊藤ハム米久労働組合中央執行委員
			氏　名	立花　正貴
なぜ、非正規雇用労働者の組織化や処遇改善が必要なのか。企業別労組における非正規雇用労働者の労働組合加入および正規雇用労働者との処遇格差是正に向けた取り組み事例を聴き、考えてもらう。				
5	5月　20日	【ケーススタディ④】 いま働く現場で何が起きているのか ～職場における課題と労働組合の役割～	所属・役職	連合中央労働相談センター局長
			氏　名	森　啓記
働く現場で何が起きているのか、連合に寄せられる労働相談に寄せられた事例を通じて、その実態を学生に知ってもらう。あわせてそうした相談内容への対応策を紹介するとともに、問題解決に向けた労働組合の役割・意義について考えてもらう。また労働相談の事例を元に基礎的な労働法の知識を習得する。				

回	日　程	テーマ	担当者	
6	5月　27日	【ケーススタディ⑤】 公務労働の現状と公共サービスの役割	所属・役職	自治労総合企画総務局長
			氏　名	八巻　由美
「安定した職場」と言われる公務員の働き方の現状はどうなっているのか。公務労働の現状・課題と良質な公共サービス（新しい公共）の実現に向けた公務労組の取り組みについて聴くことで、学生に理解してもらう。				
7	6月　3日	【ケーススタディ⑥】 デジタル化の進展に伴う課題と労働組合の役割	所属・役職	ＫＤＤＩ労働組合中央執行委員長
			氏　名	浦　早苗
AI技術やDXの進展に伴う働き者への影響と、それに対して労働組合ではどのような対応が行われているのかを聞き、デジタル化が進展する中で働くということについて考えてもらう。				
8	6月　10日	【ケーススタディ②】 男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	所属・役職	全労金委員長
			氏　名	深見　正弘
男女がともに活き活きと働き続けるための課題や具体策とは何か。職場の環境改善や当該課題の解決に取り組む労働組合役員から話を聴き、考えてもらう。				
9	6月　17日	【課題への対応②】 すべての働く者のための取り組み ～働く仲間を支える労働金庫とこくみん共済coop～	所属・役職	一般社団全国労働金庫協会常務理事・全国労働者共済生活協同組合連合会常務執行役員
			氏　名	芦川　和人・坂本　隆浩
労働者自主福祉運動の歴史や、協同組合が展開する労働者の共助取り組みについて話を聴くとともに、労働者同士の連帯や、労働組合のメンバーシップを超えた社会的な取り組みの重要性について学生に理解してもらう。				
10	6月　24日	【課題への対応③】 国際労働運動の役割 ～グローバリゼーションへの対応～	所属・役職	国際労働組合総連合(ITUC)会長
			氏　名	郷野　晶子
労働組合は、国内の問題だけではなく、国際的にも労働基準の遵守に向けた取り組みをはじめ、多国籍企業の健全な労使関係の構築、世界の貧困、人権、平和などの問題にも力を注いで活動している。この講義では、「労働」という切り口から、グローバルな視点で社会問題を考える力を養ってもらう。				
11	7月　1日	【課題への対応④】 雇用と生活を守る取り組み	所属・役職	ＪＡＭ副書記長
			氏　名	浜　博之
大企業と中小企業の格差問題など中小企業を取り巻く現状と課題について理解するとともに、課題解決に向け中小企業の労働組合がどのように取り組み、またその上部団体である産業別労働組合（産別）が加盟組合に対しどのような支援を行っているか、中小企業を組織化している産別の事例を聴くことで、学生に理解してもらう。				
12	7月　8日	【課題への対応①】 労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み	所属・役職	連合労働条件・中小地域対策局部長
			氏　名	羽野　晃正
労働組合は、働く者の労働条件の維持・向上に向けて、どのように取り組んでいるのか。なかでも代表的な取り組みとして挙げられる「春闘」は、なぜ同時期に全国一斉に行うのか。連合の取り組みを聴き、学生に理解してもらう。				
13	7月　15日	【修了講義】 「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて	所属・役職	日本労働組合総連合会(連合)会長
			氏　名	芳野　友子
すべての働く者が安心してくらすことができる社会の実現に向けて、連合・労働組合は何をすべきか。連合の課題認識を聞いて、これからの社会や働き方、連合運動の役割について具体的に考えてもらう。				

回	日　程	テーマ	担当者	
14	7月　22日	総括 （これまでの講義についての論点整理）	所属･役職	コーディネーター
			氏　名	山崎　憲
全体の講義を総括するとともに、これから企業に就職して働く際の労働組合の意味についてまとめの解説を行う。また履修者は講義全体の感想の執筆を出席のうえ行う。				

3　履修上の注意
外部講師の講演と質疑応答中心の講義になるため、積極的に参加する姿勢が求められる。
4　準備学習（予習・復習等）の内容
産業、企業動向やそこで働くときの様子について、復習時に情報をみずから補うこと。
5　教科書
必要に応じて講義で指示する。
6　参考書
必要に応じて講義で指示する。
7　課題に対するフィードバックの方法
必要に応じて講義内で行う。
8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと
講義への参加度を中心に評価を行うため、質疑応答およびリアクションの内容を重視する。
9　その他
とくになし

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
労働講座企画委員会寄付講座「職場のリアルから働き方を考える講座」	経営学部　早川　佐知子

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	木	3

1　授業の概要・到達目標

これまでの日本企業の人事労務管理の意義を理解しながら、他方で従来の働き方の限界、制度疲労を把握する。そして新たな働き方の出現、働くことに関する意識の変化、多様化等について議論する。こうした目的のために、現場で働く実務家の方々が講義し、実際の社会（組織）で起きている現象（課題）について取り上げる。受講生それぞれが、これまで得てきた専門分野に関する知識を活かして、これらを応用する能力及びより実践的な知識・技能を身に着けることを到達目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月24日	イントロダクション 「ゼネラリストとスペシャリスト、それぞれの働き方」	所属・役職	経営学部　准教授
			氏　名	早川　佐知子
授業の概要を説明し、全体を貫く問題意識を共有する。そして、自身が仕事を選ぶ際に、どのような視点で考えればよいか、いくつかの軸を提示する。特にこの回では、ゼネラリスト・スペシャリストという区分で、それぞれの特徴、やりがいなどを一緒に考える。				
2	10月1日	現役人事部と研究者が語る「人事労務管理の現場」①	所属・役職	医療材料メーカー業界人事総務部マネージャー/沖縄大学 教授
			氏　名	神谷篤史/石川公彦
現役の人事部マネジャーをゲストに迎え、職場のリアルについてお話しいただく。日本企業で働くとはどのようなことなのか。人事部は就活生のどこをみて採用を決めているのか。入社後のキャリアはどのように定めているのか。社員のどこをみて賃金や昇進を決めているのだろうか。これらについて紹介・解説しながら、日本企業の雇用慣行についてリアルな姿を学ぶ。				
3	10月8日	現役人事部と研究者が語る「人事労務管理の現場」②	所属・役職	医療材料メーカー業界人事総務部マ
			氏　名	神谷篤史/石川公彦
第2回に続き、人事部マネージャーと人事労務管理の研究者のトークセッションとなる。日本的雇用慣行の特徴を解説し、それが近年、どのように変わろうとしているのかを、研究者の視点から、現場の人事マネージャーの視点からお話しする。このように人事慣行が変わってゆくことで、企業経営はどこを目指すことになるのか、弊害はないのか等、経営全体からも考えてゆく。				
4	10月15日	賃金ってどう決まるの？交渉の現場から：大手小売業界の場合	所属・役職	イオンリテールワーカーズユニオン
			氏　名	笠間詩歩
労働者の賃金はどのようなメカニズムで決まるのだろうか。労働組合を有する企業では、組合が賃金交渉に果たす役割が非常に大きい。この回では、小売大手であるイオングループの労組であるイオンリテールワーカーズユニオンの役員を招き、交渉のプロセス、成果などをお話しする。パートタイム労働者の時給賃上げや、シニア労働者の活用など、近年積極的に取り組んでいるテーマについても紹介する。				
5	10月22日	外国人労働者と共に働く社会①　NPO編	所属・役職	NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク事務局次長
			氏　名	安藤真起子
外国人が働きながら技術を学ぶ「技能実習制度」は、外国人労働者の受入れ拡大を行ってきた。しかし2023年に公表された政府の有識者会議の報告書では、長時間労働や賃金の未払いなどのトラブルのほか、職場での暴力といった人権侵害の訴えが絶えないとの実態を明らかにしている。長年にわたりこの問題に取り組んできた講師が、外国人労働者に関する最新の実態について紹介する。				
6	11月5日	外国人労働者と共に働く社会②　ユニオン編	所属・役職	名古屋ふれあいユニオン
			氏　名	鶴丸周一郎
働く先を問わず加入できる一般ユニオンである名古屋ふれあいユニオンでは、外国人労働者の支援に力を入れている。突然の解雇、妊娠による雇い止めなど、日々、さまざまな相談が寄せられるユニオンの現場から、国籍や雇用形態に関わらず権利が守られ、幸せに働くことができる未来を考える。				
7	11月12日	ワークショップ・ディスカッション	所属・役職	沖縄大学・専任教授
			氏　名	石川公彦
前半（第1回から第6回）の講義内容をもとにテーマを設定し、いくつかのグループに分かれることを想定しワークショップ・ディスカッションを行う。各受講生がこれまで習得してきた専門知識を活かしながら、ワークショップ・ディスカッションを通じて、労働の現場での課題の把握とそれに対する課題解決を検討し、実践的な知識・技能を身に着けることを目指す。				
8	11月19日	働き方の多様化① NPO編・社会問題に取り組む働き方	所属・役職	NPO団体はたらくしろくま代表
			氏　名	青木久美子
香川県を拠点として活動するNPO団体「はたらくしろくま」は、「はたらく」ことに焦点を合わせながら、個人・企業・地域がともに豊かになる社会を目指して、講演会や各種ワークショップ、読書と対話の会、さまざまな支援活動を展開している。そのユニークな活動をご紹介いただきながら、社会問題に取り組む働き方について考える。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月26日	働き方の多様化② フリーランス編・課題は何？	所属・役職	早稲田リーガルコモンズ 法律事務所/弁護士
			氏　名	川上資人
クラウドワークやフリーランスなど雇用によらない働き方について取り上げる。世界ではライドシェアやシェアリング・エコノミーが拡大し、その代表的な企業としてウーバーやリフトなどが有名である。自分らしく自由で、育児や介護と両立する働き方というイメージが先行するなか、労働の現場から浮上する労働災害などの問題と使用者責任について考える。				
10	12月3日	働き方の多様化③ アーティスト編	所属・役職	キューバ音楽家/ホスピタル・アートディレク
			氏　名	佐々木誠/室野愛子
キューバ音楽のミュージシャン、病院を拠点としたアートディレクターをお招きし、日々の活動について、そして芸術を仕事にするとはどのようなことなのかをお話しいただく。自分の得意なことを仕事にする幸せや苦労、プロになるまでの道のりなど、長年アーティストとして活躍してきたお二人のお話は、新しい働き方に大きなヒントをくれるはずである。				
11	12月10日	エッセンシャルワーカーとして働く① 児童福祉の現場から子ども支援を考える	所属・役職	熊本市児童相談所
			氏　名	吉弘恵莉子
児童虐待の報道をたびたび目にする現在である。「児童相談所は何をしていたのか？」等の批判もされがちだが、現実の児童相談所の職員は非常に多様な業務を扱い、多様なステークホルダーの関係をとりもちながら、24時間体制で子どもの幸せな人生のために働いている。今回は、熊本市の児童相談所で働く職員より、現状と課題を紹介する。				
12	12月17日	エッセンシャルワーカーとして働く② 消防職員の活動と地方自治体の責任	所属・役職	函館市北消防署指揮係
			氏　名	藤木亜純
消防職員は24時間勤務で働いている。火災・救急・救助の現場活動はもちろん、地震、風水害等の自然災害にも対応している。訓練も危険と隣合わせの仕事であり、装備や設備が十分でなければ、職員の安全さえも危うくなる。また、チームワークで業務にあたることから、職場の雰囲気づくりも大切であり、職員が団結し、現場の声を行政に反映させる必要があるが、日本の消防職員には労働組合権がすべて認められていない。その現状を打開するために設立された全国消防職員協議会の役割と、消防職の特性から労働組合の必要性を考察する。				
13	1月14日	エッセンシャルワーカーとして働く③ 水害から地域住民の命を守る	所属・役職	自治労本部公営企業局長
			氏　名	福永浩二
近年、地震や台風、豪雨などの大規模災害が増加している。災害が発生すると人々の生活に大きな支障をきたすが、特に、水道・下水道などのライフラインは、生命や健康を守ることにつながるため、早期に日常生活を再開できるよう行政機関は平時から施設の耐震化などの災害対策を行っている。安心・安全・安定をめざす水道・下水道事業の取り組みとそこで働く労働者の取り組みを紹介し、公共サービスのあり方について考察する。				
14	1月21日	ワークショップ・ディスカッション	所属・役職	沖縄大学教授/明治大学准教授
			氏　名	石川公彦/早川佐知子
後半（第８回から第１３回）の講義内容をもとにテーマを設定し、いくつかのグループに分かれることを想定しワークショップ・ディスカッションを行う。各受講生がこれまで習得してきた専門知識を活かしながら、ワークショップ・ディスカッションを通じて、労働の現場での課題の把握とそれに対する課題解決を検討し、実践的な知識・技能を身に着けることを目指す。				

3　履修上の注意

本授業では、数回グループ・ワーク、グループ・ディカッションを行う。そのため、授業に出席の上、質問や議論に積極的に参加することを求める。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

毎回の講義テーマに関するニュース記事や経済雑誌等で、現状を事前に把握すること。また、授業後は、働く環境や職場の問題点など各講義のポイントについて整理すること。

5　教科書

教科書は特に使用しない。毎講義ごとにレジュメ・各資料等を配布する。

6　参考書

特に使用しない。

7　課題に対するフィードバックの方法

必要に応じて次週以降の授業内で全体に対して、あるいは個別に行う。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

授業ないレポート（56点＝各4点×14回）および学期末レポート（44点）によって評価する。

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
ダイバーシティ＆インクルージョンと日本社会	国際日本学部　山脇啓造

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
中野	2	秋学期	火曜	3限

1　授業の概要・到達目標

この講座では、ダイバーシティ＆インクルージョン経営を担当する企業関係者やダイバーシティ＆インクルージョンの取り組みを進める自治体の担当者等を講師に迎え、具体的な実践例を伺い、取り組みの現状と課題について多様な観点から論じる。そのうえで、現代社会において、ダイバーシティ＆インクルージョンを進める意義や背景への理解を深めることを目的とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月22日	イントロダクション	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	山脇 啓造
講座のテーマやその背景、到達目標を示し、各回の担当講師の略歴と講義概要を紹介する。また、成績評価方法の説明を行う。				
2	9月29日	成長戦略としてのダイバーシティ経営の推進	所属・役職	経済産業省経済社会政策室
			氏　名	遠藤　佐知子
経済産業省は、企業におけるイノベーションを通じた価値創造を目的として、多様な人材をいかし、その能力が最大限発揮できる機会を提供する「ダイバーシティ経営」を推進している。成長戦略として企業がダイバーシティ経営を推進することの意義を論じる。				
3	10月6日	丸井グループのダイバーシティ＆インクルージョン	所属・役職	丸井グループ人事企画・多様性推進課長
			氏　名	後藤 久美子
丸井グループは、「すべてのひとがしあわせを感じられるインクルーシブで豊かな社会を共に創る」のミッションのもと、「D&I」推進に取り組んでいる。「お客様」と「社員」のダイバーシティを両輪で推進しており、その取り組みと成果そして課題を論じる。				
4	10月13日	ANAグループ　ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンの取組み	所属・役職	全日本空輸DEI推進部
			氏　名	田中啓介
人財こそが最大の資産であり、グローバル競争を勝ち抜く差別化の源泉と考え、グループ社員一人ひとりの可能性や個性の最大発揮を目指した多様な人財育成を進めているANAグループ。同グループが進めている ″Diversity, Equity, Inclusion″ の取り組みと成果そして課題について論じる。				
5	10月20日	楽天主義とダイバーシティ	所属・役職	楽天グループ上級執行役員
			氏　名	黒田 真二
楽天は、1997年の創業からイノベーションの力を信じ大切にしており、「グローバル イノベーション カンパニー」になることをビジョンに掲げている。このイノベーションの触媒がダイバーシティである。楽天におけるダイバーシティ推進の意義とこれまで直面してきた課題や成果、そしてこれからの展望について論じる。				

回	日　程	テーマ	担当者	
6	10月27日	小さくてもキラリー中小企業だからこそできるヒト・ファーストのダイバーシティ	所属・役職	吉村代表取締役
			氏　名	橋本 久美子
ダイバーシテイは目的ではなく結果である。今、貢献してくれている社員が働き続けるために、一緒に知恵を絞りつつ新しい制度や働き方を作ってきた。社員数227名。一人ひとりの名前を経営者が言えて書ける距離感だからこその、泥臭い挑戦と失敗と成果を報告する。20年間出産退職ゼロ。全盲社員の活躍。高齢者は定年後は再雇用のための派遣会社を設立。				
7	11月10日	中小企業とダイバーシティ戦略	所属・役職	SALEFULL代表取締役
			氏　名	鈴木 隆史
中小企業がダイバーシティ経営を進めるのはなぜか？八王子市にあった栄鋳造所で、海外市場を取り込む為、戦略的に外国人を採用し、ターゲット市場である米国、欧州、アジアの大学からインターンを受け入れ、彼らが母国で活躍できる拠点設立を進め、「ダイバーシティ戦略を通じたイノベーション」をめざした講師が、その明と暗を率直に語る。				
8	11月17日	ダイバーシティとインクルーシブ・マーケティング	所属・役職	dentsu DEI innovations代表
			氏　名	林 孝裕
電通グループは2011年に、あらゆる場所に存在する「多様性」の課題と向き合い、企業や社会の取り組みを支援するため、「電通ダイバーシティ・ラボ」を設立した（2025年にdentsu DEI innovationsに改編）。2017年にリリースしたインクルーシブ・マーケティングという新たなマーケティング概念について紹介するとともに、様々な企業や団体、個人と協働しながらどのようなアクションを起こしていこうとしているのかを論じる。				
9	11月24日	インクルーシブ・コミュニケーションーやさしい日本語とやさしい英語	所属・役職	メルカリ Language Education Team マネージャー
			氏　名	親松 雅代
社内のコミュニケーション手段として、「やさしい日本語」そして「やさしい英語」を活用している企業として注目を集めるメルカリ社の実践を通じて、インクルーシブなコミュニケーションのあり方について考える。講師は、日本語プログラムとスピーキングテストを開発するとともに、「やさしいコミュニケーション」の社内トレーニングを開発、主導している。				
10	12月1日	日本の課題を未来の機会へ	所属・役職	くりやホールディングス 代表取締役
			氏　名	栗岡 大介
2050年に想いを巡らせてみよう。人口減、高齢・過疎化が課題として日々取り上げられる中、この課題こそ「ダイバーシティ&インクルージョン」思考で日本の発展の機会にできるだろう。投資家として日本全国の様々な企業と対話してきた講師がその経験を活かし、企業のダイバーシティ経営の在り方を論じる。				
11	12月8日	担当課長を務めたゲイ当事者が振り返る、渋谷区パートナーシップ証明からの10年	所属・役職	株式会社ダリア取締役
			氏　名	永田 龍太郎
ルイ・ヴィトンジャパン、ギャップジャパンでのマーケター経験を活かし、2016年から2021年まで渋谷区男女平等・ダイバーシティ推進担当課長を務め、再び企業人に戻った講師が、渋谷区での5年間を振り返るとともに、日本における性的マイノリティ包摂の課題を論じる。				
12	12月15日	三重県のダイバーシティ社会推進の取組	所属・役職	三重県ダイバーシティ社会推進課長
			氏　名	牧田 拓巳
三重県では、2017年に「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く（きらり）、多様な社会へ～」を策定し、ダイバーシティ社会の推進に取り組んできた。2021年3月には、「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」も策定した。三重県におけるダイバーシティ社会推進のこれまでと現状そして今後の課題について論じる。				
13	1月12日	ダイバーシティ&インクルージョンの戦略的意義と未来の働き方	所属・役職	渋谷区副区長、弁護士
			氏　名	松澤 香
渋谷区が取り組むダイバーシティ&インクルージョン（D&I）に関する各施策や、日本における女性活躍の現状及び政府の施策等を踏まえ、講師がBoard Diversity・女性役員比率向上のためOnBoard株式会社にて取り組んできた内容の理解を通じて、D&Iの組織における戦略的意義について論じる。また、講師の多様なキャリアやライフイベントとの両立の悩みや工夫を紹介しつつ、D&Iと未来の働き方について考える機会とする。				

回	日　程	テーマ	担当者	
14	1月19日	総括	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	山脇 啓造

前回までの講義を振り返り、ダイバーシティ＆インクルージョンの取り組みの現状と課題、そしてそうした取り組みが日本社会にとってどのような意義があるのか、総括を行う。

3　履修上の注意

毎回の授業で、グループ討論を行ったり、講師との質疑の時間をたくさんとるので、積極的に発言すること。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各回の授業の前に指定された文献等に目を通すこと。

5　教科書

特になし。

6　参考書

尾﨑俊哉『ダイバーシティー・マネジメント入門―経営戦略としての多様性』（ナカニシヤ出版、２０１７）、荒金雅子『ダイバーシティ&インクルージョン経営：これからの経営戦略と働き方』（日本規格協会、２０２０）、岩淵功一『多様性との対話』（青弓社、２０２１）、電通ダイバーシティ・ラボ『みんなで知りたいダイバーシティ 第1巻 ダイバーシティを知ろう』（文研出版、２０２３）

7　課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最後に講義に関するコメント(400字以内)を提出してもらいます。それらのコメントの中で重要なものを選び、次回の授業の冒頭に取り上げます。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

各回の授業での発言40%、授業後のコメント30%、小テスト30%

9　その他

２０２６年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
データサイエンスAI概論	総合数理学部・中村和幸

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
なし（オンデマンド配信）	2	春学期	－	－

1　授業の概要・到達目標

（概要）現代は複雑なデータが高度に大量に流通する時代を迎えている。そのなかで、日常生活のなかの様々な分野でデータサイエンスや人工知能がカギを握ると言われている。本講座では、これらデータサイエンスや人工知能についてリテラシーレベルで最新知見を得ることを目標とする。また、そのうえで重要となる、個人情報などのデータ倫理の問題や、人工知能に関する法整備、情報セキュリティなどの諸問題についての基本的な知識を得ることを目標とする。
（内容）関係する分野について、大学の専門家、企業の実務家に講演を依頼し、オムニバス形式の講座とする。内容は「データサイエンス・人工知能についての法務」「経済とデータサイエンス」「政府の公式統計」「電子政府・電子行政」「会計と人工知能」「化学とデータサイエンス」「SNSと人工知能」「ゲームと人工知能」「芸術・メディア表現と人工知能」「責任あるAI」「セキュリティ研究」などを扱う。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）　※授業内容は２５０字以内でお願いします。

回	日　程	テーマ	担当者
1	4月 13日	ガイダンス（中村）、人工知能の基礎知識（阿原）	所属・役職：明治大学総合数理学部・教授 氏　名：阿原一志、中村和幸
コンピュータによる情報技術が発達して、近年「人工知能」というキーワードで呼ばれることが多くなりました。初回の講義では、現状の人工知能とはどのようなものか、どのように利用可能なものかを解説しながら、本講座を理解するための基礎知識を身につけます。			
2	4月 20日	データ社会の法制度の全体像	所属・役職：明治大学法学部・教授 氏　名：佐々木 秀智
データサイエンス・人工知能にとって、様々な機関・団体等が保有するデータの利活用がスムーズにできる必要があります。最近、データ利活用のあり方に関する法整備が進められています。そこでは、2016年に制定された官民データ活用推進基本法を出発点として、医療ビッグデータ法等の新法の制定、情報銀行事業の導入等が試みられています。この授業では、官民データ活用推進基本法に規定されている基本理念・基本施策等を概観したうえで、具体的事例を示しつつ、データ社会における法制度のあり方について考えてみたいと思います。			
3	4月 27日	データ社会とプライバシー・個人情報保護	所属・役職：明治大学法学部・教授 氏　名：佐々木 秀智
データ利活用を推進すると、プライバシー・個人情報保護に関する懸念が多くの国民から指摘されます。プライバシー・個人情報保護なしのデータ社会への移行はきわめて危険です。ですが、これらを保護しすぎるとデータの利活用が進みません。そこでこれらの調整が必要となります。この授業では、わが国のプライバシー・個人情報保護の歴史を概観し、2015年個人情報保護法改正において明確にされた個人情報の「保護」と「利活用」の調整の必要性（同法第1条）を、実際のデータ利用の場面を想定しつつ、考えていきたいと思います。			
4	5月 11日	データリテラシーとしての経済統計入門	所属・役職：日本経済研究センター・主任研究員 氏　名：梶田 脩斗
政策判断の基礎となる公的統計を中心に、経済統計の読み方を体系的に学ぶ。GDP・消費者物価指数・鉱工業指数など主要な経済統計を題材にして、名目／実質、季節調整、前期比・前年比といった時系列データの基本概念を整理する。さらに、全数調査と標本調査の違いや標本入れ替え・欠測値補完など、統計作成方法がデータに与える影響を具体例とともに確認し、日々のニュースで報じられる経済統計を適切に理解するための基礎的な視点を養う。			
5	5月 18日	経済学におけるデータ活用	所属・役職：日本経済研究センター・主任研究員 氏　名：梶田 脩斗
公的統計に加えて実務で利用が広がる「オルタナティブデータ」の特徴と活用法を概観する。POS・クレジットカード・GPS・衛星画像・オンライン求人など多様なデータが物価、人流、労働市場の把握にどのように使われているかを紹介し、代表性やカバレッジなど利用上の留意点を整理する。また、因果推論の基本的な考え方を取り上げ、データを用いて因果効果を推定する際の前提と限界への理解を深める。			
6	5月 25日	政府による公的統計とその活用について	所属・役職：明治大学政治経済学部・教授 氏　名：加藤 久和
政府による公的統計は「統計法」によってその作成や提供に関する事柄が定められています。講義では最初にこの統計法の概要を紹介し、政府統計の体系等について説明します。また、基幹統計とされる主要な公的統計、主として人口・就業・社会関連に関わる統計を概観します。次いで、公的統計の活用例として、人口統計の比較、労働・就業関連統計の役割分担、また国民生活に関わる基礎統計の内容などを具体的に示します。最後に、総務省統計局が公表している「SSDSE（教育用標準データセット）」とその活用方法について紹介します。			
7	6月 1日	電子政府・電子行政について	所属・役職：明治大学大学院ガバナンス研究科・教授 氏　名：湯淺 墾道
従来のIT基本法に代えてデジタル社会形成基本法が制定され、行政のデジタル化が推進されようとしています。その概要について解説し、オープンデータや官民データなどのデータに関する政策、AIの行政における利用例などを紹介します。また、AI自体のガバナンスやセキュリティについてどのような課題があるかについても検討します。			
8	6月 8日	企業ビジネス・証券市場と人工知能	所属・役職：同志社大学商学部・教授 氏　名：田口 聡志
新しいテクノロジーの進展が、証券市場やビジネスに大きな影響を与えています。たとえば証券市場における株式投資の中心をなすのは、いまや人間ではなく、アルゴリズムであるし、また、企業不正を監査する会計監査の領域においても、人工知能が導入されつつあります。さらに、企業のDX(Digital Transformation)化が進んでいる中で、このような流れはますます加速しており、企業経営や証券市場のあり方が、今後大きく変わっていく可能性は高いです。そこで本講義では、これらの実務・研究の動向を整理するとともに、未来の経済社会のあり方を探ることとしたいと思います。			

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月 15日	化学分野におけるデータサイエンスの活用	所属・役職	明治大学理工学部・教授
			氏　名	金子 弘昌

化学において、例えば医薬品となる分子を設計することを考えます。まず、これまでの多くの実験結果（この化学物質は薬になった、この化学物質は薬にならなかった、といったデータ）を使用して、薬となる化学物質がもつ共通の分子の構造的な特徴を理解する人工知能を、データから作ります。その人工知能を使い、未知の医薬品となる分子を設計します。今回は、化学の分野で活躍する人工知能の作り方や使い方、実際の使われ方について講義します。

10	6月 22日	SNSデータを用いたデータサイエンスのビジネス応用	所属・役職	株式会社ホットリンク・R&D部部長
			氏　名	榊 剛史

SNSの普及に伴い、SNSを通じたマーケティング（SNSマーケティング）という事業領域が拡大しています。本講義では、SNSマーケティングの特性を解説しつつ、いくつかの具体例を紹介します。また計算社会科学やデータサイエンスなどのアプローチをSNSマーケティングをどのように活用していくか、について説明します。

11	6月 29日	ゲームデザインとゲームAI	所属・役職	ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社
			氏　名	簗瀬 洋平

ゲームデザインとはゲームを設計することです。コンピューターゲームは情報処理技術によって作られた誰もが理解し楽しめるよう設計された遊びです。今日ではゲームを設計するために知能があるのあるかのようなふるまいをするエージェントや機械学習などの技術が欠かせなくなってきています。この回では講演者の作ってきたゲームを元にゲームデザインとゲームAIについてお話します。

12	7月 6日	芸術・メディア表現、創造性と人工知能	所属・役職	株式会社Qosmo プログラマー
			氏　名	中嶋 亮介

ChatGPTやStableDiffusionといった大規模な生成モデルが発表されて以降、AIを使用した創作活動はより一般的になりました。一方で、データセットに潜むバイアスやアーティストの権利侵害、またこうした生成モデルの出力をそもそも芸術と呼びうるのかといった問題も同時に存在します。
AIは単なる道具なのでしょうか。もし道具だとしても、私たちが道具を形作ると同時に、私たち自身も道具によって形作られるはずです。
本講演では、講演者自身や様々なアーティストによるAIを用いた表現・研究活動を題材に、AIが人間にもたらす表現の可能性や問題について考察し、AIを通じて私たち自身の価値観がどう変容しうるのか、そのヒントを探ります。

13	7月 13日	Responsible AI - 責任あるAI	所属・役職	日本マイクロソフト株式会社 プリンシパル テクニカル アーキテクト
			氏　名	畠山 大有

ChatGPTに代表されるAI技術の進化は社会や企業でのAIの組み込みをより加速させています。スマートフォンで写真をとって送信するだけで済む処理などはその典型と言えます。便利な反面、その技術の限界ともいえる機械学習は中で何をやっているのかが分からず、製造物としての説明責任がつかない、という問題をはらんでいます。
この講座では、安心・安全にAIを使えるようにするための現在の課題や、課題への取り組みの最新の状況をお伝えします。

14	7月 20日	IoT時代に向けた情報セキュリティ研究、総括	所属・役職	三菱電機株式会社・主席技師長/明治大学総合数理学部・教授
			氏　名	河内 清人、中村和幸（総括）

家電や工場の機器がインターネットに接続するIoT(Internet of Things)が進化を続け、いずれはサイバー空間と現実の物理空間が高度に融合した超スマート社会が実現されると考えられています。本講義では、このようなIoT時代を見据えたサイバーセキュリティに対する研究動向について、当社の取り組みを中心に紹介します。また近年、次代の革新的コンピュータ技術として脚光を浴びている量子コンピュータに対抗する、新たな暗号技術の研究動向についても紹介します。

3　履修上の注意

オンデマンド動画公開を毎週月曜日の21時30分に行う。また大半の回において、公開日の5限（17時10分～18時50分）に受講者が視聴参加可能なZoomによるオンデマンド動画の録画会を実施する予定である。Zoom内のアンケート機能を用いた質疑応答をリアルタイムで行うことができて有意義であるため、実施会においては録画会に参加することを強く勧める。これとは別に、Oh-o! Meiji のアンケート機能を用いた質問・意見を募る。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

シラバスで提示された話題について、自分なりに調査してみること。

5　教科書

特に定めない。

6　参考書

特に定めない。

7　課題に対するフィードバックの方法

提出課題について、コーディネーターより講義において適宜コメントする。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

毎回の講義後にミニレポート課題の提出をもとめ、その内容を評価する。
レポート課題の締切は講義日の６日後の23時30分とする。レポート100%。
※対面形式での試験は行わない。

9　その他